

UCI Track World Championships in Japan

開催ガイドライン

Version: 2018.3.5



【略語・用語について】

- <UCI>・・・ Union Cycliste Internationale＝国際自転車競技連盟
- <事務局>・・・ 事務局al Organizing Committee＝国内大会実行委員会
- <NF>・・・ National Federation＝国内競技連盟（日本においては日本自転車競技連盟：JCFを指す）
- <HB>・・・ Host Broadcast＝ホストブロードキャスト＝Europe Broadcast Union（2018年現在）
- <LHB>・・・ 事務局al Host Broadcast＝ローカルホストブロードキャスト＝日本国内ホストブロードキャスト
- <WCH>・・・ World Championships＝世界選手権大会
- <AD>・・・ Accreditation・・・アクレディテーション（認定）＝パス
- <コミッセル>・・・審判員

はじめに	2
【事前準備】	
開催概要	3
伊豆ベロドローム	5
競技種目（2017年現在）	6
推進スケジュール	9
開催直前詳細スケジュール（UCI規定）	10
組織体制について	12
Pre-event information	16
実行委員会役職カテゴリー	17
実施組織図	18
予算策定について	20
マーケティング	22
メディア並びにTVについて	33
ビジュアルガイドライン	52
【大会運営】	
大会実施スケジュール	57
全体スケジュール	58
レーススケジュール（ベーシックプラン）	66
会場使用計画	68
会場レイアウト案	70
諸室利用計画	78
諸室配置案	79
諸室レイアウト	80
諸室インターネット仕様一覧	86
会場運営	87
会場運営の考え方	88
運営ポスト配置案	89
会場運営計画	92
駐車場運営計画	97
アクレディテーション（AD）	99
ADセンター	100
ADカテゴリー	102
AD管理方法（ボランティア）	104
ADコントロール ゾーニング	105
ADコントロール 識別コード	107
その他：メディア対応	108
宿泊・輸送	109
空港からの選手・オフィシャル送迎について	110
選手並びにUCIオフィシャル宿泊について	111
来場者用シャトルバス計画	112
ケータリング	116
その他	120
【競技運営】	
インフィールド計画	122
競技設備・機材・備品	127
式典について	147
表彰ステージ	148
式典プログラム	149
表彰プロトコル	150
表彰式タイムスケジュール	151
医療救護計画	154
コミュニケーション（通信）	156
インターネット回線について	157
通信系統	158
コミュニケの発行部数&配布先	159
備品リスト	160

本指針マニュアルは「UCI WORLD CHAMPIONSHIPS 2014 version」ならびに「UCI TRACK CYCLING WORLD CHAMPIONSHIPS Organization Guide 2017」をベースに作成された日本開催時における開催ガイドラインです。

そのため、今後、日本にてトラック自転車競技世界選手権大会が開催される際には、UCIのガイドラインの内容が更新されている可能性があります。

主催者は、開催時における有効なUCIガイドラインのバージョンを確認し、更新されているようであれば、各内容に関して更新事項がないかどうかの確認を行い、実施運営を行う必要があります。

【事前準備】

開催概要

大会名称 Title	UCI Track World Championships in Japan UCIトラック自転車競技世界選手権大会	
開催日時 Day		
開催場所 Place	伊豆ベロドローム／Izu Velodrome	
前売観戦券(税込) Advance ticket	※料金確定後記載	全席指定 ※午前中は自由席 (入場は夜のチケットを持っている方のみ)
当日観戦券(税込) Tickets for today	※料金確定後記載	
開催競技種目 Competitions	●男子／Men ・個人スプリント／Sprint ・1kmタイムトライアル／Kilometre t.t. ・個人パーシュート／Individual Pursuit ・チームパーシュート／Team Pursuit ・チームスプリント／Team Sprint ・ケイリン／Keirin ・スクラッチ15km／Scratch 15km ・ポイントレース40km／Points race 40km ・マディソン50km／Madison 50km ・オムニアム／Omnium ●女子／Women ・個人スプリント ・500mタイムトライアル／500m t.t. ・個人パーシュート／Individual Pursuit ・チームパーシュート／Team Pursuit ・チームスプリント／Team Sprint ・ケイリン／Keirin ・スクラッチ10km／Scratch 10km ・ポイントレース25km／Points race 25km ・マディソン30km／Madison 30km ・オムニアム／Omnium ※開催時UCIガイドライン参照	
来客目標 Visitor target	約12500人（延べ5日間）／About 12,500 people (5 days in total)	
主催 Organizer	国際自転車競技連合／Union Cycliste Internationale（UCI）	
大会組織委員会 事務局al Organizing Committee	UCIトラック自転車競技世界選手権大会実行委員会（事務局）	
協賛 Sponsorship	※順次更新	
後援 Support	※順次更新	
協力 Cooperation	※順次更新	



◎短距離種目

【1km (500m) タイム・トライアル】 <男・女>

ただひたすらタイムを求めて走り抜けるスピード種目。
個々の完走タイムを計測し、その優劣によって順位が決定される。
1kmタイムトライアルの場合、トップ選手の走行時間はおおよそ
59秒～63秒ぐらい。時速にし60km/h前後になる。
男子は1km、女子は500mで行われる。



【スプリント】 <男・女／共に五輪競技 (リオ実績)>

2～4名の競技者が笛の合図とともにスタートし、先着したものを勝者とするレース。

人間のスプリント持続時間は長くても10数秒間、距離にすると200m程度といわれるが、フルパワーを発揮して疾走するシーンは迫力十分。

さらに選手にとってやっかいなのは目に見えない風圧と呼ばれる空気の壁。先行か追い抜くかによって体力の消耗度も違うが、ゴール手前200mぐらいまでは仕掛けのタイミングをめぐる様々な駆け引きが行われる。

ゴール手前の爆発的なスプリント合戦と、それまでの様々な駆け引きがこのレースの見どころだ。

250mトラックの場合、予選は3.5週の最後の200mを計時、本戦は3周で競われる。



【チーム・スプリント】 <男・女／共に五輪競技 (リオ実績)>

1チーム3名（女子は2名）で編成され、3週のタイムトライアルで競われるレース。

それぞれの選手が1周回ずつ先頭を引いた後にチームから離れ、最後の1人がゴールしたときのタイム（男子は3周、女子は2週の完走タイム）の優劣によって勝敗が決まる。

ロケットが役目を果たし次々に切り離されていくように、段々人数が少なくなっていくが、スピードは衰えずに走りきる豪快さが魅力。

競技場によって周長が異なるため、世界記録は250mトラックのみ公認される。



【ケイリン】 <男・女／共に五輪競技 (リオ実績)>

日本で生まれて発展してきたのが「競輪」。

それが輸出され、国際種目に採用された。

世界選手権はもちろん、オリンピックではシドニーから正式種目として採用された。

ペースメーカーは電動アシスト付き自転車を使用する。

ペースメーカーがスタート時30km/h、徐々に50km/hまでペースアップしてフィニッシュ前およそ750mで走路を離れる。

先頭を走る選手の風圧によるハンディを解消するためにこのようなスタートの方法が行われるが

ペースメーカーが退避するまでの間に、ベストポジションをキープするための駆け引きが激しく行われ、最後の1周回で一気に勝負が決まる。

距離は250mトラックの場合1500m前後で行われる。



◎ 中・長距離種目

【個人パーシュート（個人追抜競走）】＜男・女＞

ホーム・ストレッチとバック・ストレッチから相対する2名の選手が合図とともにスタートし、お互い前にいる選手（対戦 相手）を力の限りを尽くして追い抜くレース。

追いつかない場合は、所定の距離を完走し、その完走タイムの優劣によって勝敗が決まる。

男子4km、女子3km、男子ジュニア3km、女子ジュニア2kmで行う。



【チーム・パーシュート（団体追抜競走）】＜男・女／共に五輪競技（リオ実績）＞

個人追抜競走の団体版で、4kmを1チーム4名（男女共）で、タイムを計測して優劣を競う。

タイム計測は3番目の選手の前輪前端。

個人パーシュートと大きく違うところは、4名が空気抵抗による減速と疲労を避けるため、順番に先頭を交代しながらレースを進めていくこと。団体種目ならではのチームワークが見ものだ。



【スクラッチ】＜男・女＞

スクラッチは、最大24名（250mトラック）の複数選手によって競う。

定められた距離を走りフィニッシュ順位を競う個人種目。

ひとことで言えば、トラック競技場で行うロードレースと考えるとわかりやすい。

但し、獲得周回数が最優先。

2002年世界選手権種目とし採用されている。



【ポイント・レース】＜男・女＞

最大24名（250mトラック）の複数選手によって競う。

成績はレース中に設けられているポイント周回（2kmに近い距離）で与えられる得点の合計で決められる。（1位通過＝5点、2位通過＝3点、3位通過＝2点、4位通過＝1点）

その他、周回UPした選手には20点が与えられる。

得点合計が同じ場合、ゴール時の着順で優劣をつける。

なお、250m以下のトラックにおいては、中間スプリントは10周ごとに行う。



◎ 中・長距離種目



【マディソン】 <男・女>

名前の由来は、マディソン・スクエア・ガーデンで人気種目であったことに端を発する。

この種目はポイント・レースを2人1組で交代しながら行うもの。ポイント・レースの迫りにプラスして、ハンドスリングといわれるチームプレーの巧みな技が十分に楽しめるレースだ。

走路を上段と下段に分割して、下段はレースを展開しているエリア、上段は休憩のためのエリアとし、自分たちのスピードを落とさないように交代しながら

得点やラップを重ねていく。

また、交代するときのパートナーへの合図やタッチの方法も楽しめるポイントだ。

100周25km、世界選手権では200周50kmで競われる。



◎ 複合種目



【オムニアム】 <男・女／共に五輪競技（リオ実績）>

陸上の十種競技の様に複数の種目で構成される競技で、1日間で4種目を走る。

各種目の順位により与えられるポイント（1位40点、2位38点、3位36点…）

の合計の一番高い競技者が勝利。

ただし、最終種目のポイントレースでは、レースの得点が

そのまま加減算され、最終順位が決定する。

種目順も下記の通り決められており、スタートしなかった競技者は以後の種目に参加する事は出来ない。

- ①スクラッチ
- ②テンポレース
- ③エリミネーション
- ④ポイントレース



大会 開催月 20ヶ月前	
大会 開催月 19ヶ月前	
大会 開催月 18ヶ月前	◎開催地立候補申請
大会 開催月 17ヶ月前	
大会 開催月 16ヶ月前	
大会 開催月 15ヶ月前	◎UCIより開催国決定通知 ●大会ロゴ作成・UCI承認 ●インフィールド計画・諸室利用計画作成 ●ローカルブロードキャスト決定
大会 開催月 14ヶ月前	
大会 開催月 13ヶ月前	UCIに 提出・承認
大会 開催月 1年前	●運営マニュアル作成 ●UCI規定施工物用の ロゴをUCIに提出 ●ボランティア募集 ●ツアー制作開始
大会 開催月 11ヶ月前	
大会 開催月 10ヶ月前	ポイントの 英語化
大会 開催月 9ヶ月前	●決定 UCIに 提出・承認 UCIにより デザイン ●UCI規定以外の 施工物デザイン作成
大会 開催月 8ヶ月前	
大会 開催月 7ヶ月前	デザイン決定後 作成 ●WEBサイトOPEN
大会 開催月 6ヶ月前	●チケット・ツアー販売 ●デザイン作成 UCIへの承認申請 決定・作成 ●参加国の ツアーサイト OPEN (宿泊・輸送受付)
大会 開催月 5ヶ月前	
大会 開催月 4ヶ月前	※随時更新の 可能性あり
大会 開催月 3ヶ月前	●ボランティア研修
大会 開催月 2ヶ月前	
大会 開催月 1ヶ月前	
大会 開催月	●設営・準備 ●2019UCI World Championships / JAPAN

大会プロモーション（総会などにおけるプレゼンテーションや開催告知チラシの配布など）の開始	開催前の世界選（WCH）から
大会ロゴの提出（UCI承認用）	WCHの300日前
（契約締結前における）大会パートナーに関するUCIへの報告	できる限り早いタイミングで
UCIに対する大会組織図と連絡先の詳細情報の提出	WCHの200日前
マーケティングおよびプロモーションキャンペーン案の提出	
プレジデント・オブ・コミッセルへの大会情報の送付並びに密な連絡	UCIよるプレジデント・オブ・コミッセル認定直後より
各チームに大会概要を送付	WCHの200日前
HB規則に従い、トラックに十分な照度を提供	
ナショナル・コミセールの指名	
UCIのウェブサイトおよび大会ウェブサイトに参加概要をアップ	
タイミング、チームエリア、プレスエリア、事務所などで使用するWIFIに関する詳細情報（速度などネットワーク環境など）の報告	WCHの180日前
大会を活気づける現地アナウンサーの任命	WCHの150日前
開会式並びに表彰式だけではなく、観客を楽しませるためのエンターテインメントを取り仕切るプロダクションとのやり取り	
チケット販売の進捗状況並びに全関連情報（ex.販売担当企業についてなど）をUCIに報告	WCHの120日前
VIPやスポンサーに関するホスピタリティパッケージの手配についてのUCIへの報告	
UCIにへのトラック上のロゴ・ペインティングと各種ボード（パネル）の協賛販売価格の報告	WCHの100日前
UCIにオフィシャルグッズのサンプルを送付	WCHの90日前
開会式の内容とオフィシャル・ミーティングの予定内容を送付	
国旗と国歌の手配	
インフィールド内の各必須要素並びにアメニティの設置場所が記載されたインフィールド図面のUCIへの送付（承認用）	WCHの80日前
表彰式の進行手順についてUCIへの報告	
UCIスポンサーへのVIPチケット送付	WCIの50日前
オフィシャル（役員）の移動手段のアレンジ（空港 - ホテル間、ホテル - ベロドローム間）	WCHの30日前
UCIからのスポンサーロゴ表示やVIPシートの場所などの最終決定通知	
大会期間中、アクレディテーション（AD）が必要な人のリストのUCIへの提出	WCHの20日前
製作開始前におけるバックドロップのレイアウト、プロモーション・アイテムおよび公式プログラムの内容に関するUCIへの提出	WCIの15日前
ケータリング計画並びに配車計画に関するUCIへの報告	
表彰式の関係者（アテンダント、MC、音響、表彰台など）とリハーサル日の調整と、リハーサル日に関するUCIへの連絡	WCHの10日前
オンライン上の選手登録の締め切り。選手リスト作成	
参加国リストの作成	
選手のエントリーリストに従いビブナンバー（ゼッケン）の製作と安全ピンの準備	

バックボードの設営とトラック上のロゴペインティングの実施	WCHの6日前
ベロドローム内の案内掲示の設定	
UCIの到着前までに（プレスエリアを含む）インフィールドの設営と諸室、TVコメンタリーエリア、VIPエリアの設置完了	WCHの5日前
大会中のITの保守メンテナンスを行うITスタッフを任命	
コピー機、プリンタ、インターネット、テレビなどの設置	
TV用プラットフォームと兼合いのコミッセルプラットフォームの設置	WCHの4日前
中継車の準備	
ビデオボードの設置	
レースに必要なものの用意（フォームパッド、ピストル、測定装置など）	
サウンドシステムのチェック	WCHの3日前
オフィシャル・ホテルにウェルカムデスクを設置	
シャトルバスサービスと専用車の用意	
トランシーバーの配布	
5日間の表彰式に参加するスタッフを任命	
観客用ケータリング、ボランティア用のケータリング、VIPケータリングの搬入/準備	WCHの2日前
各種競技のスタートリストの作成 / 配布	1日前、 チームマネージャー会議後
表彰台の完成、リハーサルの終了	WCHの1日前
さまざまな出入り口に警備員を配置	大会当日
プロジェクトの進捗状況に関する定期的な報告（各四半期末）	3ヶ月ごと
技術、宿泊輸送並びに施工関係に関する項目	
マーケティング、セールスの側面（VIPパッケージ、チケットの販売を含む）	
メディア、テレビの側面	
公式行事に関する項目（ミーティング、セレモニー、ガラディナーなど）	
財務項目	
・予算のアップデート	
・スポンサー探しの状況/ 交渉状況	
その他の項目（難しい点、リスク、期限など）	

UCIの役務

①UCIイベントコーディネーターの擁立。

UCIイベントコーディネーターは開催地の実行委員会（事務局）事務局と、競技やマーケティング、スポンサーセールス、テレビ放映に関して、UCIと密なやり取りを行う。

②UCIコミッセルの指名と擁立

UCIコミッセルは、競技運営がUCIルールにきちんと準じていること、また競技がきちんと遂行されるように管理運営を行う。

UCIコミッセルはコミッセルパネルのプレジデントを含む、**7名**のコミッセルから成る。

また、これら7名のコミッセルの下に、開催国連盟により指名された**12名**の国内コミッセルがサポートに入る。

③UCIテクニカルデリゲートの擁立

テクニカルデリゲートはUCIの名代であり、その役割は、UCIの冠がつく全ての競技大会において競技並びにテクニカルに関して正しく運営されているかといったことのチェックを行い、必要に応じて、事務局にアドバイスを行う。

下記はテクニカルデリゲートの業務内容

◆事前業務

- ・ 開催ベロドロームが付帯設備を含め、UCIルールに準じているか、安全基準を満たしているかなどの会場（ベニュー）視察の実施。
- ・ 開催地事務局により提出された運営ガイドラインが条件を満たしているかのチェック
- ・ 表彰時の選手入場帯同スタッフの指名

◆開催時の業務

- ・ Team Managers Meetingへの出席並びにコミッセルパネルのプレジデントとの打ち合わせ内容の発表
- ・ テクニカル関連事項のチェック、必要に応じてのアドバイスとコーディネート（安全確認やデルニのスピード確認など）
- ・ テクニカル関連機材のチェックとバンクのチェック（開催中は毎日）
- ・ タイミング、ニュートラル、オフィシャル通告、テレビ中継チーム間における競技情報の中継業務
- ・ UCI名代として、参加国チームとのやり取り業務
- ・ 事務局と共同で、各国のオフィシャルトレーニング時間の割り振り作成
- ・ 大会プログラムと競技時間がきちんと正しく運営されているかの確認
- ・ 事務局スタッフ並びにコミッセルパネルのプレジデントが、表彰選手をきちんと表彰台に誘導されるように管理する。
- ・ UCIルールに順守するために必要な情報、資料やアドバイスをコミッセル、特にプレジデントに伝える。
- ・ コミッセルの要請により、ルールにより完全にカバーされていない競技運営に関する質問に対する判断
- ・ コミッセルにより、競技ルールがきちんと守られているかのチェック
- ・ 記録の確認手続きがきちんと守られているかの確認
- ・ 必要に応じて、事務局と連携を図り、テクニカル並びに大会運営に関するサポートを行う。
- ・ 世界新記録が出た際の認定

④その他、UCIによる手配スタッフ／役務

- タイムキーパー
- ニュートラルアシスタント
- 英またはフランス語のオフィシャルアナウンサー
- ア krediyeshon 登録／発給

など

日本自転車競技連盟（JCF）の役務

①役割

実行委員会事務局が、実施運営に必要な業務を遂行できるようにするためのサポート。

②国内コミッセルの指名と擁立

国内コミッセルはUCIコミッセルパネルのプレジデントの指示の下、UCIルールに基づいて競技運営を行う。

③その他

アンチドーピングのシャペロンや国内コミッセルのスタッフの手配など、選手権大会実施に必要なスタッフの手配。

実行委員会の役務

※ UCIガイドラインでは、実行委員長が実務のトップとして認識されているが、日本では、実行委員会はいくまでも形式的な組織のため、実際は実行委員会事務局・局長が実務のトップとしての役割を担う形になるため、以下、ガイドライン上では実行委員長となっているところは、すべて事務局長として書き換えられている。

また、UCIが考える業務分担と日本国内におけるイベントの組織体系が異なるため、一部、日本のやり方に準じないところもあるが、ここでは、UCIが考える必須業務としてリストアップしておく。

①体制の設立時期

実行委員会の組織図／体制図は、世界選手権開催国決定から2か月以内にUCIに対して提出。

必要な提出資料

- 実行委員会の名前と住所
- 事務局のe-mailアドレス、電話・ファックス番号
- UCIのウェブサイトとリンクのできるウェブサイトのURL
- 事務局長の名前、e-mailアドレス、携帯番号
- 各セクションの担当マネージャーの名前、e-mailアドレス、携帯番号

②組織／体制

日本における実行委員会は、実務部門ではなく、実質の大会運営を行うのは事務局となる。

結果、日本開催時における大会運営は、事務局長と各セクションの担当マネージャーから形成される事務局が担うことになる。下記はそれぞれのポジションで求められるスキルなど

[事務局長：Event Director]

国際イベントの制作・運営経験者。自転車に関するノウハウがあれば、尚可。

- ◆ 業務内容
 - ・ 予算書作成
 - ・ 各セクションのマネージャーの選定
 - ・ 各セクション間の調整
 - ・ 外部組織（UCI、官公庁、スポーツ関連団体、後援団体など）に対する代表者
 - ・ 総務、財務、管理業務など、大会制作全般に携わるマネジメント
 - ・ 実行委員会、国内連盟、UCIとの調整業務

[イベントマネージャー：Administrative / Event Manager]

- ◆ 業務内容
 - ・ 制作業務の管理
 - ・ 大会制作のトップであり、選手、メディア、観客とのコンタクトポイント
 - ・ UCIのアクレディテーション発給会社と連携を取り、国内アクレディテーションの管理を行う。
 - ・ チケット販売管理

[人事マネージャー：Personnel Administration Manager]

財務マネージャーとの連携により、内外部のスタッフに関連した全ての項目の管理

◆業務内容

- ・ ボランティア、事務局員などに関連した事柄、経費の支払い、保険、給与などの管理
- ・ 保険、社会保証、労災、器物破損に対する保険など、各種保険の管理
- ・ 各セクションのリクエストに応じたボランティアやスタッフの手配並びに管理

[スポーツマネージャー：Sport Manager]

◆業務内容

- ・ プログラム並びにインフィールド計画の策定
- ・ 国内コミッセル、アンチドーピングのシャペロンの手配など、国内連盟との連携
- ・ フェンスや、サインポスト、救急時の搬送口、役員、救急車、スタッフの手配など、ロジスティック並びに安全マネージャーと連携を図ったうえでの大会実施に必要な人、モノの手配
- ・ 大会数か月前にスポーツ派遣団への情報提供や視察のサポート、宿泊輸送の手配（必要であれば）など、大会前並びに期間中におけるスポーツデリゲートとの調整業務
- ・ コミュニケの配布状況の管理
- ・ 競技関連式典の実施
- ・ トラックチーフ並びに補助スタッフの手配

[安全・施設（警備）マネージャー：Safety and Environment Manager]

◆業務内容

- ・ 会場内における選手並びに役員の安全確保
- ・ 適切な衛生、医療サービスの確保
- ・ 各大会施設の安全確保
- ・ 競技場内並びに各施設へのアクセスコントロール
- ・ 競技運営の安全確保
- ・ 選手団の輸送時における乗降時の誘導（特に新幹線など公共交通機関を使用する場合など）
- ・ 競技場周辺の交通整理
- ・ 海外チームの入国時における対応
- ・ 環境（施設）に応じた安全確保対応
- ・ 安全監視業務（必要に応じて）

[宿泊輸送マネージャー：Logistics Manager]

◆業務内容

- ・ 必要設備の手配と設営
- ・ 必要機材の手配と設営
- ・ 音響設備他、スクリーン、コンピュータ、通信機材などの機材の手配と設営
- ・ ケータリングや宿泊、輸送などの手配
- ・ オフィシャル並びにスタッフ用の移動手段の確保
- ・ 設営に必要な各種申請業務
- ・ インターネット環境の整備

[メディアマネージャー：Media Manager]

◆業務内容

- ・プレス、ラジオ、テレビなどの可能な限り多くのカバレッジの確保
- ・記者との連携
- ・ホストブロードキャストとの連携
- ・テレビ・ラジオ局との連携
- ・プレスエリアや通信手段など、記者が必要な作業備品の手配
- ・プレスエリアの受付管理
- ・ホストブロードキャストとUCIプレス担当との密なる連携の確保

[PRマネージャー：Communication and Promotion Manager]

◆業務内容

- ・メディア並びに屋外PRでの大会プロモーションの計画作成と実施
- ・メディアマネージャーとの連携において、緊急時における公開情報の管理
- ・マーケティングマネージャーと連携を取り、協賛／後援企業の露出の確保
- ・官民協賛／後援企業との積極的な連携

[マーケティングマネージャー：Marketing Manager]

◆業務内容

- ・スポンサー、パトロン、広告主などの資金提供者への提案書の作成
- ・スポンサーパッケージのセールス
- ・協賛／後援企業との契約書調印
- ・全協賛／後援企業への適切なリターンの提供が行われているかの管理

[式典マネージャー：Complementary Events Manger]

◆業務内容

- ・スポーツマネージャーとの連携において、開会式や式典、オフィシャルディナー、n+1選手権のプレゼンなど、競技以外の式典関係の実施
- ・宿泊輸送マネージャーと連携して、公式UCIミーティングのセッティング
- ・マーケティング並びに宿泊輸送マネージャーと連携して、PRエリアまたは自転車の展示会などの実施

[財務マネージャー：Finance Manager]

◆業務内容

- ・予算書作成、予算の管理
- ・支払いの管理と大会財務諸表の作成
- ・請求書発行並びに入金確認
- ・キャッシュフロー計画策定
- ・法律で定められた税務資料の作成（必要に応じて）

③実行委員会事務局の人員について

ボランティアまたはスタッフを雇用し、堅固な組織を形成すること。

また、大会直前は数百という数のボランティアが稼働することになるが、これらのボランティアには大会数週間前には、稼働するのに必要なブリーフィング、教育を行っておく。

可能であれば、世界選手権大会の前にテストマッチを開催するのも有効である。

④実行委員会手配の業者について

実行委員会のメンバーがいかに経験値を持っていたとしても、仮設什器や音響、IT、ケータリング、通訳、警備、清掃といった部分に関しては、外部のプロに委託すること。

●促進およびコミュニケーション計画。

- ポスターキャンペーン（ポスター、看板、看板）
- プレスキャンペーン
- ラジオキャンペーン
- テレビキャンペーン
- ウェブキャンペーン（インターネット）
- 町と会場をブランド化するためのキャンペーン
- 実装

●放送に関してはUCI指定のHBに全権委任。

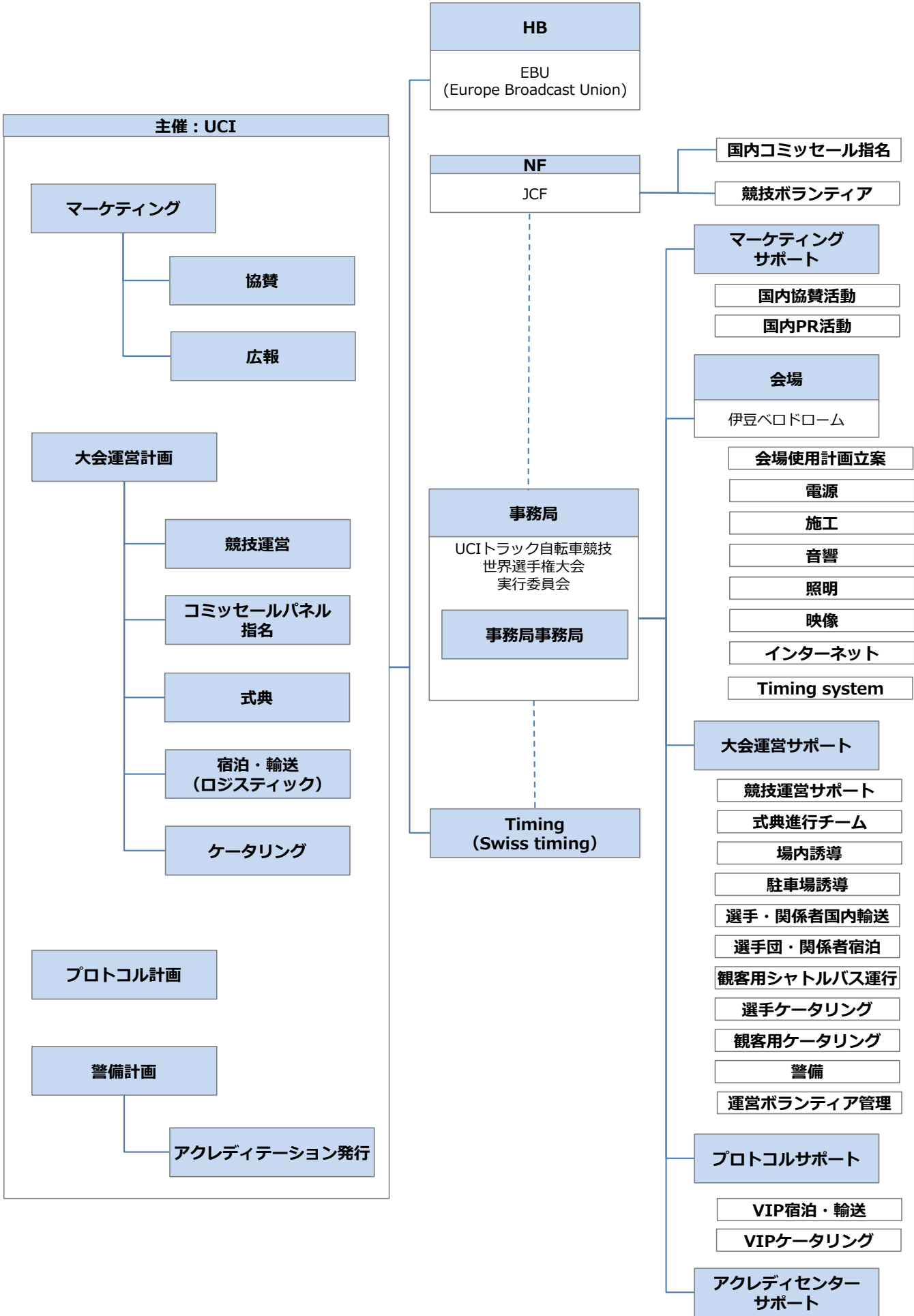
国内HBに関してはUCI指定のHBが指名。

●ウェブサイト。

大会告知ページのオープン（各種情報ならびにチケット販売サイト包括）

対参加国用ページの構築（宿泊・輸送・集金システム）とオープン（パスワードを各国に提供）

名誉会長：	(皇室関係者が立った場合など)
会長：	開催時のUCI会長
副会長：	日本における政治家など
委員長：	開催時のJCF会長
副委員長：	開催時のJCF副会長、開催地関連地区の首長など
顧問：	大会関連組織の会長や委員長など
参与：	JCF並びに自転車関連組織の上層役員など
委員：	JCFの職員など
事務局長：	実務担当トップで、国際イベントの運営の経験者
セクションマネージャー：	大会開催において各セクションの管理・運営を行う (数名)



【事前準備】

予算策定について

UCIによりカバーされる経費

人件費

- ドーピングコントロールオフィサー
- 国際コミッセール
- UCIドクター
- 監督委員会（Supervisory Committee）／支援スタッフ
- TVコンサルタント
- オフィシャルUCI通告
- UCIプレスオフィサー

- UCIスタッフの日当
- UCIスタッフの移動費

その他

- メダルと（チャンピオン）ジャージ
- 賞金
- アンチドーピング検査費
- 血液検査
- その他の経費

UCIスポンサーによりカバーされる経費

- （チャンピオン）ジャージ
- ニュートラルサービススタッフ（2017年現在、Shimano）
 - ・市場で入手可能なホイール、自転車の備品の提供
 - ・チームピットにおけるニュートラアシスタントエリアのメカニックの派遣
- タイミングシステム
- アクレディテーションシステムの提供とストラップ&ADカード
 - ※国内スタッフ用ストラップとADカードの配布枚数は500枚まで

予算の組み立て

収入

UCIとの契約に基づき、実行委員会は下記の項目を委員会の収入として扱うことができる。

- 開催地などの公的組織からの寄付金又は補助金
- チケット販売
- オープンになっているカテゴリーからの協賛金
- グッズ販売
- 飲食販売
- UCIまたは協賛／後援企業により提供されたサービスなど

※ 実行員会はチケットの完売並びに海外ファンもチケット購入ができるオンラインチケット販売システムを使用すること。

収益

収益が出た場合は、その収益金を国内における自転車の普及・発展のために使用するのが望ましい。

【事前準備】

マーケティング

マーケティング並びにスポンサー・ライツについて

マーケティング・ライツは全てUCIに帰属する。

事務局には、既定の比率において、マーケティング・ライツが付与される。

広告スペースなど、スポンサーのロゴ表示は、開催契約書に添付の付則を参照。

なお、各種マーケティングプランの詳細に関しては、開催契約調印後、UCIより開示される。

各開示内容に対する事務局独自のマーケティングプランやスポンサーセールスの内容に関しては、実施前に必ずUCIの承認を受ける必要がある。

[開示内容]

- スポンサーセールスのパッケージ内容
- スポンサーセールスのプレゼン内容
- チケット販売計画
- グッズ販売計画
- VIP・スポンサーメリットとセールス方法
- その他、PRツール

UCIと事務局のスポンサーのヒエラルキーについて

スポンサーにおけるヒエラルキーは、開催契約に付随のマーケティング・ライツをまとめた表（附則）を参照。2014年度のガイドラインでは下記のように明文化されている。（契約時の付則の効力が優先される）

第1カテゴリー：事務局のメインスポンサー並びにUCIオフィシャルスポンサー

第2カテゴリー：開催地

第3カテゴリー：事務局のオフィシャルスポンサー並びにUCIのスポンサー（最大5社）

第4カテゴリー：事務局のオフィシャルスポンサー並びにUCIのサプライヤー（最大5社）

事務局スポンサーについて

UCIが抱えるスポンサー並びにサプライヤーなどとのコンフリクトを起こさないように、事務局は独自の協賛企業を当てる場合は、必ずUCIに確認をし、承諾を得てから企業との協議を始めること。

また、事務局はそれらの企業のスポンサーカテゴリーに関する情報を必ずUCIに提出すること。

この情報を元に、UCIは、これらの企業が世界選手権大会開催におけるPR活動のどの活動に参加することができるのかということを判断し、事務局に返す。

なお、下記はスポンサーとして禁止されているカテゴリーである（2014年度版ガイドライン参照）。

開催時において、カテゴリーに対する変更がなされている可能性もあるため、詳細はUCIに確認が必要。

- タバコ
- ポルノ／AV関連
- スピリット（15%以上のアルコール）
- スポーツ賭博（TOTO並びに競輪は除外）

UCIオフィシャルスポンサー

スポンサー名	独占カテゴリー	スポンサーサービス
TISSOT	全てのデジタル／アナログ時計 腕に取り付ける時計に関連した全てのプロダクト（スマートウォッチも含む） その他、時計、時間を計測する製品すべて	1～3位までの入賞者への商品提供
Shimano	自転車シューズ、自転車部品、フォーク、サドル、フィーディングボトル並びにタイヤを除く、ペダル、リム、ホイール、ハンドルバー、ステムなど、自転車を形成する部品	大会期間中のニュートラサービスの提供
Santini	特定／テクニカルな自転車用ウェア、自転車に関連したジャージ、ビブシャツ、グローブ、ソックス、帽子（キャップ）、スキンスーツ、サーモベスト、レインコートなど	チャンピオンジャージの提供

UCIスポンサーの製品使用の範囲について

UCIスポンサーの関連カテゴリーに準ずる備品や機材については、大会期間中、会場内の全ての備品、機材はスポンサーの機材を使用しなければならない。

特にメインスポンサーである「TISSOT」に関しては、時計はもちろんのこと、時間に関する全てのものがTISSOTの製品に準ずる必要がある。

ただし、チームやエキスポ、プロモーションエリアに関しては、この範囲外となるが、前述のエリアがバンクやTVカメラが入るような場所にある場合は、スポンサー製品適用範囲内とする。

なお、潜在的スポンサーが現れた場合、そのカテゴリーがUCIによって、またはその逆に事務局が独占的にブロックしているカテゴリーである場合は、両者において話し合いがもたれ、どのように扱うかの判断がなされる。

ロゴの掲出デザインについて

スポンサーロゴの掲示に関する詳細情報については、UCIより提供される「Visual Guidelines」（随時改定される）を参照。

UCIスポンサーとの連絡について

UCIスポンサーとのコンタクトは、原則、UCI経由とする。

もし、直接のコンタクトが必要な場合は、UCIに確認を取ったのち、UCIにccを入れての連絡とする。

広告ツールの制作／製作について

会場内の広告ツールの露出計画は、UCIにより計画される。

そのプランを元に、事務局はUCIに国内経済寸法を提供。

UCIはその情報を元に、バックドロップ他、広告ツール用のデータを作成し、事務局に提供。

各スポンサーのロゴ掲示数は、マーケティング・ライツのレギュレーションに従い、決められる。

なお、各バックドロップにおけるロゴの掲示場所については、原則、UCIがベースプランを決めるが、一部、事務局との協議により変更の可能性もある。

バンク内のロゴ掲出について

バンク内におけるロゴ掲示は下記の通り。

- バンクの周回フェンス
- バンク上のロゴペイント
- セキュリティエリアのロゴペイント



インフィールドにおけるロゴ掲出について

インフィールドにおけるロゴ掲出は以下の通り。

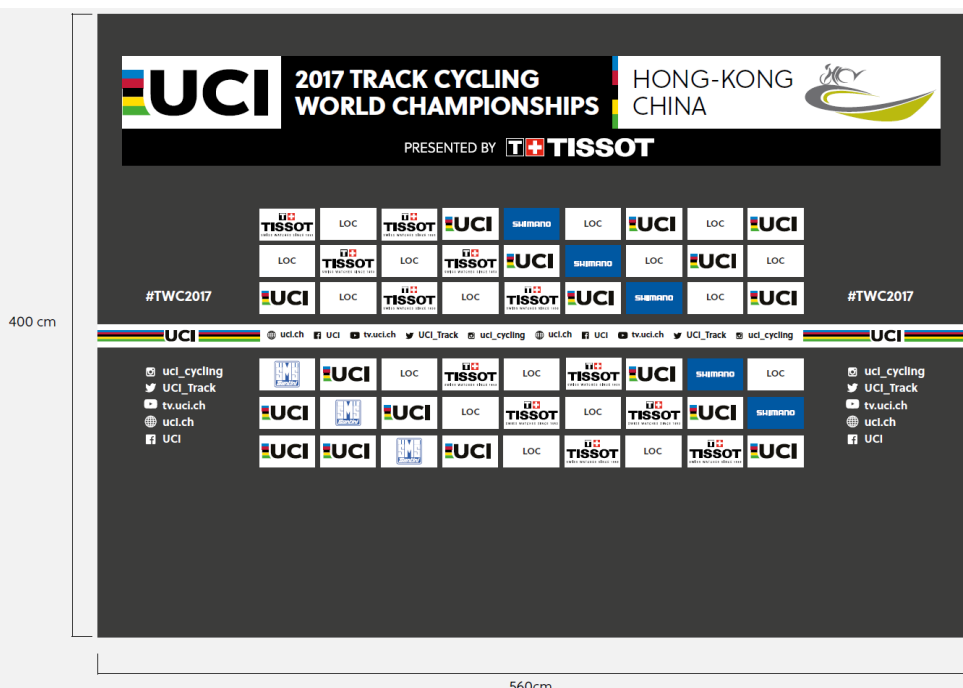
なお、サイズに関しては、日本の経済寸法に合わせることに若干のサイズ変更は可。

設置場所、状況に関する詳細は「インフィールド計画」(p. xxx)を参照。

表彰台バックドロップ

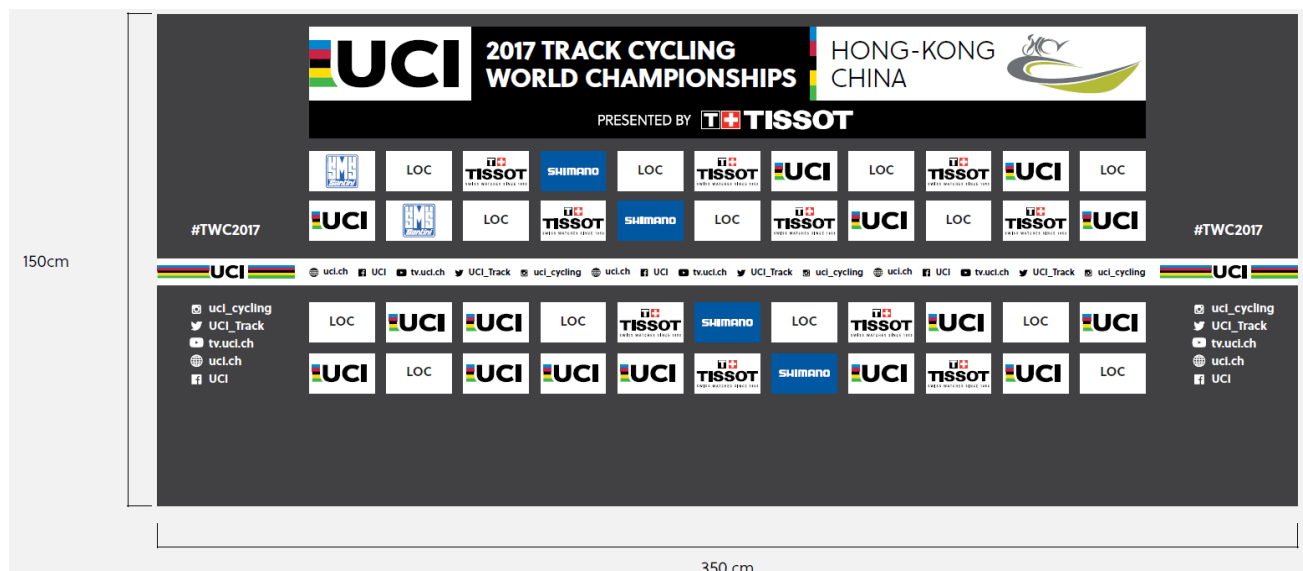
サイズ：5.6m×4m

※表彰式中は別途
表彰式用照明が
必要



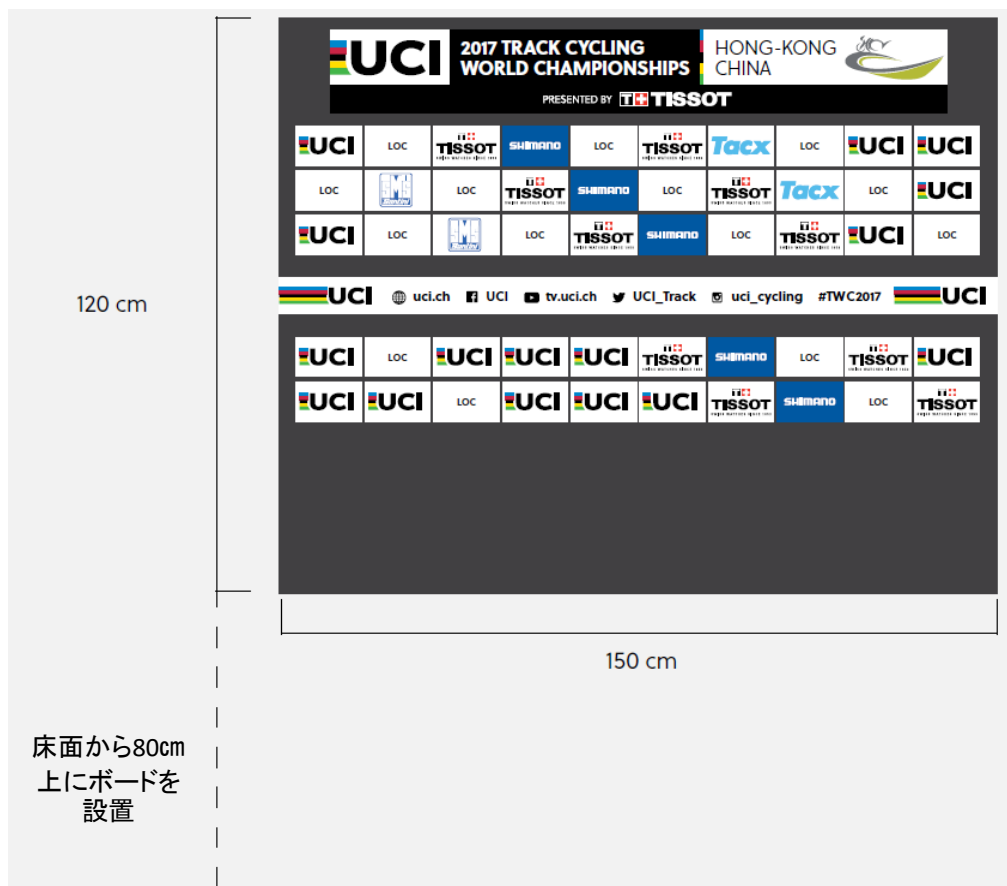
チームマネージャーズMTG並びに記者会見用バックドロップ

サイズ : 3m×1.5m



フラッシュインタビュー用バックドロップ

サイズ : 1.5m×1.2m



表彰式ウェイティングエリア用バックドロップ

サイズ : 5.6m×1.46m

(表)



(裏)



560 cm

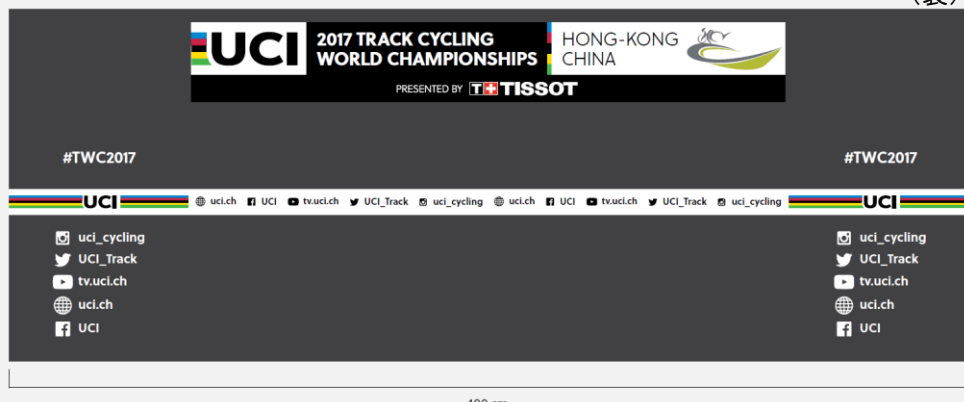
スタート・ウェイティングエリア用バックドロップ

サイズ : 1.46m×4m

(表)



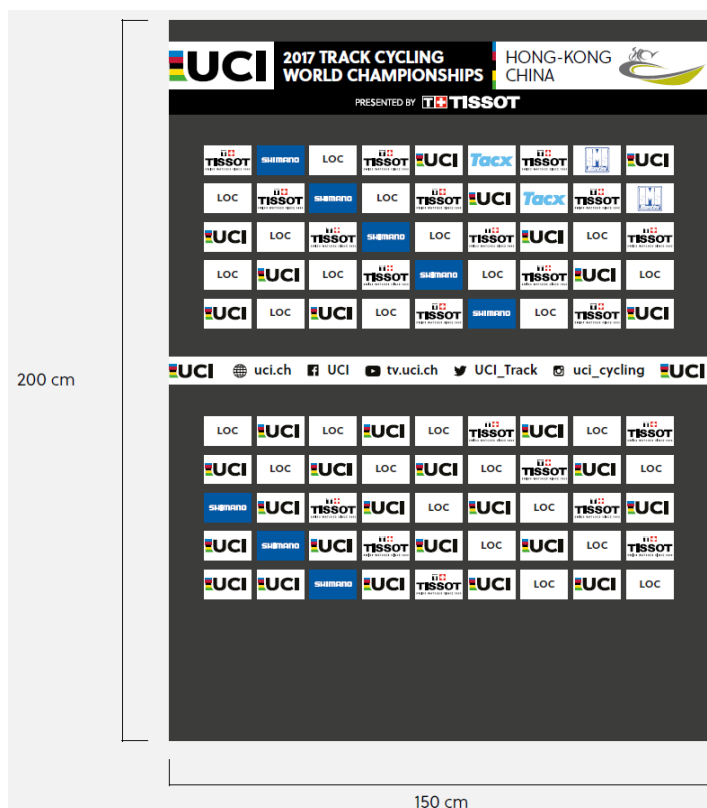
(裏)



400 cm

ミックスゾーン用ロールアップバックドロップ

サイズ : 1.5m×2m



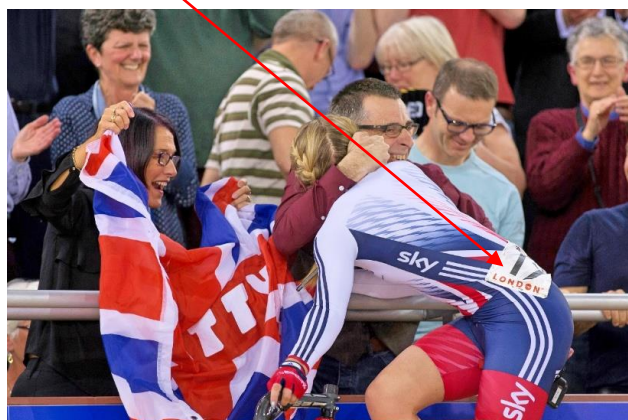
ゼッケン

ゼッケンはUCIのロゴ規定に従い作成される。
各種目ごとのゼッケン枚数は下記の通り。



サイズ : 16cm×18cm

男子	枚数	ナンバー	配布方法
総数	700	1～350	1選手につき2枚
ポイントレース	50	1～25	1選手につき2枚
マディソン (黒)	40	1～20	1選手につき2枚
マディソン (赤)	40	1～20	1選手につき2枚
女子			
ポイントレース	50	1～25	1選手につき2枚
予備	20	ブランク	0～9のプリント



その他：インフィールドにおけるUCIオフィシャルスポンサー関連

その他、TISSOT並びにShimanoに関しては、下記のようなスポンサー対応が必要。

[対TISSOT]

スターター台へのロゴ掲示
(※ボードはUCIが準備)



[対Shimano]

チームピット掲示へのロゴ掲出



大型ビジョンへのCM広告のオンエア回数

- 各セッションの開始前に少なくとも1回
- 各セッションの終了時に少なくとも1回
- 各セッション中において、オンエアが可能なタイミングにおいて
- 表彰式前

再生可能なビデオフォーマットに関しては、少なくとも大会開始2か月前までにUCIに連絡。

アナウンサーによるスポンサー名の読み上げについて

大会開催中、適宜、アナウンサーによるスポンサー名の読み上げを行う。

印刷物関係

ポスター／チラシ

サイズは開催国における経済サイズに順守。
ロゴ掲載に関しては、UCIの承認後、印刷を行うこと

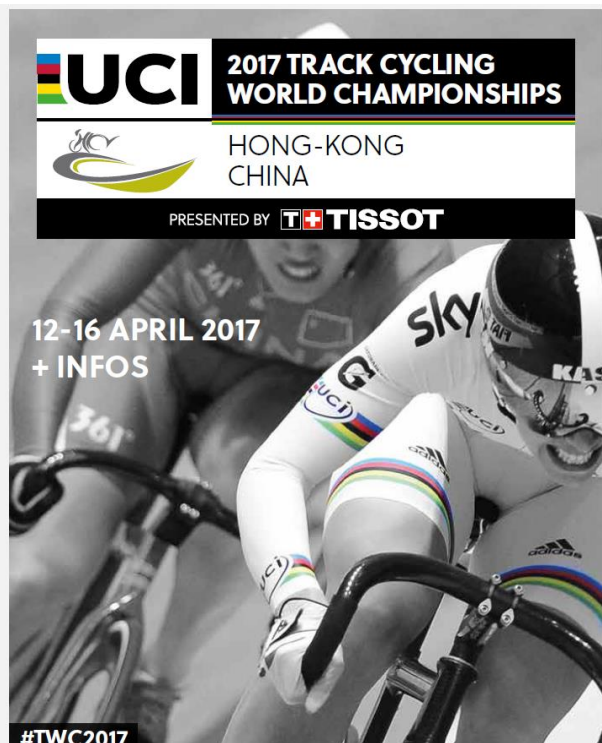


大会パンフレット

サイズは開催国における経済サイズに順守。
ロゴ掲載に関しては、UCIの承認後、印刷を行うこと



各種スポンサー&サプライヤー他、後援企業・自治体などのロゴ



各種スポンサー&サプライヤー他、後援企業・自治体などのロゴ

エキスポエリアについて

スポンサーに対する提供スペースについては、事務局が基本プランを作成。
それに基づき、レイアウトを作成後、UCIの承認を受ける。

エキスポエリアの場所は、ベロドロームの屋外の平坦でしっかりした場所に設定され、ブースを固定できる場所であること。

また、ブースはテントなど、雨対策ができるものを使用すること。

なお、ブース設置費用は事務局の負担とする。

バルーンや飛行船などの空中での広告ツールに関しては、UCIとの協議の上、決定。

サンプリングを行う際、自治体などへの許可申請が必要な場合は、少なくとも大会開始1か月前までにUCIに報告を入れること。

下記はエキスポエリアへの出展社ケアの内容。

- 駐車場の確保
- 出展物の倉庫（大会終了翌日までの備品倉庫）
- 出展ブース周りの24時間警備

アンブッシュマーケティング対応について

アンブッシュマーケティング（スポンサー契約を行っていないにもかかわらず、本大会を利用して企業のPR活動を行うマーケティングのこと）は、UCI並びに事務局の将来において、スポンサー獲得の大きな脅威となるため、アンブッシュマーケティングを発見した際は、事務局は即座に対応すること。

また、事務局は大会前・期間中におけるアンブッシュマーケティングに対するモニタリングを欠かさず行うこと。

〔対応例〕

- アンブッシュマーケティングを行っている企業のPR物の回収
- 公式ボードなどへの広告物の回収

さらに、承認をしていないものへの大会ロゴや大会名の使用に関する管理を欠かさず行うこと。

【事前準備】

メディア並びにTVについて

前提事項

UCIはEBU（European Broadcasting Union）/EPCと、独占ホストブロードキャスタ（HB）契約を結んでいる。（2017年現在）

これにより、TISSOTが協賛するUCIトラック自転車競技世界選手権大会のデジタルメディア権は全てUCIに帰属するものとなる。

なお、テレビ中継に関連して「国際信号」と明記／述べられている場合は、世界選手権の国際中継に耐えうるクオリティを保持したライブ中継信号のことを指す。

本章では、ホストブロードキャストを実施するにあたって必要な業務について、事務局、UCI、HB並びにUCIブロードキャストパートナー（UBP）の4者間における連携業務について説明している。

また、UCIポリシーとして、急速に進化するTV技術を可能な限り取り入れていくが、スポーツ競技の面白さを伝えるのは、技術やカメラの台数ではなく、どのようなカメラアングルによって撮影されるかということが重要であるため、カメラポジションについては、HBと入念に検証したうえで、ベロドローム内のどこにカメラを設置するかが決定される。

なお、既存のベロドロームに関しては、新規に作られたベロドロームに比べ、適切なポジションにカメラ台が設置されていないケースもある。そのような場合は、仮設のテレビ台を客席内に設置することもありうる。

〔UCIが考えるTV撮影に関するキーポイント〕

- 偏りのない、全体をきちんとカバーした映像
- 前大会よりもベターな映像
- 見ている人により大会の状況が伝わる映像
- UBPと視聴者がよりわかりやすい映像製作
- 寄り引きの映像がうまく混ざり合ったカメラアングル
- 至近距離からのバンク映像を取るため、カメラ台の位置は高すぎないようにする

また、UCIと事務局は、HBが任された責務をすべて実行するために必要な設備を提供する義務を担っている。次項は、各業務内容について明記。

テレビ中継に関する概要

[競技開始／終了時間]

競技開始／終了時間は、視聴率を考慮する必要があるため、UCIによりセッション時間は決定される。

[TV制作会議]

競技開始2日前より、TVコンパウンドにて毎日、制作会議を行う。

本会議には、TV制作に必要な責任者が全て参加し、UCIのTV制作の代理としてのプロデューサー並びに事務局の関連エリアに関する責任者にフィードバックを行う。

[TV提供／レートカード（料金表）／ヒアリングシート]

UCIとHBが共同して、UBPに対して行う提供内容を確定する。

- 提供されるフィード（映像）のテクニカルスタンダード
- フィード（映像提要）を行う日時
- コメンタリーポジション、録画、プレイアウト等の中継に関する全てのサービスに関する料金
- 現場に来るTV局に対するヒアリングシートの作成
- ホテルや天候、入国ビザに関する情報など、大会に関する必要かつ役立ち情報の提供

上記以外にUBPより作業用のコンテナやハイスピードのインターネット回線といったリクエストが出た場合、事務局はそれらを提供しなければならない。

また、これらのサービスに対する請求は、UCI、HB、事務局間で協議され、決定される。

なお、この請求金額は、制作費の補填をするための経費がプラスされた金額ではなく、開催時における市場価格で請求されること。

その他のサービスに関する金額に関しても、UCIの承認を得ること。

上記のUBPに対して発信される情報に関しては、すべてUCIより発信される。

なお、ブロードキャスト・サービスに関するブッキングは全てHBとダイレクトに行われ、その情報がHBよりUCIと事務局に報告される。

<サービス提供のタイムスケジュール>

- | | |
|------------------|-------------------|
| ●UCI承認用の資料： | 大会12週間前 |
| ●UCIからのフィードバック： | 受領より1週間以内 |
| ●HBによる調整： | 受領より1週間以内 |
| ●TVブロードキャストへの連絡： | UBPへのオファー：大会10週間前 |

HBへの返信の締め切りは（大会）3週間前。

必要に応じて、UCIよりTVオファー、レートカード、ヒアリングシートのテンプレートを提供することが可能。

テレビ中継に関する概要

[HBサービス／テープ再生／ライブ配信]

大会期間中、各種UBPからの単独映像の再生や個々のライブインタビューの配信などのリクエストが入った場合、HBは以下の提供を行うことができる。

- 30分枠の世界配信前から世界マルチ配信が始まる20分前に終わるまでの枠
- 世界マルチ配信終了15分後からスタートする30分枠の世界配信の後の枠

これらの放送枠の間は、例外なく、HBのカメラで、単独インタビューやオプションのアップリンクを行うことができる。

なお、上記のUBPからのリクエストは、競技の結果に追うところが多いため、申し込み優先で、該当レースの前日の夜まで予約が可能である。

また、正式申し込み後の払い戻しは、放送枠を使用しなかった場合でも行われない。

[ニュースへのアクセス規定について]

HBが開催地における電子メディア・ライツ（または一部）を所有し、これらの権利を使用する場合は、UCIより現場にいるメディアの権利に関する規定のテンプレートを提供することになる。

[ア kreditation]

HBのコンサルの下、UCIと事務局は、メディアの電子メディア・ライツを守りながら、承認されたHBやUBPの代理制作会社が、業務上、必要な場所に入ることができるようなアクセス・エリアを計画する必要がある。

なお、HBに対しては別途、異なるADカテゴリーの発行の可能性もあり。

ADのアクセスエリアに関しては、ジャッジルーム他、タイムキーピングルーム、データプロセッシングルームや競技管理やテクニカルインフォメーションセンターなど、テクニカルエリアに入る必要のある人たちがこれらのエリアに入れるようなADシステムを構築しておく必要がある。

HB並びにUBPスタッフの登録は、UCIのオンライン登録のみ登録可能。

役割分担：UCI＝ADの発行、事務局＝アクセス管理。

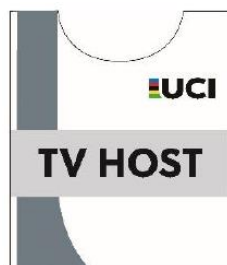
ADの発行に関しては、UCIとHBの両者により、ポータブルビデオ収録やENGカメラのカメラマンに対しても行われる。

テレビ中継に関する概要

[ビブス]

全ての外部メディアのカメラマンはペロドローム内では、必ずビブスを着用する。

下記はその種類（UCI手配）



ホストブロードキャスター



ライツホールド局



非ライツホールド局
(サブライセンス局)

グレーのビブスは、常時、トラックのセキュリティゾーンやインフィールドにて作業を行い、TVコンパウンドを行き来しなければならないHBのクルーのみ着用のこと。

通常、UBPのTVクルーは、カメラマン、アシスタントカメラマン、記者の3名で構成される。これらのメンバーは全員ビブスを着用する必要がある。

ビブスはUCIまたはEPCスタッフにより、会場にて配布されるが、その際、40€または開催国における40€相当のデポジットが回収される。

なお、この40€または相当額はビブス返却時に返金されるが、返却時間は指定されており、それ以外の時間での返却は行われない。

[映像メディアとペン記者／カメラマンの優先順位]

映像メディアとペン記者／カメラマンの対応は、異なるものとされる。

その理由は、映像メディアは、ライセンスフィーを支払っての取材となるため、両者のエリアが重なる部分もあるが、対応は別物とされる。

そのため、計画段階において、どの部分を共有にするか、どのような準備をしておくかを計画しておく必要がある。

いずれにしろ、両者対しては、同様なハイレベルな扱いを行う必要がある。

[情報発信]

会場における情報発信は、建物内の構造によって制約されるが、TV、ラジオにおける配信は、ロジカルかつ迅速、直接的に行なわれる必要がある。

コメンタリー・ポジション、カメラや中継車との情報伝達は、コンスタントかつ迅速でスムーズであること。またセキュリティがきちんとなされている必要がある。

これらの情報伝達がコンスタントでなく、連絡系統がきちんとしていなかったり、スムーズでなく、情報連絡が遅れたりすると、情報発信の劣化やコンテンツに意味がなくなることがあるため、警備員とボランティアに対しては、適切なブリーフィングを行うことは必要不可欠である。

テレビ中継に関する概要

[会場内広告ツールに関する方針]

下記の点に抵触しない限り、UCIは、会場内における固定カメラのアングルの中に広告物が入ることはOKとする。

- 視聴者が選手の動きを見ることができなくなるもの
- 開催地における規制に準じているもの
- 競技に関連した公式の施工物を移動させないもの
- 光を反射したり、または発行しないものであること

[フラッシュインタビューのタイミング]

- インタビューを受ける選手は、各最終セッションのスタート前にUCIのプレスオフィサーとTVコーディネーターによって決められる。
- インタビューはインタビュー対象選手の表彰式が始まる前に行われるが、インタビューの準備は最短で行われること。
- 選手は、UCIフロアマネージャーの誘導により、UCIジャーナリストによりフラッシュインタビューを受ける位置まで移動する。
インタビューは英語またはフランス語で行われ、世界中の視聴者にUCIのマイクから配信される。
インタビュー時間は、マックス1分。
- 可能であれば、インタビュー内容は場内にも放映。

[ジャッジ-レフェリー台用ビデオコントロールカメラ]

競技規定により、ホームストレートの第1コーナー並びにバックストレート後の第3コーナーにビデオコントロールカメラを設置する必要がある。

理想的な設置場所は、HBまたは多局のカメラ台の上にイントレを組んだところ。

イントレが組めない場合は、HB、UCI（TVとコミッセル）、事務局で話し合いを行い、全員が満足する場所を模索する。

[大型スクリーンに表示するグラフィック]

UCIはHBに英語表記のデジタルグラフィックを提供。

タイミング&データサービス提供者（2017年現在、TISSOT）は大型スクリーンへの画像表示と適切なレシーバーに必要なデータを送信。

また、UCIと事務局は、中継車までの伝送配信距離が50m以内になるようにする必要がある。

これは50mを越えると、映像増幅器などの機材が必要となるためである。

なお、画像配信のコンテンツに関しては、事前にHB、UCI、事務局で話し合い、スタイルや表示方法、どのような形で提供されるのかなどを決定する必要がある。

また、ここで決定された内容に関しては、HB他、UBPは、この方針に則り、配信を行う。

HBまたはUBPが大型スクリーンへの表示言語を英語+aで行う場合は、HBまたはUBPの経費により行うことができる。

表示内容に関しては、「UCIグラフィックチャート」を参照のこと。

テレビ中継に関する概要

[カメラポジション（単独ポジション）]

通常、多くのTV局は、国際信号のみを使用するが、中にはHBが提供する信号にプラス、独自の映像を希望するTV局もある。

その場合の追加のカメラはHBから提供または手配される。

このような映像を希望された場合は、追加のカメラ台の増設または既存のカメラ台の使用のいずれかが必要となる。

通常は、自国の人たちが興味を示す自国の選手の活躍を収録するキーとなるポジションに、少なくとも1台のカメラを設置する形となる。

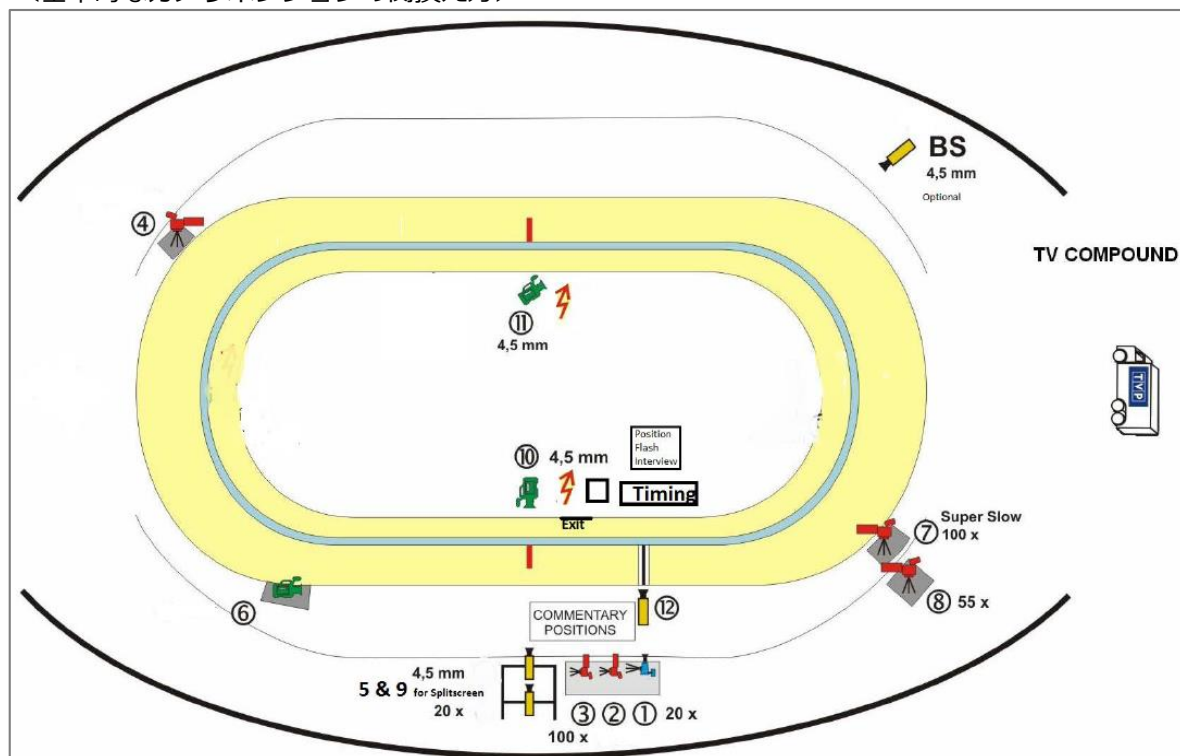
この場合、このエリアへのアクセスに関しては、カメラマン、音響、技術者などが必要だが、全て一緒である必要はない。

なお、独自の撮影を行いたいというTV局が数局ある場合は、HB、UCI、これらのTV局の間で話し合いがもたれ、カメラポジションに関する協定がもたれる。

この際、各局における合意が取れない場合は、申し込み優先となるが、この場合でもHBのカメラポジションは最優先される。

結果、カメラ用にイントレを組まなければならないという際は、事務局はそのイントレ代をTV局に請求することができる。

<基本的なカメラポジションの関換え方>



[英語の実況解説者]

UCIは国際信号として、UBP用に英語の実況解説者を手配する。

HBは無料にてコメンタリーポジション用に必要な機材を準備する。

英語の解説は、音声回線3と4チャンネルの衛星回線に載せられる。

HBの業務

[HDクオリティによる映像製作]

映像配信クオリティ：HD 1080i/50 画像サイズ：16：9（4：3も保持）

[基本信号へのアクセス権]

HBは、現場にて国際信号の全てに対し、全てのUBPが無料かつ無制限にアクセスできるようにしなければならない。

[HBによって提供される業務]

HBはHBが提供するサービスに関連する全ての手配とサービスがきちんと提供されるようにしなければならない。特に、下記のサービスに関しては、UBPに対して無料で行われなければならない。

- スーパーバイズ業務
- リクエストされた機材とスタッフの手配業務
- 24時間通電と非常電源の提供
- ネットを含む電話回線（ただし、通話料は使用者負担）
- 必要に応じたUCIタイムキーピング並びにデータコンピュータ・サービスへのアクセス
- ライセンスホルダーからのリクエストベースによる機材の手配と設置業務
（有償：金額はレートカードにて事前告知）
- HBのゲートウェイならびに国際信号の分配地点へのアクセス

国際信号の自国への配信に必要で、手配可能な機材／サービス（金額は事前告知。費用はUBP負担）

- 電話回線（ただし、通話料は使用者負担）
- ケーブルサービス（4回線）
- 中継における電波の振り分け
- レートカードに基づいた世界選手権大会の収録映像の使用
- UBPからブッキングされた場合における、HBにより製作されたハイライト番組のコピーを含む
HBにより収録された映像へのアクセス
- 電源使用料

[使用可能な映像]

HBはUCIが、UCIと合意した映像フォーマットで、デジタルストレージの中に入っている各競技日の国際信号のコピーができるようにする。

このサービスは無料で提供され、また、各日程の競技終了後2時間以内にコピーできるようにしておかなければならない。

[国際ニュース映像]

HBは、無料にて、毎日、最終競技が終わってから1時間以内に、UBPのニュース・アクセスの配信用のニュース用の映像データ（VNR）を提供できるようにする。これらの映像はUBPのニュース・アクセスに配信される。

[UCIハイライト番組]

HBは、無料にて、英語のネイティブスピーカーによる解説の入ったハイライト番組を作成する。

UCIは番組の長さやフォーマットや納品日をHBに伝える。またUCIは音声収録前に番組編集やクオリティについて指示することができる。

[楽曲使用]

HBがクリップやスローモーションなどに音楽をかぶせる場合は、必ずUCIの音楽ライセンスパートナーが保有する楽曲から使用すること。

UCIはHBからの楽曲名に関する連絡に基づいて、音楽ライセンスパートナーに連絡をする。

HBの業務

[タイミング並びにデータ表示]

HBは開催地の広告規制に則り、オフィシャルコンピューター並びにオフィシャルタイムキーピングサプライヤー（2017年現在、TISSOT）の企業ロゴ／名を画面上に表示しなければならない。

[UCIロゴ]

HBはUCIロゴを、番組開始時（CM明けも含む）に画面表示しなければならない。（UCIよりロゴ提供）

[大会ロゴと大会名]

開催地の国内法に準ずる形で、HBは正式な大会名をテレビ放映の際、必ず使用しなければならない。

[カメラ映像／CCTVに対するUCI／事務局のアクセス権]

HBは、UCIならびに事務局に対し、大会期間中、観客サービス映像として現場の大型映像用に使用する中継車からの映像ならびに編集された全映像に対するアクセス権を無料で提供しなければならない。

なお、中継車から大型スクリーン間のケーブルは、事務局経費で賄われ、その費用も事務局によって負担される。

[UBPへのサポート業務]

HBは世界選手権大会の放映を希望するUBPに対し、UBPが必要とする技術並びに管理支援、手配を提供しなければならない。

この業務には、カメラフィードへのアクセス権やTVコンパウンド内における施設や必要なスペース他、コメンタリーポジションの手配や要望に応じての映像編集スタジオの手配、カメラ台の設置、仮設プレゼンテーションスタジオの施工、事務局やUCIとの連絡支援などのコーディネーション業務が含まれる。

[コメンテーター用ブース]

HBはUBPの発注に応じて、TVまたはラジオコメンタリーポジションに必要な備品を（全てまたはある程度）兼ね備えた、最新式の使い勝手のいいコメンテーターコンソールを提供しなければならない。

また、リクエストに応じて、HBはTV信号や電源用に必要なケーブル配線や技術サービスを行わなければならない。コメンタリーポジションでの映像配信関係で使用された電気使用料は、HBからUBPに対して請求される。

注意：

コメンタリーポジションに付属の電源コンセントから取られる各種電気機器用に使用された電気使用量は事務局経費となる。

[コメンテーター用モニター]

HBは各TV＆ラジオコメンタリーポジションに、最低1台のモニター（17インチ）を支給すること。これらのモニターに付随する必要なケーブル関係並びに引き回しに関してはHBが行う。

HBの業務

[UCI並びに事務局との連携]

HBは、要請内容が正しく、対応可能な場合は、世界選手権大会の運営や組織運営、プレゼンにおいて、常に、事務局並びにUCIのアシストを行う。

要請内容が正しく、対応可能な場合、競技ルールの違反または違反の疑いの判定を行うアシスト業務として、ジャッジまたはUCIのテクニカルデリゲートに、競技の収録映像に対するアクセス権を渡す。

HBは、事務局並びにUCIに対し、ここに述べられた業務に見合うよう、また指定された期日まで公開されている情報を提供する支援を行う。

HB、事務局、UCIは、現場において、HBの業務に関するミーティングに出席するようにする。

[基本信号へのアクセス権]

HBの業務について

- TVコンパウンド内の各HBのカメラと周辺機器間における（ケーブル、無線信号他による）接続
- TV・ラジオコメンタリーポジションとTVコンパウンド間の接続
- コメンテーターコンソールへのケーブルと接続。ただし、電源共有は除く。
- 製作ソースから号されているインターフェースポイントまでのTV信号のケーブル結線

[損害保険]

HBは、大会期間中の機材、施設使用ならびに操作によって発生する第3者リスクを補完する適切な保険に加入（UCI並びに事務局には内容に関する詳細を提供）すること。さらには、HB、UBP、UBPの雇用者代理店や契約者などからも発生するリスクに対しても補完していること。

事務局の業務

[カメラ台]

事務局は、HBの固定カメラを設置するための、揺れのないカメラ台を提供する。

UBPが追加のカメラ台をリクエストした場合は、レートカードをベースに話し合った結果の金額を事務局に支払う。

HBは、UCI並びに事務局と、HB並びにUBPのニーズと会場内の制約について協議の下、大会開始4か月前までに、カメラポジションを決定する。

なお、4か月前を過ぎてのカメラポジションの変更については、UCI並びに事務局とのコンセンサスが必要。

会場視察時に出されたケーブルダクトやブリッジ、その他の変更に対するリーズナブルなリクエストに関しては、UCI、事務局、HBの3者間において合意される必要がある。

事務局は、カメラ台までのケーブル配線を確認し、一般客やその他のメディアによる不正アクセスが行われないための適切な処置を行わなければならない。単独放送局によって使用されるカメラ台の経費はUBPにより支払われるが、この場合、HBから事務局への公式書類があり、そのコピーがUCIに送付され、確認された場合においてのみとなる。

全てのカメラ台の設置はHBの吊りこみ作業が行われる前日までに終了されていること。

事務局の業務

[音のピックアップ用マイクの設置について]

事務局は、国際ステレオ音声信号を提供するためのマイクを設置する場所をHBに提供する。

スペースの大きさや場所については、事務局、UCI、HBの3者間における協議によって決定されるが、この際、HBはカメラポジションについても決定を行う。

[照明]

事務局は、鮮明なTV映像を撮影することができるように、均一で水平1400ルクス、トラックのインサイド並びにアウトサイドから照射角30°の照明を提供すること。

照明が垂直に吊られており、トラックの外側からの照明しかない場合、メインのカメラからの選手のショットが常に暗くなるので注意。

HBのリクエストに応じ、事務局は照明に関する承認またはデモンストレーションを事前に行うこと。

[TVコンパウンド]

事務局はHBに対し、競技会場に可能な限り近距離で、HB並びにUBPが外付け放送ユニットや衛星用のアップリンク機材を装備した技術車や備品を置ける十分な広さをもったTVコンパウンド用の場所を提供する必要がある。

更に、その他の車両用の駐車場を確保する必要があるが、これはTVコンパウンドの近くにある必要はない。

TVコンパウンド用に確保された場所は、十分な耐荷重があり、南北半球への衛星配信に対して障害物がない場所であること。

広さは2000㎡が必要

事務局は、TVコンパウンドを最低2m高の金属フェンスで囲う必要があり、また、施工開始初日から大会終了翌日まで、24時間出入りが行えるようにする必要がある。

なお、TVコンパウンドの近くには男女トイレと給水システムを準備すること。

[作業オフィスの準備]

UBPの作業用オフィスとして、TVコンパウンドから近いベロドローム内にワーキングルームまたはTVコンパウンド近くにオフィス用のプレハブを準備すること。

オフィス内には、230V、16アンペアの電源と通常オフィスに必要と思われる備品（テーブル、イス、食器棚など）を準備。

このオフィスはHBに対しては無料で提供されるが、UBPに対してはレートカードに従い、オフィス使用料が請求される。

インターネット接続は、HB、UBPともに無料で使用できるように準備をしておく必要がある。

追加の電話回線などに関しては、UBPの経費において発注される。

バックアップシステム用電源は事務局手配。電気使用料に関しては、HBを除き、利用者が支払う。

事務局の業務

〔コメンタリーポジションについて（TVとラジオ）〕

TV並びにラジオ用に提供されるコメンタリーポジションは、元々、大会TV放映に必要な音声解説用のエリアのことを指す。

ペン記者とは異なり、音声・映像メディアの代表は、大会期間中を通してコメンタリーポジションに入る。

コメンタリーポジションは、レースの進行方向でフィニッシュライン上に作られる。

最終的な場所はHBとUCI、事務局によって決められるが、その際、同時にカメラポジションも決められる。

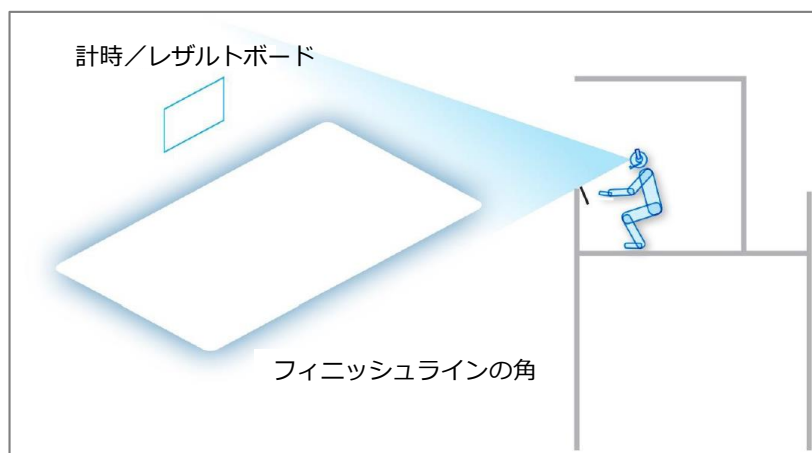
その後の場所の変更はHBとUCIの合意がない限り行えない。

コメンタリーポジションはメインのフィニッシュラインの近くにあり、競技全体、スコアボード、フィニッシュラインを適切に邪魔なく見ることができる場所であること。

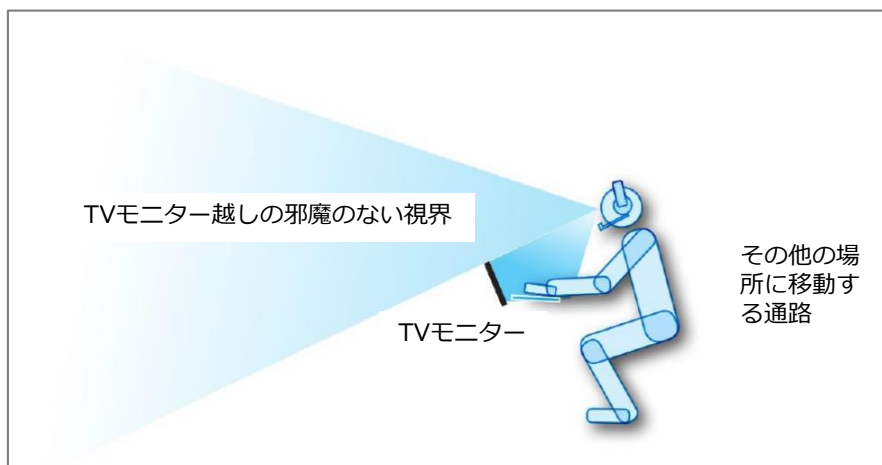
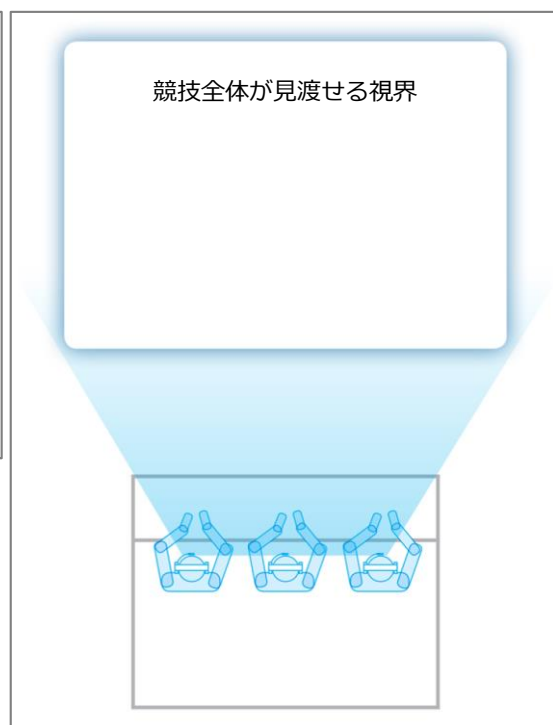
また、その場所は観客やその他のメディアから隔離されている。

また事務局は可能な限り、コメンタリーポジション周辺の騒音が入らないようにすること。

各コメンタリーポジションは下記の図に従い、設置されること。



※フィニッシュラインとスコアボードが完全に見えること



事務局の業務

各ポジションの幅は180～200cmで、その中に奥行き80cmの3名掛けのテーブルとイス、モニターがあり、イスの後ろには人が通れる通路が確保されていること。

下記は各ポジションに必要な備品。

- ケーブルと4口電源コンセント
- データ転送用のISDNに接続するコンセント
- CIS（Commentator Information System）
- 17インチ以上のモニター
- 有線インターネット

注）電源ソケット、インターネット接続、電気並びにネット使用料は事務局負担

UBPはレートカードに基づき、コメンタリーポジション使用に伴う施設使用料を支払う。

HBは各コメンタリーポジションにモニター、コメンテーターコンソール並びにそれに伴う各種配線関係をHBの経費で設置する。

コメンタリーポジション数：約20ポジション

最終のポジション数は、レートカードに基づいたコメンタリーポジション申し込みの締め切り直後に、HBより事務局に連絡される。これらのコメンタリーポジションは、大会開始1日前までにできていること。各UBPの配置場所はHBとUCIの協議の下、決定される。

[コメンテーター・インフォメーションサービス]

事務局は、TV並びにラジオのコメンテーターに対し世界選手権大会に関する各種情報（大会の歴史、スタートリスト、レザルト、各選手のプロフィール、変更などを含む競技スケジュール、記録や発生したアピールやニュースアイテムなど）を英語で適宜、提供する。

SWISS TIMINGは現在のスタートリスト、掲示、レザルトをデジタルCISにより提供する。また、SWISS TIMINGに、少なくとも大会1か月前までに、コメンタリーポジションの数を連絡しておく必要がある。

[インタビューポジション]

世界選手権大会では、通常のミックスゾーンは使用されないが、国際フラッシュインタビューが行われる台の側に設置される。このインタビューポジション用に事務局は適切な照明を準備すること。

[専用スタンドアップポジション]

HB、事務局、UCIは単独番組のプレゼンやインタビュー用の専用のスタンドアップポジションの設置場所、大きさ、デザインについて協議を行う。これらのポジションはTVジャーナリストやカメラマンも使用可能である。なお、HBはカメラポジションが決定される以前に、どのUBPがこれらのポジションを使用するかを確認しておく必要がある。

[仮設プレゼンテーションスタジオ]

HBとUBPは選手権大会の会場に仮設のプレゼンテーションスタジオを作り、それを運営する。

HBはHBはカメラポジションが決定される以前に、どのUBPが仮設プレゼンテーションスタジオを作りたいのかを確認しておく必要がある。

HB、UCI並びに事務局は、プレゼンテーションスタジオを設置するのに最も適した場所、大きさ、施工方法を協議するが、スタジオからはフィニッシュラインがクリアに見える必要がある。

事務局は、イントレや台、電源や通路やフェンスといったものを設営するが、これらの経費は全てHBにより支払われるが、この経費はHBからUBPに対して請求される。

事務局の業務

なお、仮設プレゼンテーションスタジオで使用される電気代などはUBPにより支払われる。

[車両証など]

事務局は、HBやUBPが大会会場敷地内に入れるように車両証を発行する必要がある。

枚数は最低100枚。

車両証の配布はUCIが行う。

[移動手段]

事務局はメディア用の移動手段を提供し、またUBPは他のプレスと同じ扱いをすること。

[電源供給]

事務局は、競技場外を含む、全ての放送機器を稼働させるのに十分な電源並びにバックアップ電源を供給する。また、供給する電源はHBのプロダクション機器用とグラフィックサービス用に分けられていること。

電源供給は大会開始2日前から終了翌時の昼の12時まで24時間体制で供給される。HBの電気使用料は事務局餅となるが、UBPの分はレートカードに基づき、UBPに請求される。

[電話／電波周波数]

事務局は会場での使用に足る十分な電話回線と電波周波数を確保し、一斉に多くの人が携帯電話を使用してもパンクしないようにしておく必要がある。

[HBへのサポート業務]

事務局は事務局とHB間で合意されたベースに基づいて、HBに対し、ホテルやボランティアや機材持込みに関する輸出入や税関の手続き、といったことに関するサポートを行う。

[設営、テストなど]

遅くとも大会開始2日前までに、事務局はHBが必要なセットアップやテストなどを行えるように、全ての機材や施設を完全に設置終了しておかなければならない。

経費負担

項目	UCI負担	HB負担	事務局負担
メディアADシステム	○		
カメラ台とHB用通路			○
CISデータと設置を含む機材	○		
コメンタリーポジション設営 (HB/UCI用無料、UBP分はHBに立替請求)			○
コメンタリーポジション用電源 (HB/UCI用無料、UBP分はHBに立替請求)			○
コメンタリーポジション用モニター (UCI用無料、UBP分はHBより請求)		○	
コメンタリーポジション追加備品、CODECなど (UBPへHBより請求)		○	
照明			○
UBPの管理		○	
表示用グラフィック	○		
インタビューポジション用UBPのENGカメラ用台			○
電気使用料 (HB/UCI用無料、UBP分はHBに立替請求)			○
製作機材とスタッフ		○	
UCI用記録		○	
TVコンパウンド (セキュリティ含む)			○
現場インフラ (オフィス、インターネットなど) (HB/UCI用無料、UBP分はHBに立替請求)		○	
電話回線／インターネット回線 (基本は無料。高速の場合は、UBPへ請求)			○

配線に関する役割分担

項目	UCI対応	HB対応	事務局 対応
コメンタリーポジション： 電源供給と最低4口ソケット	○		
コメンタリーポジション：ISDNへの接続			○
コメンタリーポジションCISへのデータ転送	○ (SWISS TIMING)		
コメンタリーポジション： 各ポジション内のTVモニターへのTV信号アウト		○	
コメンタリーポジション： コメンテーターコンソールへの音声アウト		○	
ミックスゾーン： 各ポジション内のTVモニターへのTV信号アウト		○	
データサービスプロバイダーからTV中継車への データ並びにグラフィック提供		○	
サービスプロバイダーからTV中継車へのタイミ ング、計測データ、グラフィックの提供		○	
TV中継車から連盟、事務局指定箇所（ビデオ ボード、TIC、メディアセンター、VIPエリア、 競技運営などへの映像送信			○
テレビプロダクション		○	

プレス対応

プレスの立ち位置：UCI並びに事務局の特別なパートナー

プレスとのコミュニケーションは、UCIプレスオフィサーが行う。

また、事務局はUCIプレスオフィサーのカウンターパートナーとして、事務局が指名した国内プレスオフィサーを立てること。このプレスオフィサーは、プレスエリアがきちんと作業がしやすい、行き届いた場所にあること。

事務局のジャーナリストやフォトグラファーに対する業務は下記の通り

- 世界選手権大会1年前：各種項目がプレスの要件をクリアしているかの確認。
- 世界選手権大会8か月前：UCIプレスオフィサーまたはその代理、国内プレスオフィサーによるプレスエリアや設備のチェック。

[プレス受付エリア]

受付は、プレスエリア入り口付近に設置すること。

この受付の機能は、受付、プレスキットの配布。お土産がある場合は、その配布やジャーナリストやフォトグラファーのサポート機能。

ここには、国内プレスオフィサー、秘書やフロアスタッフ、通訳、IT技術者、UCIプレスオフィサーが待機する。

備品リスト

- 受付前にプレス用受付チェックデスクを1台
- 必要であれば、秘書やフロアスタッフ、通訳の受付デスク
 - ・大量のLANケーブル（ダウンロード：10Mbps、アップロード：2Mbps）
 - ・ルーター
 - ・WiFi
 - ・コミュニケなどの張り出し用ホワイトボード
 - ・古紙回収ボックス
 - ・Fax 1台
 - ・コピー機 1台
 - ・電源コンセント
 - ・ルーター
- オフィス用の部屋 2部屋（国内プレスオフィサー用、UCIプレスオフィサー用）
 - ・デスク 1台、テーブル 2台
 - ・ゴミ箱 1個
 - ・電源コンセント
 - ・国際電話がかけられる電話回線
 - ・鍵付きロッカー 1台
 - ・フリーLANとWiFi

プレスオフィサーの最大の役割は、ジャーナリスト並びにフォトグラファーの対応であり、プレス受付エリアは大会開始48時間前には稼働できるようにしておく。

[プレスエリア]

プレスエリアは、遅くとも大会開始48時間前までに使用可能な状態にしておく。

場所はインフィールドにあり、アクセスしやすいところに設置すること。

プレス対応

プレスエリア内の備品

●作業エリア用備品

- ・ 200名用の作業スペース（～120m×0.7m）とイス
- ・ 各イスごとに電源コンセント
- ・ LAN並びにWiFi（ダウン：10Mbps、アップ2Mbps以上）
- ・ 3～4回線分の電話回線
- ・ 7局以上のTV局が見られるテレビ
- ・ ピジョンホール
 - ・ 30スロット分はプレスリリース、コミュニケーション用
 - ・ 1スロット：レザルト用
- ・ クロークルームとロッカー（30×30×40cm）

ロッカーはジャーナリストやカメラマンが持ち込んだ荷物を入れておくためのもので、鍵は20€（現地通貨で同等金額）のデポジットと交換で発行され、鍵の返却とともにデポジットは返金される。
- ・ 軽食と飲み物

紅茶、コーヒー、軽食類を準備しておくのは好ましいが、アルコール類はNG。
- ・ プレスエリアへのアクセスについて

プレスエリアには、ジャーナリスト、カメラマン、プレス関係者以外は入れない。
 なお、事務局またはUCIプレスオフィサーが許可した場合のみ、UCI代表、選手、チームマネージャー、ナショナルコーチなどのアクセスが許される。
 これらの人たちは、プレス用のコミュニケーションを持ち帰ることはできない。

注）コンピュータや通信機器関係のプロバイダーが提供するサービス以外は、一切、プレスエリア内における広告はNG。

[カメラマンエリア（30名分）]

プレスエリア内に最大30名のカメラマンが入れるエリアを確保しておくこと。

これらのエリアには、ベン記者と同様の下記の備品が用意されていること。

なお、カメラマンエリアをどこに設置するかは、UCIと事務局のプレスオフィサーが視察時に決定する。

- ・ テーブル
- ・ イス
- ・ 電源コンセント
- ・ インターネット回線（LANとWiFi）

[記者会見場－インタビュールーム]

記者会見場はめったに使われることはないものの、準備をしておく必要がある。

- ・ 部屋は選手の移動距離を短くするため、メディカルコントロールルームに近いこと。
- ・ 400～500mm高のステージ上に5名＋通訳1名が座れるテーブル、イスを設置
- ・ テーブル上に有線マイク3本、ワイヤレスマイク2本＋スピーカー
- ・ 記者用にイス 50脚
- ・ 選手用のドリンク（水、フルーツジュースなど）

事務局は記者会見がスムーズに行くように、マイクラナー2名、更に仏語、英語、独語、伊語、蘭語の通訳をそれぞれ手配。

また、この部屋はUCIプレスオフィサーとの合意のうえで、事務局、UCIインフォメーション会議にも使用される。

インタビュールームは、プレスエリア使用開始日と同じ日より使用可能な状況にしておく。

プレス対応：その他

[プレスアクレディテーション申請手続き]

ナショナル・プレスカードまたはAIPS/AUCカードを持っているジャーナリストのみ、プレス・アクレディテーションの発行を受けることができる。

UCIプレスオフィサーが許可した場合、元選手や元チームマネージャーなどのコンサルタントは「プレス」として認められる。

登録は全てUCIのウェブサイトから登録申請が行われる。

[TV、カメラマン用ビブス]

トラックのセーフティーゾーン内に入れるカメラマンは限定されており、他のメディアと異なる色のビブスがUCIより貸与される。

- ・セーフティーゾーン内に入れるテレビ局用ビブス
- ・必要に応じて、セーフティーゾーン内に入れるTV放映権を持ったテレビ局用ビブス
- ・セーフティーゾーン内に入れるカメラマン用ビブス。ただし、最大12名まで

[インフォメーション並びにコミュニケ]

全てのインフォマートは、開催地言語並びにUCI公式言語のフランス語、英語で配信される。

アクレディテーションを受け取りに来た際、ジャーナリストとカメラマンに各種情報を提供する必要がある。

各ジャーナリストは、少なくとも下記のような情報が入った事務局が準備したメディアキットを入手することができる。

- ・競技スケジュール、式典、プレスエリアのオープン時間などが記載されたオフィシャルプログラム
- ・選手リスト
- ・事務局またはUCIプレスオフィサーの連絡先
- ・メディアエリアの場所
- ・特記情報
- ・市街地マップや会場レイアウト、近場のレストラン情報などの入った観光情報

これらの役立ち情報は、メディアガイド内に盛り込まれていること。

注) プレスキットはアクレディテーションセンターまたはプレスエリアのプレス受付にて配布。

プレスの運営プランについては、UCIメディアサプライヤーの視察後、事務局に提供され、事務局はこの内容に従い、準備を行うこと。

【事前準備】

ビジュアルガイドライン

UCIトラック自転車競技世界選手権におけるロゴ使用他、各種バックドロップやサイン掲示に関しては、UCIより発行されている「UCI TRACK CYCLING WORLD CHAMPIONSHIPS PRESENTED BY TISSOT VISUAL GUIDELINES」を参照すること。

なお、本ガイドラインは、UCIにおいてマーケティング内容が変更されると、それに伴わせビジュアルガイドラインも改編されるため、世界選、開催時には、マーケティング担当者にコンタクトを取り、最新のビジュアルガイドラインを取り寄せること。

なお、大会ロゴ作成に関しては、下記を参照。

大会ロゴについて

事務局は下記の赤の点線で囲まれた部分にはめ込むことのできる大会ロゴ（パターンA）並びに、その下に示されたようなロゴ（パターンB）を作成することができる。

〔パターンA：バナーロゴ〕



〔パターンB：大会ロゴ〕



作成にあたってのレギュレーションは下記の通り。

- 世界選開催年を入れること
- 開催市の名前を入れること（都市名は日本語、国名は英語のパターンもOK）
- 自転車に関連していることが一目でわかること
- UCI世界選手権大会またはUCIのイメージをネガティブに表現していないこと

注意点としては

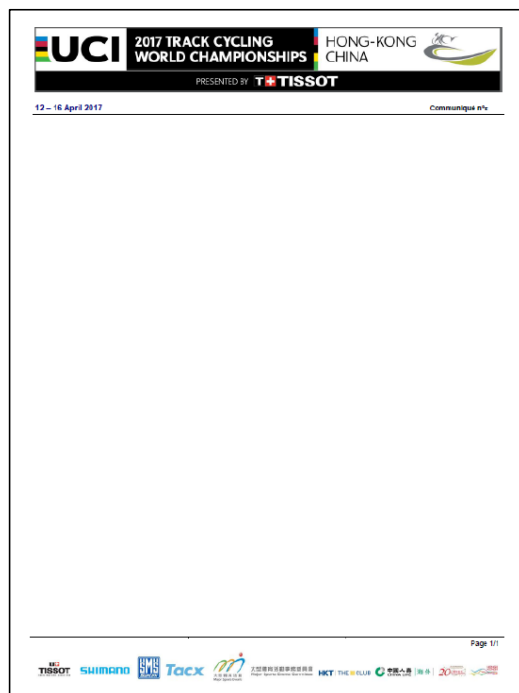
- 使用する前に必ずUCIの承認を得ること
- 著作権は全てUCIに渡されること
（デザイナーがいる場合は、著作権の譲渡がなされない限り、ロゴとしては使用できない）
- ロゴ並びにマスコットの著作権は全てUCIに帰属する。
- ロゴの配置、サイズに関しては、ガイドラインに則り、使用すること。

【ロゴが使用できるアイテム】

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| ●大会ウェブサイト（SNS含む） | ●大会プログラム |
| ●大会速報 | ●プレスリリース |
| ●コミュニケ | ●ポスター、チラシ、パンフレット |
| ●スタートリスト&リザルト | ●文房具 |
| ●チケット（VIPチケット、オフィシャルディナー含む） | |
| ●公式行事への招待状 | ●車両証 |
| ●オフィシャルプレゼンテーション | ●セールスシート |
| ●地図 | ●TVグラフィック |
| ●グッズ | ●案内掲示 |
| ●バナーやその他のPRツール | ●大会インフラ関係 |
| ●ビデオクリップ | ●メルマガ |
| ●各種ニューメディア | など |

前ページで説明したロゴ使用に関して、下記はコミュニケなどの印刷物に使用する場合のロゴ配置並びにスポンサーロゴ標記である。

なお、これらのテンプレートを使用する前には必ずUCIの承認を得てから使用すること。



[コミュニケ：サンプルレイアウト]

ポスター・チラシについて

ポスター、チラシの作成に関しても、同様のロゴ使用に関するレギュレーションがあるため、それらに準じた形でデザインを起こし、UCIの承認を得ながら最終稿に仕上げること。



[ポスター：サンプルレイアウト]

オフィシャルプログラムについて

オフィシャルプログラムは、大会本番日より約5か月前から制作を開始する。
また、承認を受けるため、事務局は試し刷りを行い、それをUCIに送付。
試し刷りはUCIが必要とする場合、承認を受けるまで、再三、行われる。（費用は事務局持ち）

なお、オフィシャルプログラムにおける最低必須項目は下記の通り。

〔表紙〕

- オフィシャルロゴ
- 大会名
- 大会スポンサーロゴ

注：事務局のスポンサーロゴが掲載される場合は、UCIスポンサーも同じサイズで明記

〔コンテンツ〕

- 写真付きUCI会長からのメッセージ
- 理事会メンバー紹介（写真なしでOK）
- コミッセル・パネル紹介
- UCIオフィシャルドクター、テクニカルデリゲート、ドーピングコントロールオフィサー紹介
- ベロドロームまでのアクセスマップ
- 競技スケジュール
- 世界選手権の歴史
- 注目選手紹介
- 事務局並びにオフィシャルホテルの住所、電話番号
- 役立ち情報
- 開催地に関する観光ガイド
- UCI並びに大会スポンサーの広告ページ



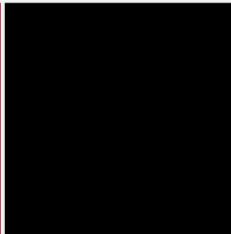
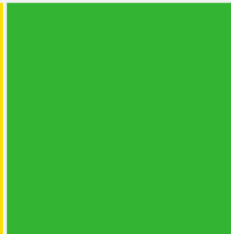
〔大会プログラム：裏表紙〕



〔大会プログラム：表紙〕

UCIカラーについて

UCIロゴの印刷に関しては、下記のカラーコードに準じ、プリントアウトを行うこと。

UCI Blue	UCI Red	Black	UCI Yellow	UCI Green
				
RGB 0 120 200 CMYK 100 32 0 0 PANTONE® 3005 RAL 5017	RGB 200 20 60 CMYK 20 100 75 0 PANTONE® 186 RAL 3020	RGB 0 0 0 CMYK 20 0 0 100 PANTONE® Black 6 RAL 9011	RGB 250 225 0 CMYK 0 10 100 0 PANTONE® 114 RAL 1018	RGB 50 180 50 CMYK 73 0 100 0 PANTONE® 361 RAL 6018

UCIロゴ掲出時のクリアランスについて

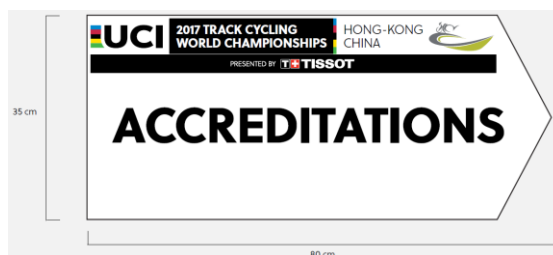
UCIロゴを掲載する場合、上下左右に掲出エリアの5%のクリアランスエリアをキープすること。



案内サイン

サイズ : 0.8m×0.35m

※諸室などのサイン掲示は
この形を踏襲



【大会運営】

大会実施スケジュール

設営日			
時間	大会15日前	大会14日前	大会13日前
8:00	設営7日目	設営8日目	設営9日目
:30	インフラアップ		
9:00	製作開始前におけるバックドロップのレイアウト、プロモーション・アイテムおよび公式プログラムの内容に関するUCIへの提出		
:30			
10:00	ケータリング計画並びに配車計画に関するUCIへの報告		
:30			
11:00			
:30			
12:00			
:30			
13:00			
:30			
14:00			
:30			
15:00			
:30			
16:00			
:30			
17:00			
:30			
18:00			
:30			
19:00			
:30			
20:00			
:30			
21:00			
:30			
22:00			
:30			
23:00			

設営日			
時間	大会12日前	大会11日前	大会10日前
8:00	設営10日目	設営11日目	設営12日目
:30			表彰式関係者とリハーサル日の調整と、リハーサル日に関するUCIへの連絡
9:00			
:30			オンライン上の選手登録の締切選手リスト作成
10:00			
:30			参加国リスト作成
11:00			選手のエントリーリストに従いビブナンバー（ゼッケン）の製作と安全ピンの準備
:30			
12:00			
:30			
13:00			
:30			
14:00			
:30			
15:00			
:30			
16:00			
:30			
17:00			
:30			
18:00			
:30			
19:00			
:30			
20:00			
:30			
21:00			
:30			
22:00			
:30			
23:00			

設営日／非公式トレーニング日

時間	大会9日前	大会8日前	大会7日前
8:00	設営13日目	非公式トレーニング1日目	非公式トレーニング2日目
:30			
9:00			
:30			
10:00			
:30			
11:00			
:30			
12:00			
:30			
13:00			
:30			
14:00			
:30			
15:00			
:30			
16:00			
:30			
17:00			
:30			
18:00			
:30			
19:00			
:30			
20:00			
:30			
21:00			
:30			
22:00			
:30			
23:00			

非公式トレーニング日／公式トレーニング日

時間	大会6日前	大会5日前	大会4日前
8:00	非公式トレーニング3日目	非公式トレーニング4日目	公式トレーニング1日目
:30	バックボードの設営とトラック上のロゴペインティングの実施	UCI到着前までにインフィールド、諸室、TVコメンタリーエリア、VIPエリアの設置完了	メディカルチーム稼働開始
9:00	ペロドローム内の案内掲示の設定		9:00-10:45
:30			グループA 公式トレーニング
10:00			
:30			
11:00			10:45-12:30
:30			グループB 公式トレーニング
12:00			
:30			
13:00			12:30-14:15
:30			グループC 公式トレーニング
14:00			
:30			
15:00			14:15-16:00
:30			グループD 公式トレーニング
16:00			
:30			
17:00			16:00-17:45
:30			グループE 公式トレーニング
18:00			
:30			
19:00			17:45-19:30
:30			グループF 公式トレーニング
20:00			
:30			
21:00			TV用プラットフォームと兼合いのコミッセールプラットフォームの設置
:30			
22:00			中継車の準備
:30		アクレディテーションセンターは大会初日の少なくとも5日前に運営開始	ビデオボードの設置
23:00			レースに必要なものの用意

公式トレーニング日			
時間	大会3日前	大会2日前	大会前日
8:00	公式トレーニング2日目	公式トレーニング3日目	公式トレーニング4日目
:30			
9:00	9:00-10:45 グループC 公式トレーニング	9:00-10:45 グループE 公式トレーニング	9:45-10:45 グループB 公式トレーニング
:30			
10:00			
:30			
11:00	10:45-12:30 グループD 公式トレーニング	10:45-12:30 グループF 公式トレーニング	10:45-12:30 グループC 公式トレーニング
:30			
12:00			
:30			
13:00	12:30-14:15 グループE 公式トレーニング	12:30-14:15 グループA 公式トレーニング	12:30-14:15 グループD 公式トレーニング
:30			
14:00			
:30			
15:00	14:15-16:00 グループF 公式トレーニング	14:15-16:00 グループB 公式トレーニング	14:15-16:00 グループE 公式トレーニング
:30			
16:00			
:30			
17:00	16:00-17:45 グループA 公式トレーニング	16:00-17:45 グループC 公式トレーニング	16:00-17:45 グループF 公式トレーニング
:30			
18:00	17:45-19:30 グループB 公式トレーニング	17:45-19:30 グループD 公式トレーニング	17:45-19:30 グループA 公式トレーニング
:30			
19:00			
:30			
20:00	サウンドシステムのチェック		
:30			
21:00	オフィシャル・ホテルにウェルカムデスクを設置		
:30			
22:00	シャトルバスサービスと専用車の用意		
:30			
23:00	5日間の表彰式に参加するスタッフを任命	各種ケータリングの搬入/準備	各種競技のスタートリストの作成 / 配布(チームマネージャー会議後) 表彰台の完成、表彰式リハーサル

大会開催日			
時間	2019年3月27日(水)	2019年3月28日(木)	2019年3月29日(金)
8:00	大会1日目	大会2日目	大会3日目
:30			
9:00			
:30			
10:00			
:30			
11:00			
:30			
12:00			
:30			
13:00			ドアオープン
:30			13:30-17:00
14:00	ドアオープン	ドアオープン	Session 5 (自由席)
:30			
15:00	15:00-17:35	15:00-17:15	
:30	Session 1 (自由席)	Session 3 (自由席)	
16:00			
:30			
17:00			
:30			
18:00	座席入替	座席入替	座席入替
:30			
19:00	18:40 開会式		
:30	19:00-21:30	19:00-21:50	19:00-22:10
20:00	Session 2 (指定席)	Session 4 (指定席)	Session 6 (指定席)
:30			
21:00			
:30			
22:00			
:30			
23:00			

※時間は2017年香港大会実績ベース

大会開催日／撤去日

時間	2019年3月30日(土)	2019年3月31日(日)	2019年4月1日(月)
8:00	大会4日目	大会5日目	撤去1日目
:30			
9:00		ドアオープン	
:30			
10:00		10:00-11:10	
:30		Session 9 (自由席)	
11:00			
:30			
12:00	ドアオープン	座席入替	
:30			
13:00	12:30-15:20		
:30	Session 7 (自由席)		
14:00		13:45 大会式典	
:30		14:00-17:00	
15:00		Session 10 (指定席)	
:30			
16:00			
:30			
17:00	座席入替		
:30			
18:00			
:30			
19:00	19:00-22:25		
:30	Session 8 (指定席)		
20:00			
:30			
21:00			
:30			
22:00			
:30			
23:00			

※時間は2017年香港大会実績ベース

撤去日			
時間	2019年4月2日(火)	2019年4月3日(水)	2019年4月4日(木)
8:00	撤去2日目	撤去3日目	撤去4日目
:30			
9:00			
:30			
10:00			
:30			
11:00			
:30			
12:00			
:30			
13:00			
:30			
14:00			
:30			
15:00			
:30			
16:00			
:30			
17:00			
:30			
18:00			
:30			
19:00			
:30			
20:00			
:30			
21:00			
:30			
22:00			
:30			
23:00			

※UCIの協議チームの計画ならびに競技種目によりタイムスケジュール変更の可能性あり

大会初日

15:00 - 17:35 女子 チームパーシュート/W-Team Pursuit 予選/Qualifying
男子 チームパーシュート/M-Team Pursuit 予選/Qualifying

18:40 開会式/Opening ceremony

19:00 - 21:30 女子 チームスプリント/W-Team Sprint 予選/Qualifying
男子 チームスプリント/M-Team Sprint 予選/Qualifying

女子 スクラッチ 10km/W-Scratch 10km

決勝/Final

女子 チームスプリント/W-Team Sprint

第1ラウンド/1st round

男子 チームスプリント/M-Team Sprint

第1ラウンド/1st round

女子 スクラッチ 10km/W-Scratch 10km

表彰式/Award ceremony

男子 チームパーシュート/M-Team Pursuit

第1ラウンド/1st round

女子 チームスプリント/W-Team Sprint

3-4・1-2位 順位決定戦/Final places 3-4 & 1-2

男子 チームスプリント/M-Team Sprint

3-4・1-2位 順位決定戦/Final places 3-4 & 1-2

女子 チームスプリント/W-Team Sprint

表彰式/Award ceremony

男子 チームスプリント/M-Team Sprint

表彰式/Award ceremony

大会2日目

15:00 - 17:15 女子 スプリント/W-Sprint 予選 200mタイムトライアル/Qualifying 200m t.t.
男子 ケイリン/M-Keirin 第1ラウンド/1st round
女子 スプリント/W-Sprint 16分の1決勝/1/16 Final
男子 ケイリン/M-Keirin 敗者復活戦/Repechages
女子 スプリント/W-Sprint 8分の1決勝/1/8 Final

19:00 - 21:50 女子 チームパーシュート/W-Team Pursuit 第1ラウンド/1st round
女子 スプリント/W-Sprint 4分の1決勝(1回目)/1/4 Final (1st)
男子 ケイリン/M-Keirin 第2ラウンド/2nd round
男子 チームパーシュート/M-Team Pursuit 決勝/Finals
女子 スプリント/W-Sprint 4分の1決勝(2回目)/1/4 Final (2nd)
男子 スクラッチ15km/M-Scratch 15km 決勝/Final
女子 スプリント/W-Sprint 4分の1決勝(3回目)/1/4 Final (3rd i.r.)
男子 チームパーシュート/M-Team Pursuit 表彰式/Award ceremony
男子 スクラッチ 15km/M-Scratch 15km 表彰式/Award ceremony
男子 ケイリン/M-Keirin 7-12位 順位決定戦/Final places 7 to 12
男子 ケイリン/M-Keirin 決勝(1-6位)/Final 1 - 6
女子 チームパーシュート/W-Team Pursuit 決勝/Finals
男子 ケイリン/M-Keirin 表彰式/Award ceremony
女子 チームパーシュート/W-Team Pursuit 表彰式/Award ceremony

大会3日目

13:30 - 17:00 男子 スプリント/W-Sprint 予選 200mタイムトライアル/Qualifying 200m t.t.
女子 オムニアム I /W-Omnium I スクラッチ7.5km/Scratch 7.5km
男子 スプリント/W-Sprint 16分の1決勝/1/16 Final
男子 個人パーシュート/M-Individual Pursuit 予選/Qualifying
男子 スプリント/M-Sprint 8分の1決勝/1/8 Final
女子 オムニアム II /W-Omnium II テンポレース7.5km/Tempo Race 7.5km

19:00 - 22:10 男子 ポイントレース40km/M-Points race 40km 決勝/Final
女子 スプリント/W-Sprint 2分の1決勝(1回目)/1/2 Final (1st)
女子 オムニアム III /W-Omnium III エリミネーション/Elimination
女子 スプリント/W-Sprint 2分の1決勝(2回目)/1/2 Final (2nd)
男子 ポイントレース 40km/M-Points race 40km 表彰式/Award ceremony
女子 スプリント/W-Sprint 2分の1決勝(3回目)/1/2 Final (3rd i.r.)
男子 個人パーシュート/M-Individual Pursuit 決勝(3-4・1-2位)/Finals 3-4 & 1-2
女子 スプリント/W-Sprint 3-4・1-2位 順位決定戦(1回目)/Final places 3-4 & 1-2 (1st)
女子 オムニアム IV /W-Omnium IV 最終戦 ポイントレース 20km/Final Points race 20km
女子 スプリント/W-Sprint 3-4・1-2位 順位決定戦(2回目)/Final places 3-4 & 1-2 (2nd)
男子 個人パーシュート/M-Individual Pursuit 表彰式/Award ceremony
女子 スプリント/W-Sprint 3-4・1-2位 順位決定戦(3回目)/Final places 3-4 & 1-2 (3rd i.r.)
女子 オムニアム/W-Omnium 表彰式/Award ceremony
女子 スプリント 表彰式/Award ceremony

※2017年香港大会実績

※UCIの協議チームの計画ならびに競技種目によりタイムスケジュール変更の可能性あり

大会4日目

12:30 - 15:20	女子 500mタイムトライアル／W-500m t.t. 男子 スプリント／M-Sprint 男子 オムニアム I ／M-Omnium I 男子 スプリント／M-Sprint 女子 個人パーシュート／W-Individual Pursuit 男子 スプリント／M-Sprint 男子 オムニアム II ／M-Omnium II	予選／Qualifying 4分の1決勝(1回目)／1/4 Final (1st) スクラッチ10km／Scratch 10km 4分の1決勝(2回目)／1/4 Final (2nd) 予選／Qualifying 4分の1決勝(3回目)／1/4 Final (3rd i.r.) テンポレース10km／Tempo Race 10km
---------------	--	--

19:00 - 22:25	女子 500mタイムトライアル／W-500m t.t. 男子 オムニアム III ／M-Omnium III 女子 500mタイムトライアル／W-500m t.t. 男子 スプリント／M-Sprint 女子 マディソン30km／W-Madison 30km 男子 スプリント／M-Sprint 女子 マディソン30km／W-Madison 30km 男子 スプリント／M-Sprint 女子 個人パーシュート／W-Individual Pursuit 男子 スプリント／M-Sprint 女子 個人パーシュート／W-Individual Pursuit 男子 オムニアム IV ／M-Omnium IV 男子 スプリント／W-Sprint 男子 オムニアム／M-Omnium 男子 スプリント／M-Sprint i.r.) 男子 スプリント／M-Sprint	決勝／Final エリミネーション／Elimination 表彰式／Award ceremony 2分の1決勝(1回目)／1/2 Final (1st) 決勝／Final 2分の1決勝(2回目)／1/2 Final (2nd) 表彰式／Award ceremony 2分の1決勝(3回目)／1/2 Final (3rd i.r.) 決勝(3-4・1-2位)／Finals 3-4 & 1-2 3-4・1-2位 順位決定戦(1回目)／Final places 3-4 & 1-2 (1st) 表彰式／Award ceremony 最終戦 ポイントレース25km／Final Points race 25km 3-4・1-2位 順位決定戦(2回目)／Final places 3-4 & 1-2 (2nd) 表彰式／Award ceremony 3-4・1-2位 順位決定戦(3回目)／Final places 3-4 & 1-2 (3rd) 表彰式／Award ceremony
---------------	---	---

大会5日目

10:00 - 11:10	女子 ケイリン／W-Keirin 男子 1kmタイムトライアル／M-Kilometre t.t. 女子 ケイリン／W-Keirin	第1ラウンド／1st round 予選／Qualifying 敗者復活戦／Repechages
13:45	大会式典／Ceremony	
14:00 - 17:00	女子 ケイリン／W-Keirin 女子 ポイントレース25km／W-Points race 25km 男子 1kmタイムトライアル／M-Kilometre t.t. 女子 ポイントレース25km／W-Points race 25km 男子 1kmタイムトライアル／M-Kilometre t.t. 女子 ケイリン／W-Keirin 女子 ケイリン／W-Keirin 男子 マディソン50km／M-Madison 50km 女子 ケイリン／W-Keirin 男子 マディソン50km／M-Madison 50km	第2ラウンド／2nd round 決勝／Final 決勝／Final 表彰式／Award ceremony 表彰式／Award ceremony 7-12位 順位決定戦／Final places 7 to 12 決勝(1-6位)／Final 1 - 6 決勝／Final 表彰式／Award ceremony 表彰式／Award ceremony

【大会運営】
会場使用計画

前提事項

会場並びに諸室利用に関しては、UCIのecoポリシーを踏襲し、既存のものを使用できるのであれば、それらを使用し、運営を行うということを前提に計画されている。

ただ、開催時において、これらの諸室並びに諸エリアが使用できない場合は、その時の状況に応じ、対応策を考え、UCIと協議の上、対応する必要がある。

なお、2017年度におけるインフラに関する問題点は

- ①電源：容量不足
- ②照明問題：均一で鉛直1400ルクスの明るさのキープ
- ③音響問題
- ④インターネット環境：ベロドローム内に光ファンバーがひかれていない
- ⑤電波環境：大規模アクセスに対する対応が脆弱

などが挙げられる。

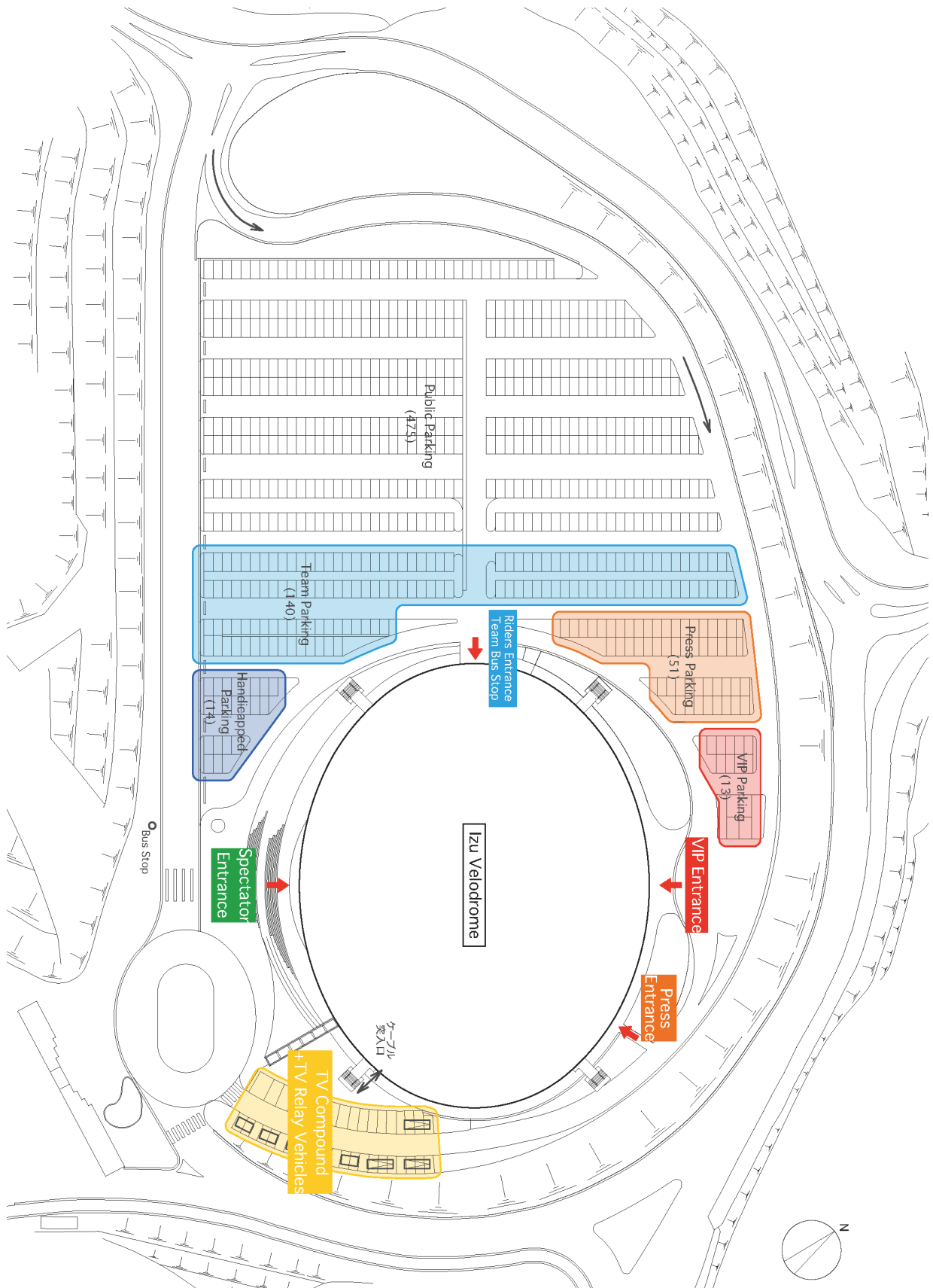
特に②と④に関しては、世界選手権大会開催における必須項目であり、開催時にはこれらのポイントを解決しておく必要がある。

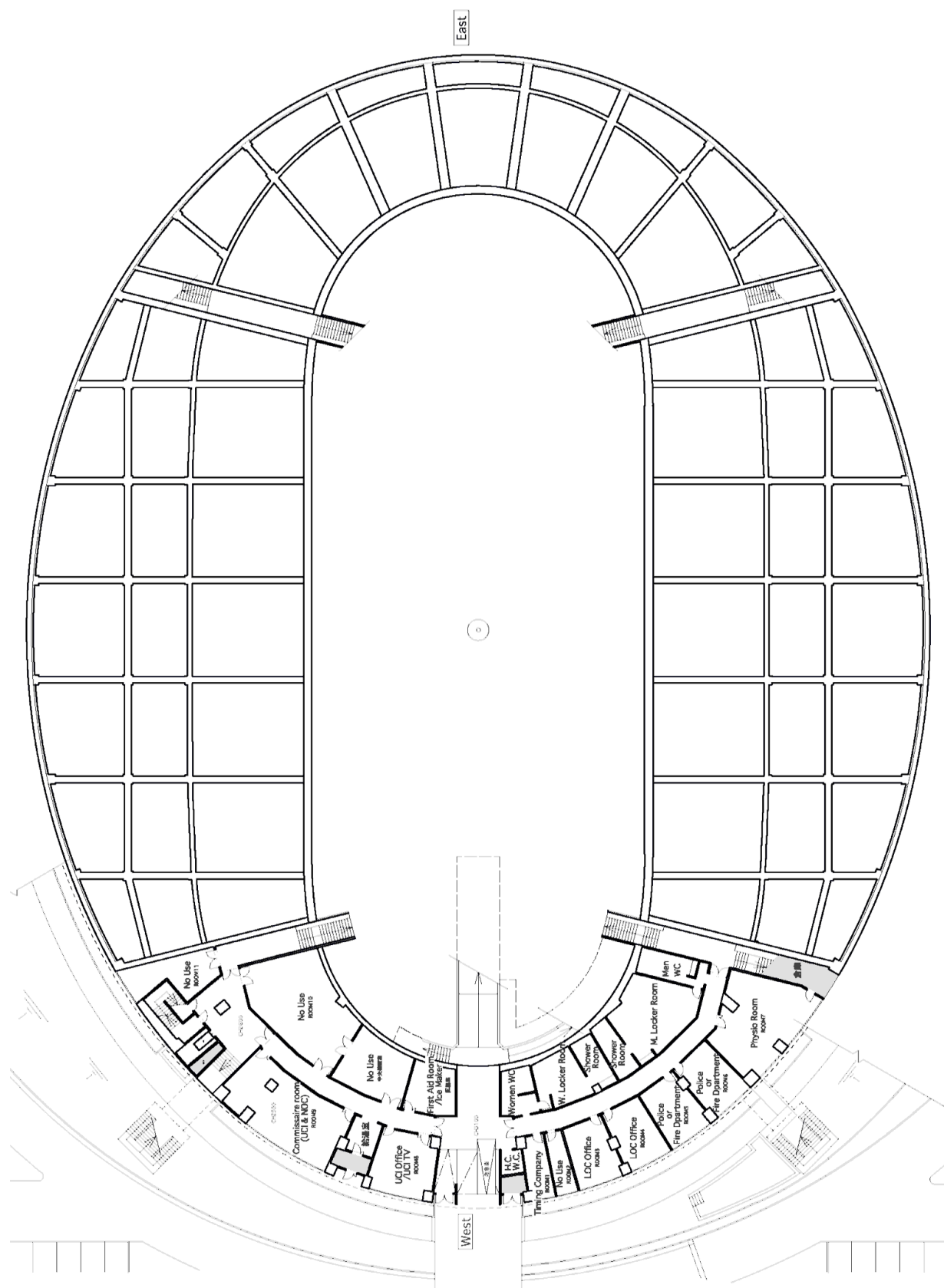
基礎設備

下記はベロドローム内に必要な基本設備。

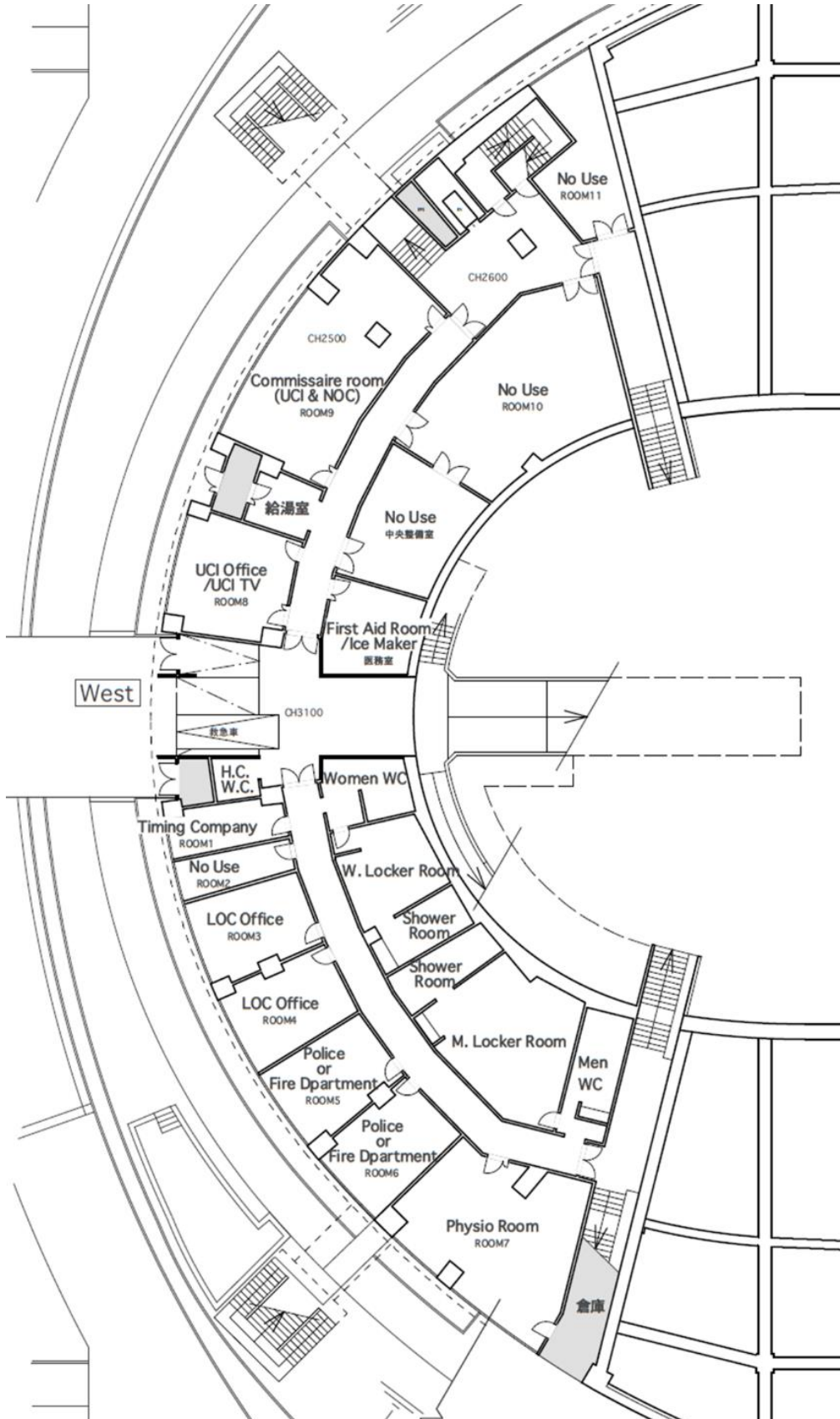
- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ●観客、VIP、競技をしていない選手用客席 | ●垂直1400ルクスで均一な照明 |
| ●TVコメンタリーポジション | ●場内を25°Fにキープできるエアコン |
| ●換気（ただし、風が舞わないものであること） | ●選手用更衣室（男女別） |
| ●トイレ | ●選手ラウンジ（施設の余裕があれば） |
| ●諸室（UCI、事務局、コミッセールなど） | ●電源 |
| ●スコアボード兼ライブ映像用大型スクリーン | ●フェンス並びにサインスタンド |
| ●関係者用駐車場 | ●観客用駐車場 |
| ●公共交通機関 | ●観客用フード&ドリンクサービス |
| ●警備／安全対策 | ●消防対策 |
| ●タイミングシステム用専用インターネット回線 | ●一般用インターネット回線 |
| ●緊急時発電システム | |
| ●観客並びにインフィールド用ハイスペック音響環境 | |
- （レベルが足りない場合はインフィールド内にスタンド式のスピーカーを立てて対応）

伊豆ベロドローム全体図

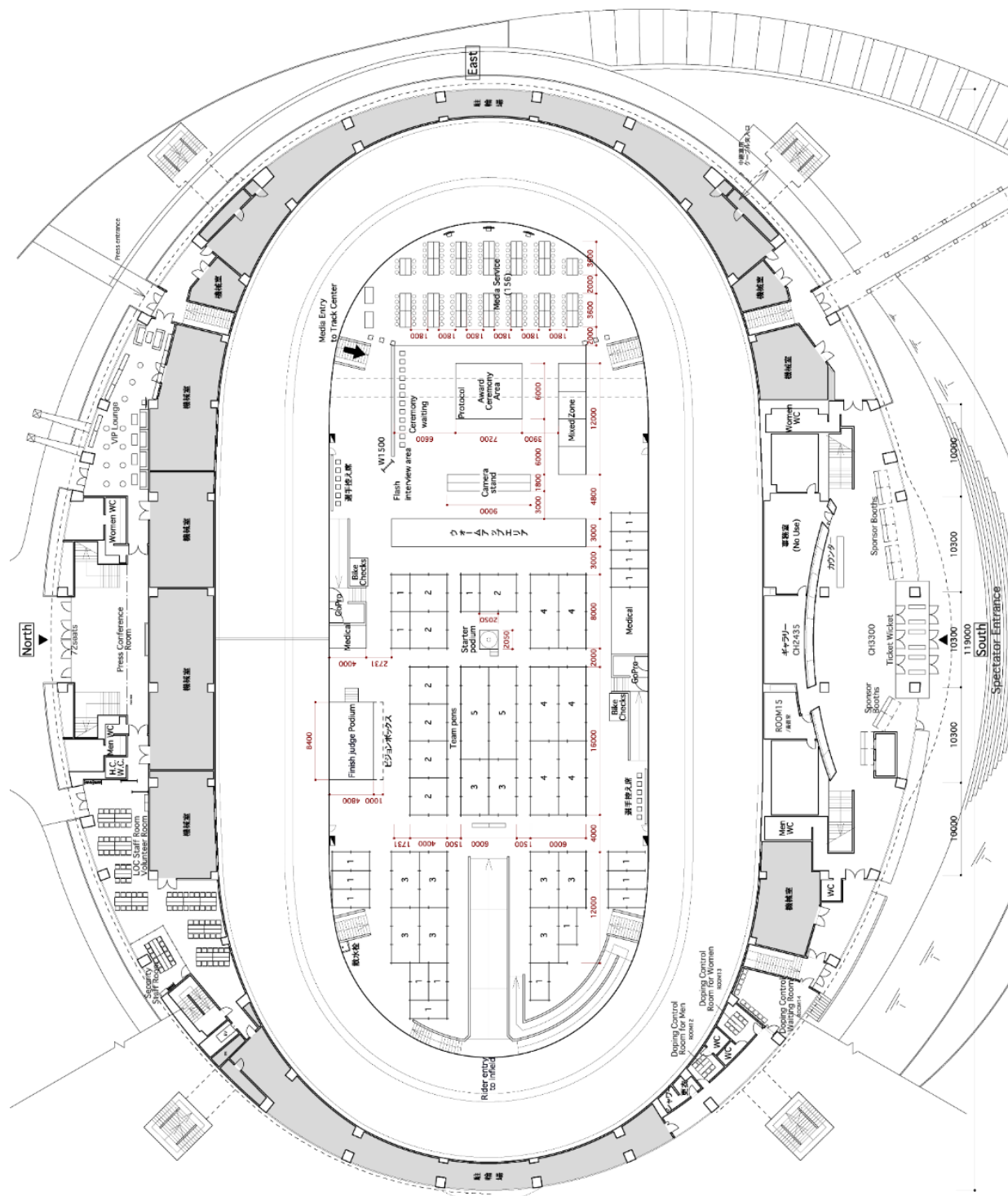


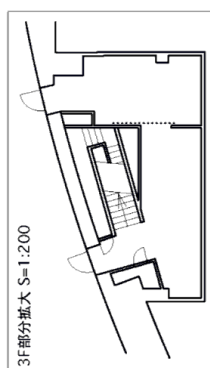


伊豆ベロドローム B1F (諸室)

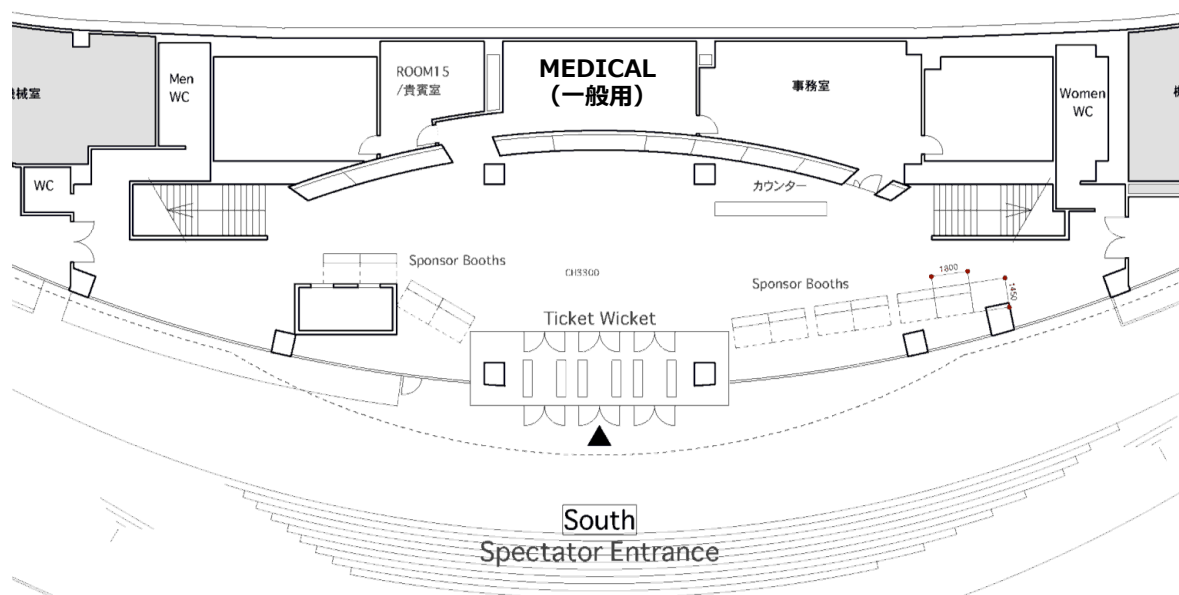


伊豆ベロドローム 1F (インフィールド、諸室)

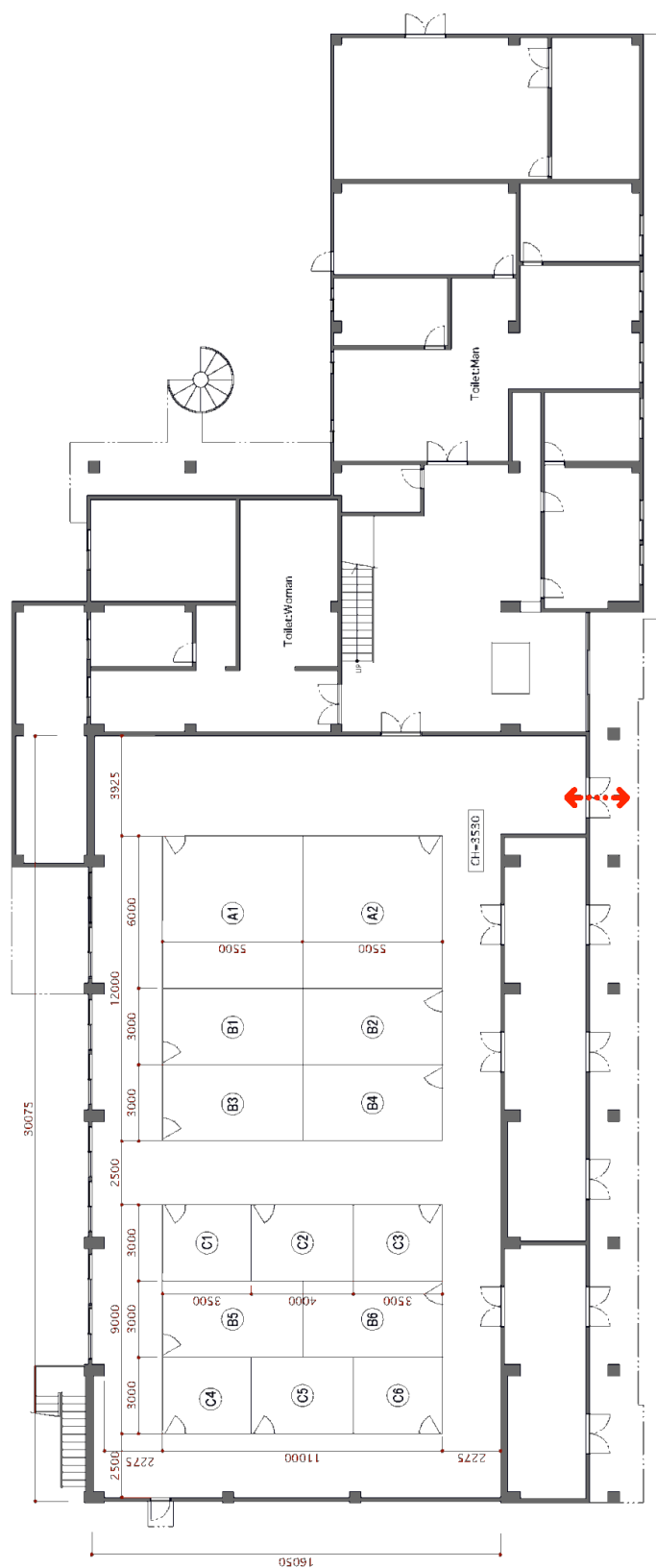




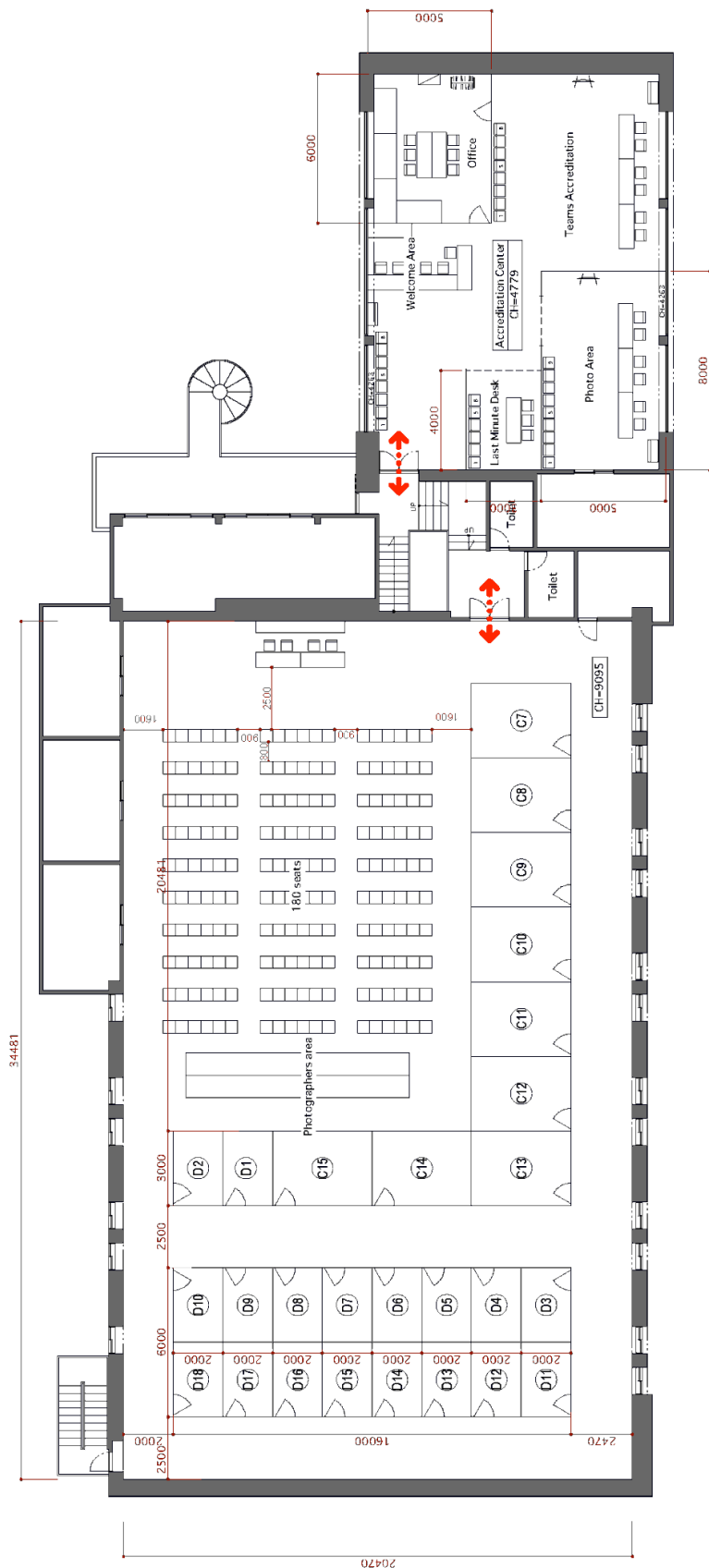
出展者ブースレイアウト



Type-A	W6000×D5500	2 Booths
Type-B	W3000×D5500	6 Booths
Type-C	W3000×D4000	15 Booths
Type-D	W3000×D2000	18 Booths



体育館 2F

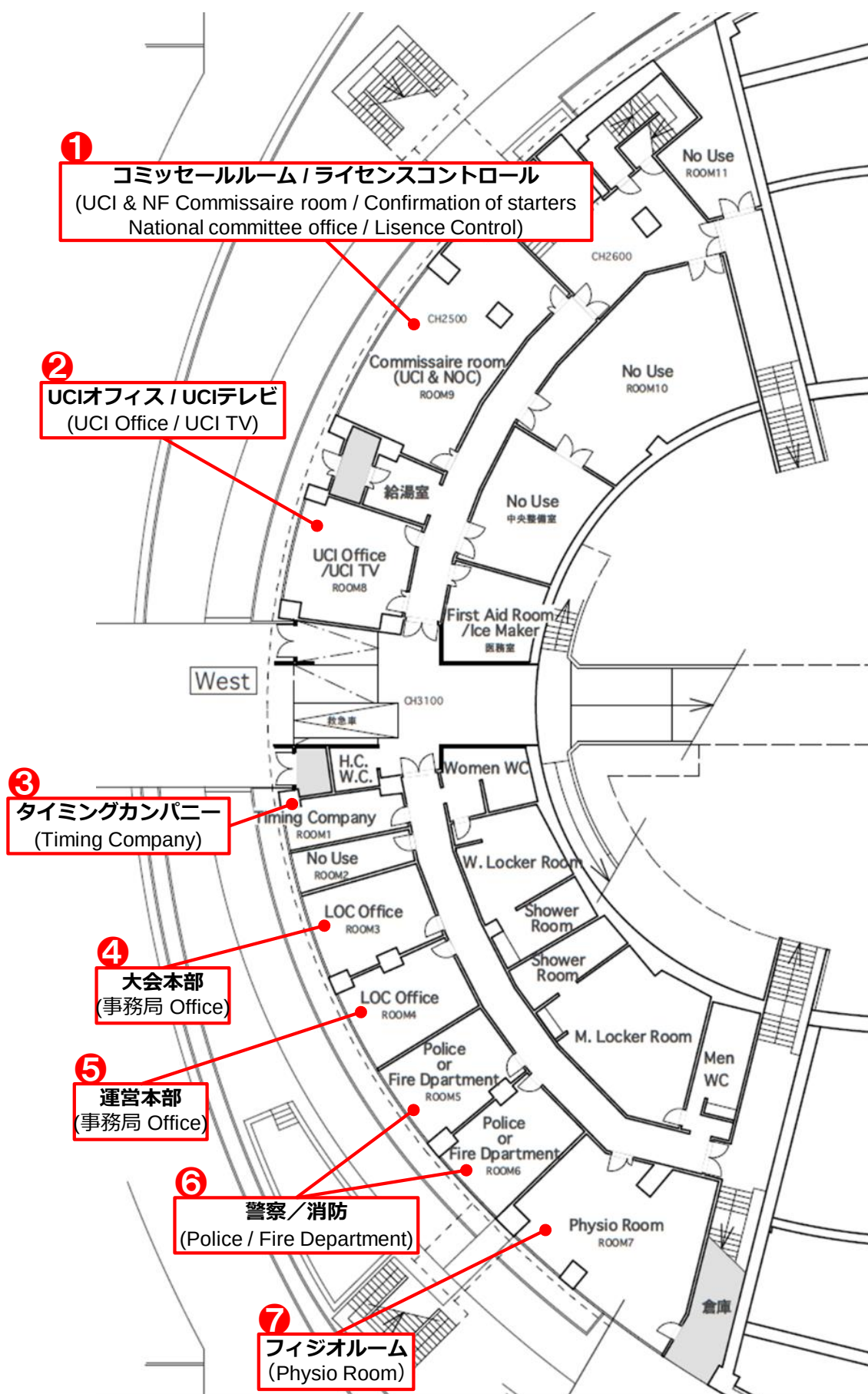


【大会運営】

諸室利用計画

場所	部屋名	利用	使用人数	テーブル	イス	Internet		モニター	その他
						Wired	Wi-Fi		
ベロドロームB1	room01	タイミングカンパニー（Timing Company）		2	6	●	●		
	room02	使用不可				●	●		
	room03	大会本部（LOC office）		6	18	●	●	●	
	room04	運営本部（LOC office）	4	6	18	●	●	●	
	room05	消防or警察（Police / Fire Department）		4	12	●	●		
	room06	消防or警察（Police / Fire Department）		4	12				
	room07	フィジオルーム（physio room）		4	12				
	room08	UCIオフィス / UCIテレビ（UCI Office / UCI TV）		8	24	●	●	●	
	room09	コミッセルルーム / ライセンスコントロール （UCI & NF Commissaire room / Confirmation of starters National committee office / Liscence Control）		17	51	●	●	●	
	医務室	医務室 / 製氷室（First Aid room / Ice Maker）					●		
	room10	使用不可							
	room11	未使用							
ベロドローム1F	room12	ドーピングコントロール男性（Doping Control room for men）		2	6		●		
	room13	ドーピングコントロール女性（Doping Control room for women）		2	6		●		
	room14	ドーピングコントロール待合（Doping Control waiting room）			11				
	シャワー室	更衣室（Changing room）							
	トイレ	トイレ（Toilets）							
	NorthEast room	アクレディテーションセンター（Acreditation Centre）		16	49	●	●		
	NorthWest room	VIPラウンジ（VIP lounge）	150名		20		●	●	ハイトーブル
	VIP Entrance area	プレスカンファレンス（Press Conference Room） ※必要時のみセットチェンジして使用							
ベロドローム1F	Entrance	スポンサーブース（sponcer booth） イベントマーチャンダイジング（Event Merchandising）							
	room15	貴賓室							
	ギャラリー	医務室（Medical）							
	事務室	ベロドローム事務室（Velodrome Facility）							
ベロドローム	インフィールド	ライダーのトラックセンターへの経路（Rider entry to track centre）					●		
		メディアのトラックセンターへの経路（Media entry to track centre）				LAN	●		
		セレモニーウェイティング（Ceremony waiting）			12		●		
		フラッシュインタビューエリア（Flash interview area）					●		
		メディアサービス（Media Service）	150席～100席	48	150	●	●	●	
		救護エリア（Medical area（First Aid post））	2箇所				●		
		チームペンス（Team pens）					●		
		スターター台（Starter podium）			2		●		
		フィニッシュジャッジ台（Finish judge podium）		10	20		●		
		表彰時、認定カメラマンエリア （Accretdited photographers area for award ceremonies）					●		
		ホストブロードキャスト業務エリア（HB Working area）					●		
ベロドローム2F	客席エリア	テレビコメンタリー（TV Commentary Positions）				ISDN	●		
		アシスタントジャッジ（Judge Referee Assistant）					●		
		チーム関係者（Team Seating）	130席				●		
		UCI関係者（UCI Family）					●		
		その他（Athre area）					●		
	判定室	スポーツプレゼンテーション（Sports Presentation）					●		
CSC サイクルスポーツセンター	体育館1F	チーム倉庫（Team storage）		41	82				システムパネル 各国鍵付き扉要
	体育館2F	チーム倉庫 予備 / チームマネージャーミーティング （Team storage 予備 / Team Manager Meeting）							
	中2Fウッドフロア	LOCスタッフ（LOC staff room）							要暖房
		ボランティア（Volunteer room）	120名						
		警備（Security staff room）							
	入場ゲート	チケットセンター（Ticketing）					●		
	六角塔レストラン	レストラン / チームラウンジ（Restaurant / Team lounge）	メニュー追加						

地下1F



アクレディテーションセンター
(Acreditation Centre)

※要ケータリング

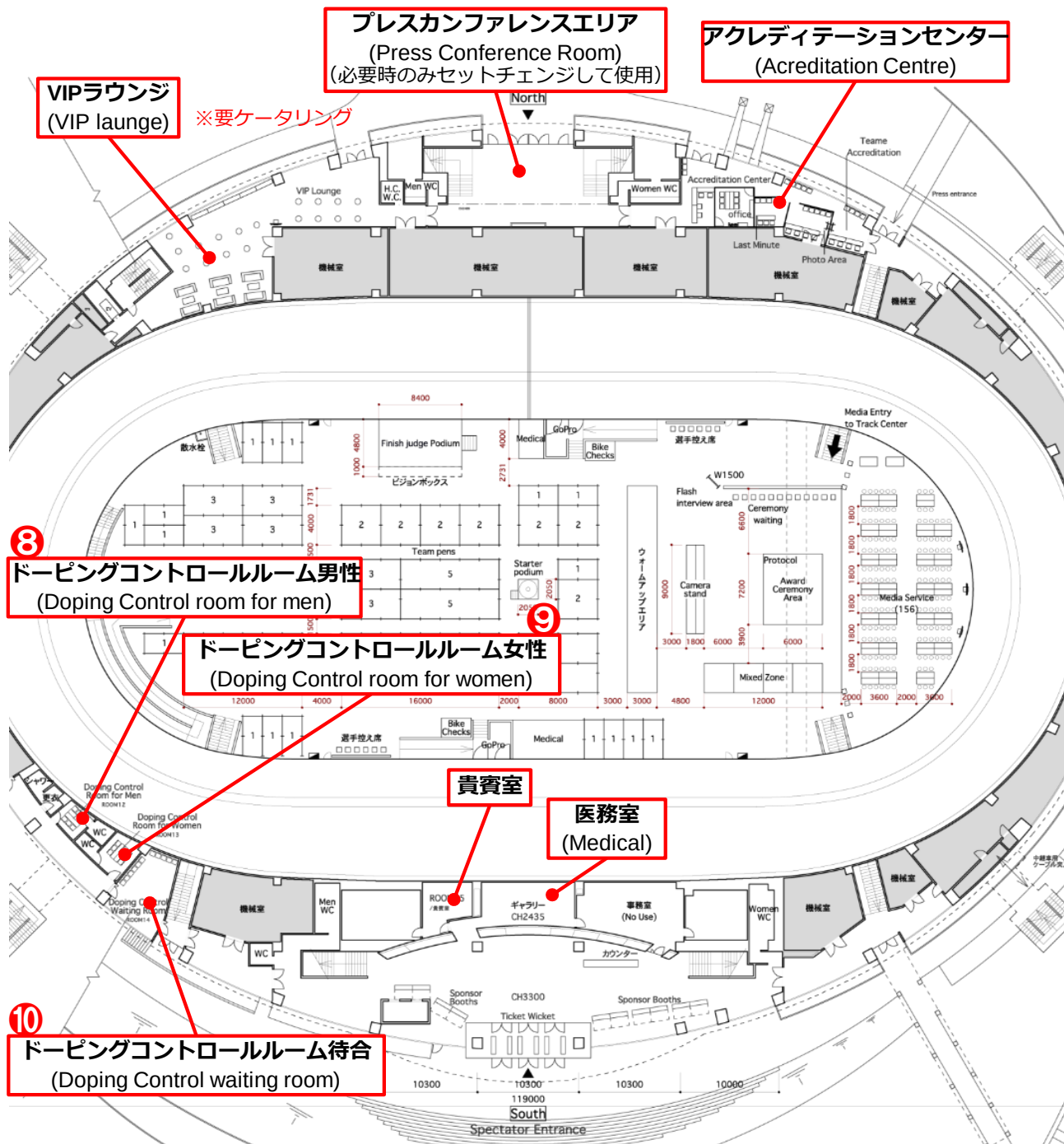
8 **ドーピングコントロールルーム男性**
(Doping Control room for men)

ドーピングコントロールルーム女性
(Doping Control room for women)

貴賓室

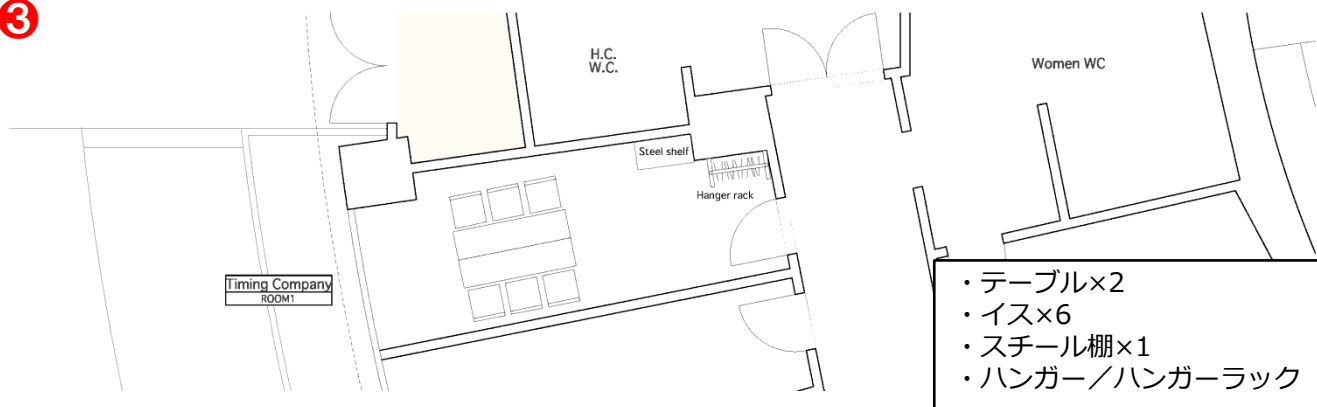
医務室
(Medical)

10 ドーピングコントロールルーム待合
(Doping Control waiting room)



10 ドーピングコントロールルーム待合
(Doping Control waiting room)

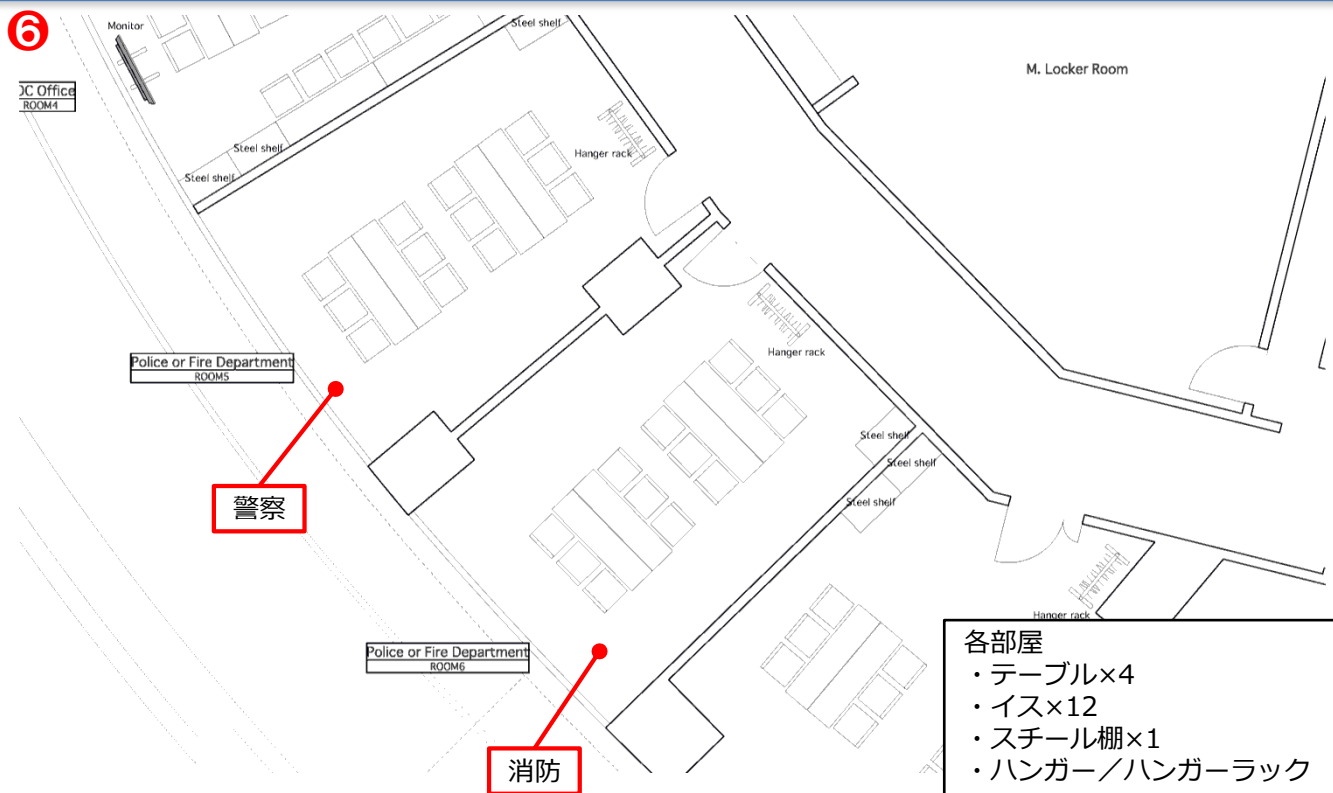
3



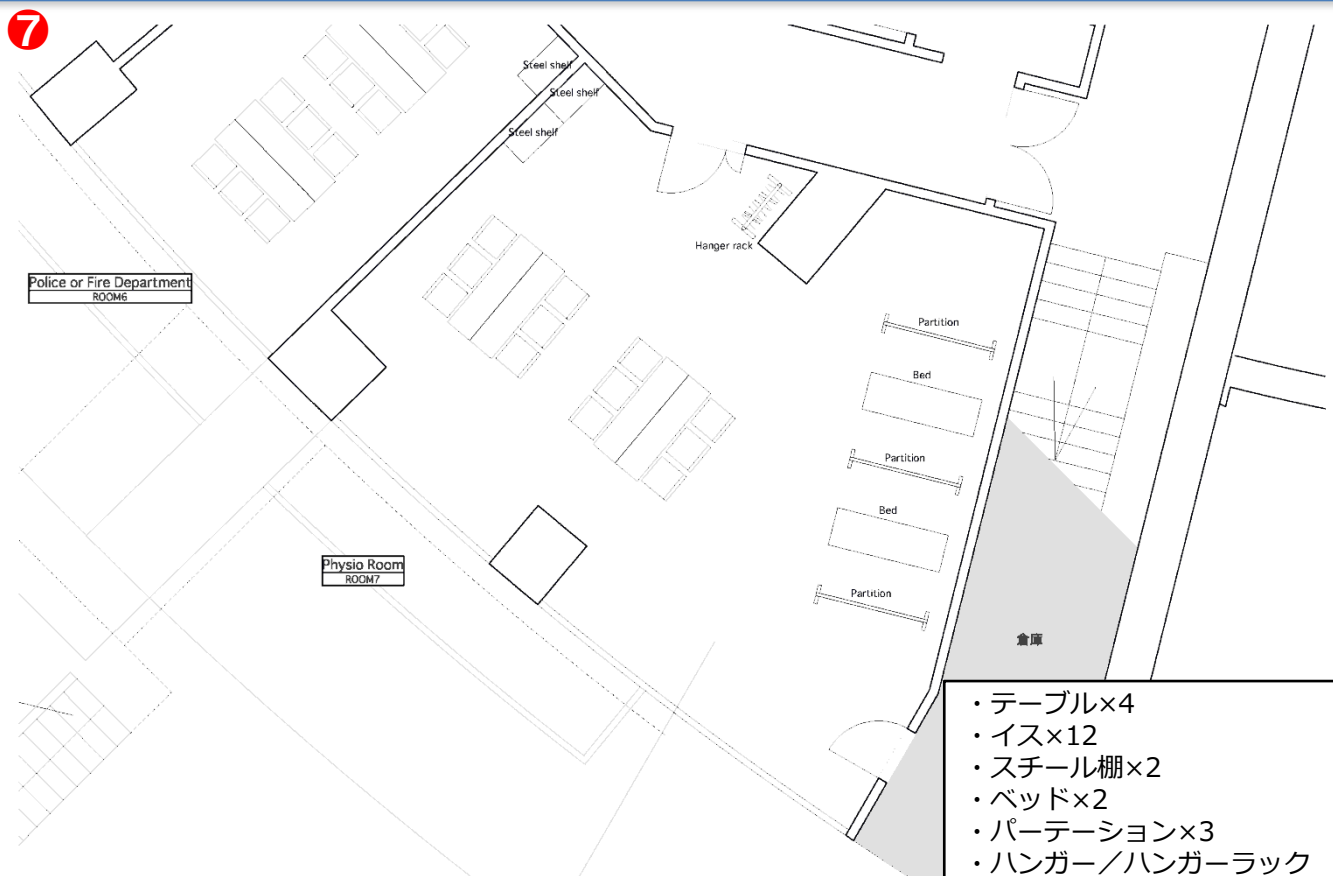
45



警察／消防 (Police / Fire Department)

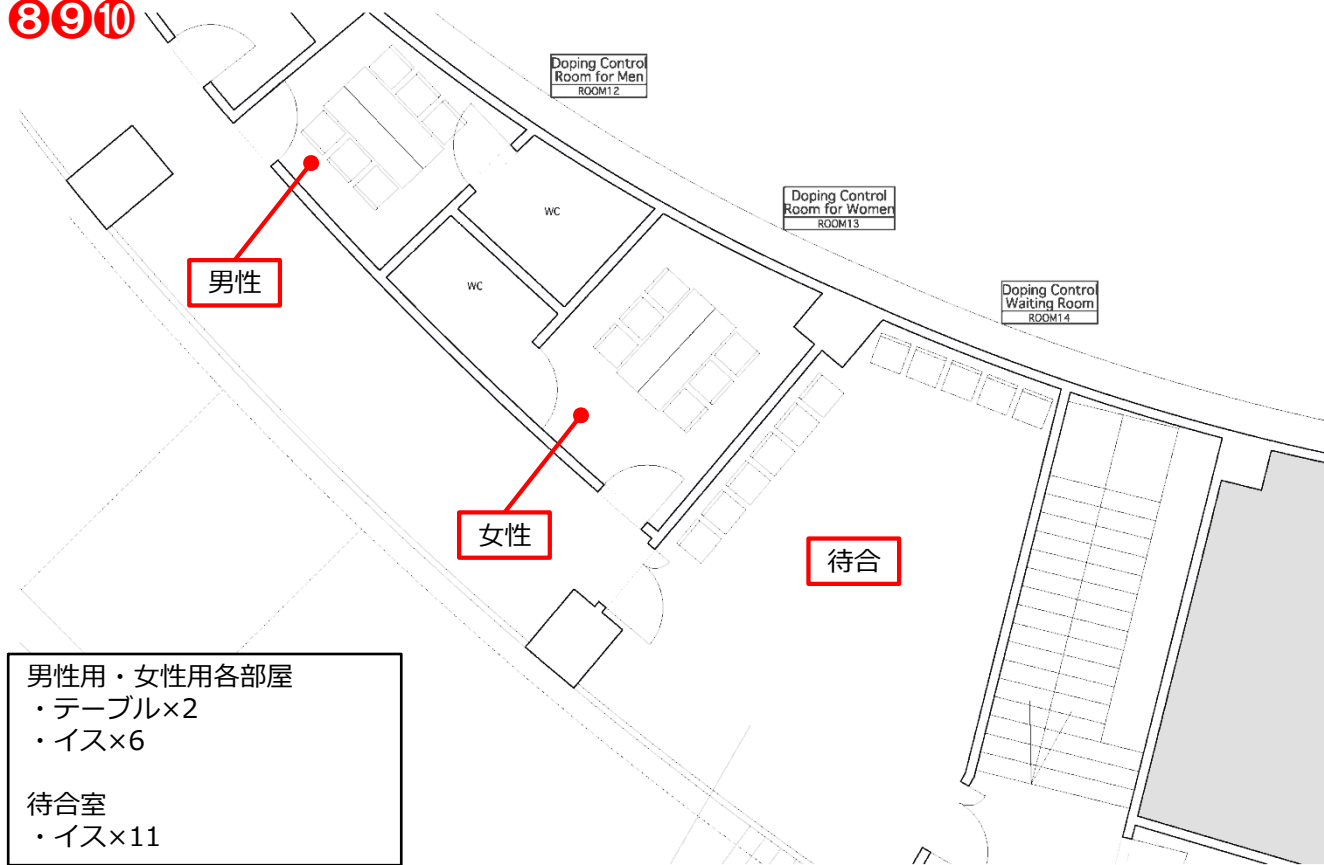


フィジオルーム (Physio room)



ドーピングコントロールルーム (Doping Control room)

8 9 10



◎ 諸室で利用するインターネットは、下り5MB・上り1MBの伝送速度が最低限必要。

◎ 大会実施15日前までに整備、使用可能の状態にする。

場所	部屋名	利用	Internet				その他
			Wired	回線数	Wi-Fi	回線数	
ベロドロームB1	room01	タイミングカンパニー（Timing Company）	●		●		
	room02	使用不可	●		●		
	room03	大会本部（LOC office）	●		●		
	room04	運営本部（LOC office）	●		●		
	room05	消防or警察（Police / Fire Department）	●		●		
	room06	消防or警察（Police / Fire Department）					
	room07	フィジオルーム（physio room）					
	room08	UCIオフィス / UCIテレビ（UCI Office / UCI TV）	●		●		
	room09	コミッセルルーム / ライセンスコントロール （UCI & NF Commissaire room / Confirmation of starters National committee office / Liscence Control）	●		●		
	医務室	医務室 / 製氷室（First Aid room / Ice Maker）			●		
	room10	使用不可					
	room11	未使用					
ベロドローム1F	room12	ドーピングコントロールルーム男性（Doping Control room for men）			●		
	room13	ドーピングコントロールルーム女性（Doping Control room for women）			●		
	room14	ドーピングコントロールルーム待合（Doping Control waiting room）					
	シャワー室	更衣室（Changing room）					
	トイレ	トイレ（Toilets）					
	NorthEast room	アクレディテーションセンター（Acreditation Centre）	●		●		
	NorthWest room	VIPラウンジ（VIP lounge）			●		
	VIP Entrance area	プレスカンファレンス（Press Conference Room） ※必要時のみセットチェンジして使用					
ベロドローム1F	Entrance	スポンサーブース（sponcer booth）					
		イベントマーチャンダイジング（Event Marchandising）					
	room15	貴賓室					
	ギャラリー	医務室（Medical）					
	事務室	ベロドローム事務室（Velodrome Facility）					
ベロドローム	インフィールド	ライダーのトラックセンターへの経路（Rider entry to track centre）			●		
		メディアのトラックセンターへの経路（Media entry to track centre）	LAN		●		
		セレモニーウェイティング（Ceremony waiting）			●		
		フラッシュインタビューエリア（Flash interview area）			●		
		メディアサービス（Media Service）	●		●		
		救護エリア（Medical area（First Aid post））			●		
		チームペンス（Team pens）			●		
		スターター台（Starter podium）			●		
		フィニッシュジャッジ台（Finish judge podium）			●		
		表彰時、認定カメラマンエリア （Accretdited photographers area for award ceremonies）			●		
		ホストブロードキャスト業務エリア（HB Working area）			●		
ベロドローム2F	客席エリア	テレビコメンタリー（TV Commentary Positions）	ISDN		●		
		アシスタントジャッジ（Judge Referee Assistant）			●		
		チーム関係者（Team Seating）			●		
		UCI関係者（UCI Family）			●		
		その他（Athre area）			●		
					●		
	判定室	スポーツプレゼンテーション（Sports Presentation）			●		

CSC サイクルスポーツセンター	体育館1F	チーム倉庫（Team storage）					
	体育館2F	チーム倉庫 予備 / チームマネージャーミーティング （Team storage 予備 / Team Manager Meeting）					
	中2Fウッドフロア	LOCスタッフ（LOC staff room）					
		ボランティア（Volunteer room）					
		警備（Security staff room）					
	入場ゲート	チケットセンター（Ticketing）			●		
	六角塔レストラン	レストラン / チームラウンジ（Restaurant / Team lounge）					

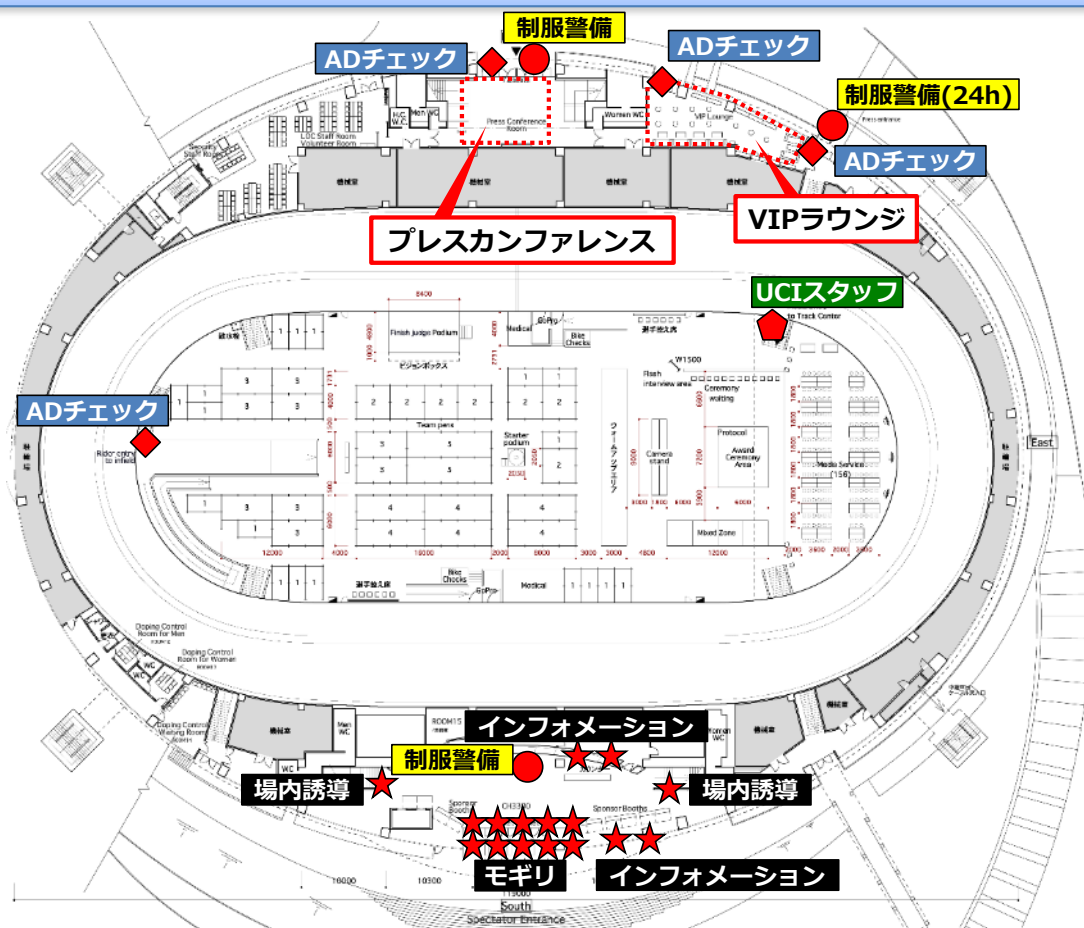
【大会運営】

会場運営

安全かつスムーズで、選手並びに来場者が楽しむことができる大会とするため、事務局は下記のポイントを中心に会場運営を行う。

- ◎下記のような各ポジションにおける配置状況、人数を日別にリスト化
 - ・ディレクター
 - ・スタッフ
 - ・ボランティア
 - ・制服警備（ALSOK）などの
- ◎選手団エリア（インフィールド並びに諸室、バイクストレージエリアなど）に関係者以外が進入しないようにするための、厳格なるADコントロール。
（関係者エリアへのアクセスポイントにおける厳重なセキュリティ管理）
- ◎競技運営をスムーズに行えるよう、IF並びにNFコミッセルなどのサポート業務。
- ◎来場者への十分なホスピタリティサービスの提供。
- ◎来場者が混乱なく会場へ到着できるように、会場最寄駅に誘導要員を配置。
- ◎前売りチケット並びに当日券を持った来場者のスムーズな誘導を行うための誘導サイン、誘導員の配置。
- ◎選手団、VIP、メディアなどの関係者出入口、TV中継車駐車場への制服警備の配置。
一般来場者との振り分け。
- ◎一般来場者用インフォメーションカウンターにおける、言語対応。
（対応言語：日本語・英語は必須）
- ◎物販コーナー（飲食・公式グッズ・スポンサー関係・地元関係など）の充実

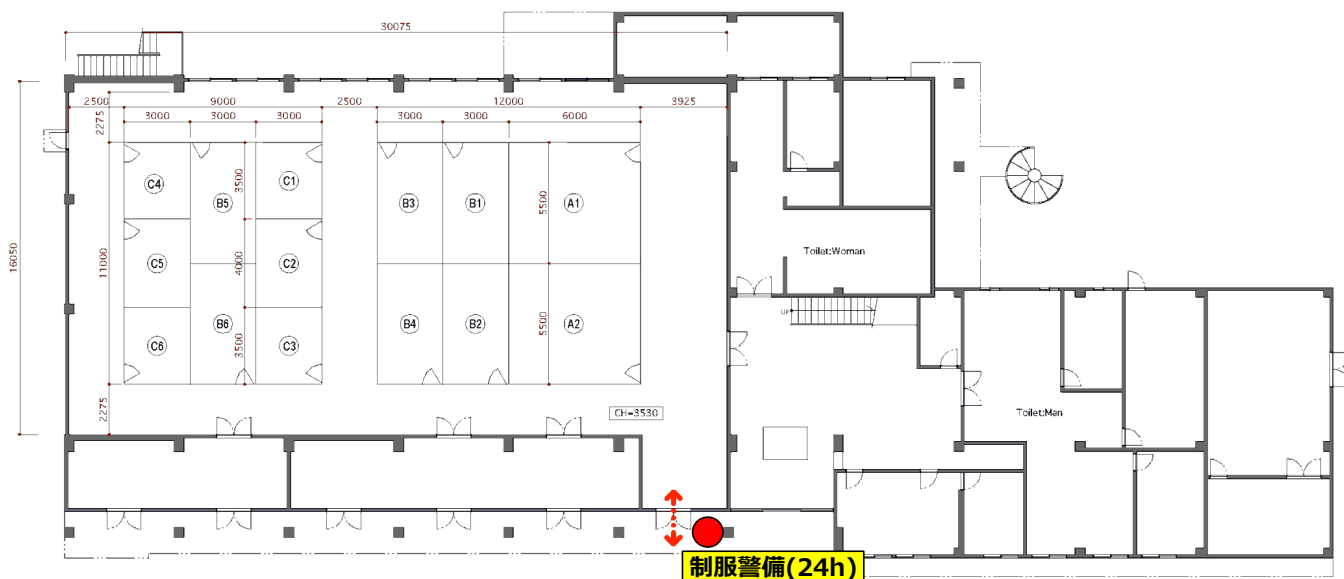
1階



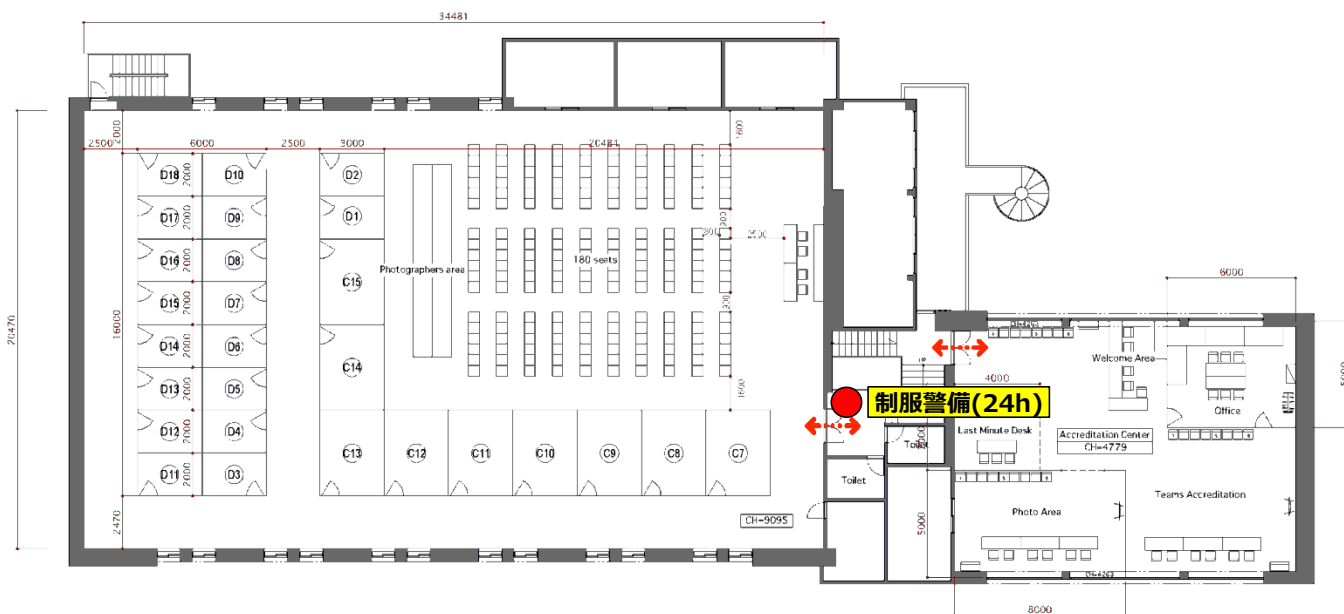
2階



体育館1階



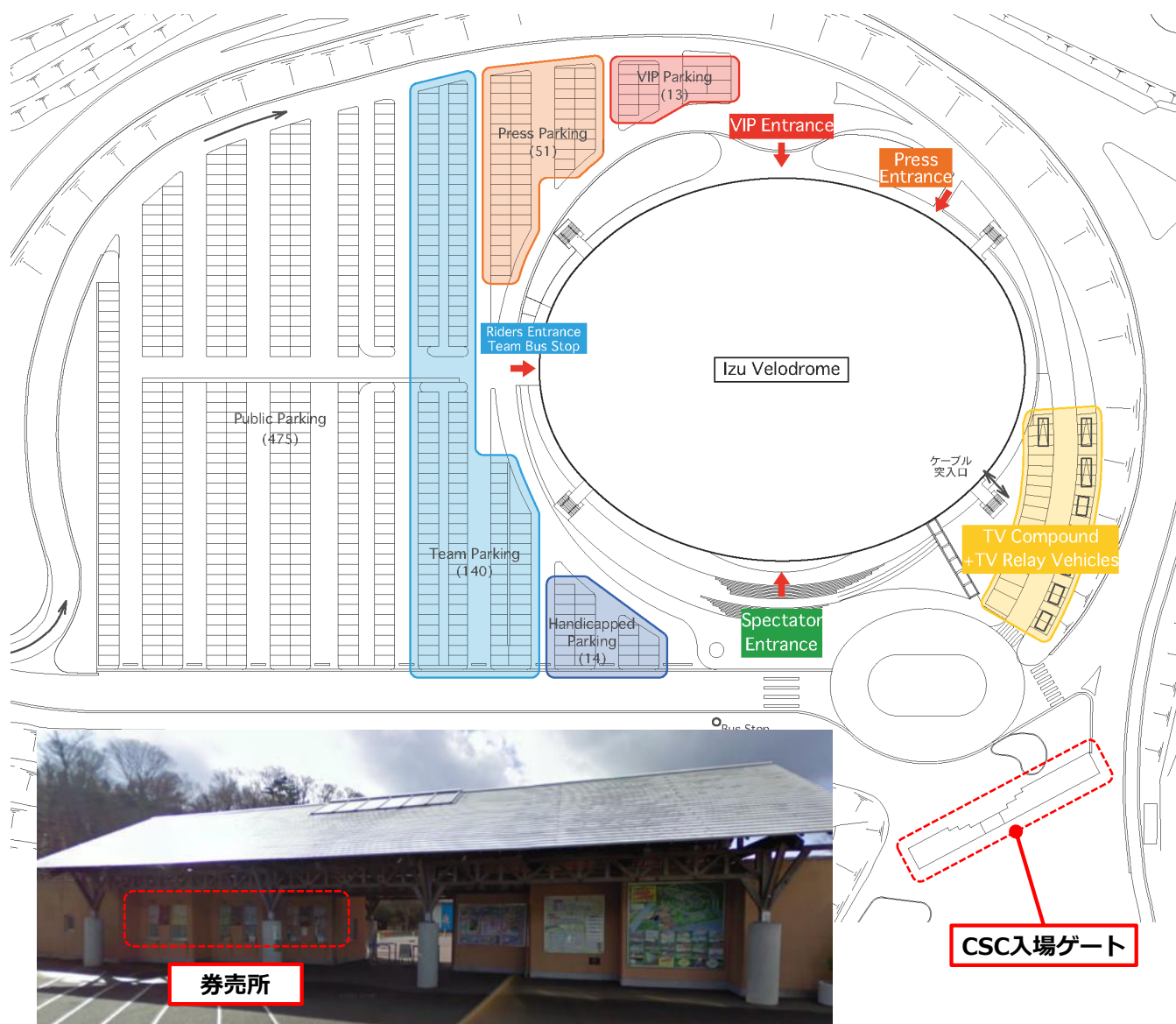
体育館2階



チケットカウンターの開設

◎大会開催期間中、CSC券売所（入場ゲート）にチケットカウンターを開設

- ・ 開設期間 = ●●●●年●月●日(●)～●月●日(●)
- ・ 販売時間 = ●●時●●分～●●時●●分



入場チケット 券種一覧（例）

前売
5日間通し券

販売 = ネット / カウンター

前売
1日間券

販売 = ネット / カウンター

当日券
(1日券のみ)

販売 = カウンター

※券種・販売方法 要検討

会場入口エントランス

<インフォメーション>

◎会場内及び会場外にインフォメーションカウンターを設置し、来場者からの質問などに対応。

・対応言語＝日本語／Japanese、英語／English ※対応言語 要検討

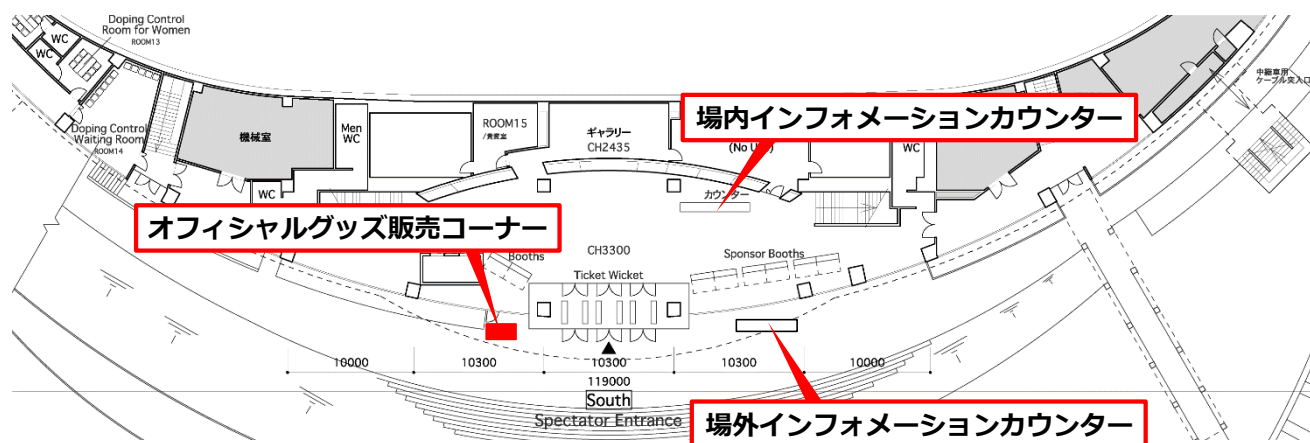
◎会場内の事務局事務局に問合せ用電話と常任スタッフを配置し電話での質問などに対応。

電話は、東京の事務局問い合わせ番号を転送。

<オフィシャルグッズ販売>

◎会場外にオフィシャルグッズの販売コーナーを設置。

チケットをお持ちでない方もグッズが購入できるよう、会場外に設置する。 ※設置場所要検討



物販コーナー

◎会場外、ロータリー付近に地元企業、団体による物販コーナーを設置。

※設置場所要検討



売店について

- ◎2階スタンド席内には設置スペースがないため、会場外の飲食ブース、CSC内売店を利用
- ◎オプションとして、ドリンク＆フードの場内売り子展開の検討



場内誘導（※チケットの割り振りにより、誘導方法の変更は必要）

- ◎メインエントランスロビー2階スタンド席に向かう階段付近に、誘導要員を配置し、来場者を2階スタンド席に誘導。
- ◎2階スタンド席では、場内誘導に加え、UCI関係者席、プレス席、チーム関係者席など、一般来場者が立ち入れないエリアに通じる導線で身分証（AD）を確認。
【2階スタンド席区分】
 - ・一般席／一般車イス席
 - ・VIP席
 - ・UCI関係者席／コミッセール席
 - ・メディア席
 - ・チーム関係者席
- ◎1階バックエントランスロビー、VIP通用口で身分証（AD）を確認。
- ◎午前の部は入場無料の全席自由席、夜の部は有料の全席指定席。
自由席から指定席に変更時、指定の席に座っていない方を自身の席に移動するよう誘導。
- ◎プレス出入口、チームストレージには、24時間体制で制服警備員を配置し、ADをチェック。
その他、選手団・チーム関係者入口、テレビ関係車両(中継車等)駐車場、エントランスロビーにも制服警備員を配置。

プロトコル（来賓接遇）

- ◎VIPが会場に到着後、ADをお渡しし、VIP席・VIPラウンジまで誘導する。
- ◎車両がある場合は、VIPエントランスの担当スタッフがVIPのランクに合わせ、駐車スペースを案内。
- ※ADは基本、全て事前発行。
発行されていない場合は、申請がされていない可能性が高いため責任者に確認。
OKの場合は、アクレディテーションセンターまで案内、NGの場合は丁重にお断りする。

場内巡回誘導、清掃

- ◎場内を巡回しながら、来場者を案内・誘導。
- ◎定期的にゴミ箱のゴミ袋を取り換え、ゴミはゴミ集積所へ運搬。

車両誘導

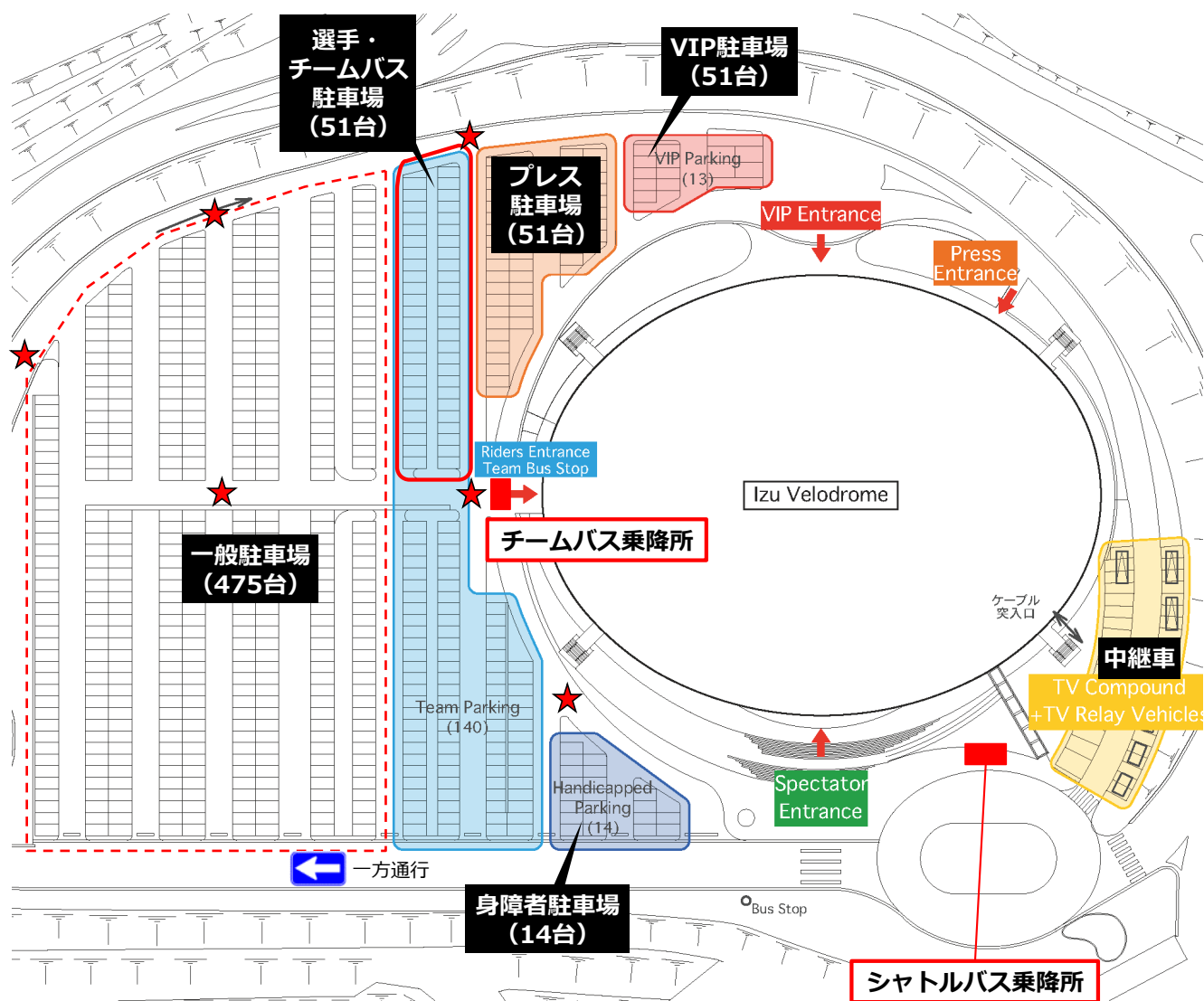
◎ 駐車場入り口で車両証の有無を確認し、車両証のない車両は一般駐車場へ、車両証掲示の車両は、関係者駐車場へ誘導。

◎ 関係者駐車場では、車両証の区分に従って、それぞれのエリアへ誘導。

【車両区分】

- ・ VIP
- ・ チーム関係者
- ・ メディア (TV) / メディア (プレス)
- ・ UCI関係者 / コミッセル

◎ チームバスは乗降所へ誘導し、選手降車後、駐車場へ誘導。



臨時駐車場

- ◎伊豆ベロドロームの一般駐車場満車時は、競輪学校の行程を解放し、一般車両を誘導する。
競輪学校←→会場間はシャトルバスを運行。

※誘導要員の配置場所・要検討



車両証見本

- ◎車両証はフロントガラス面、視認しやすい場所に掲示。
- ◎車両証有効期間、車番を明記し、発行者（JCF）の印がないものは無効。

車両証
VIP
静岡 333 あ 11-11
○月○日～○月○日
公益財団法人 日本自転車競技連盟

車両証
チーム関係者
静岡 333 あ 11-11
○月○日～○月○日
公益財団法人 日本自転車競技連盟

車両証
メディア(プレス)
静岡 333 あ 11-11
○月○日～○月○日
公益財団法人 日本自転車競技連盟

車両証
メディア(TV)
静岡 333 あ 11-11
○月○日～○月○日
公益財団法人 日本自転車競技連盟

車両証
UCI関係者
静岡 333 あ 11-11
○月○日～○月○日
公益財団法人 日本自転車競技連盟

車両証
コミッセール
静岡 333 あ 11-11
○月○日～○月○日
公益財団法人 日本自転車競技連盟

※車両証区分 要検討

【大会運営】

アクレディテーション（AD）

ADセンターは、

- ①ADオフィサーが作業を行える執務室
- ②選手団や関係者並びにオンサイト登録対応の受付エリア（図面内Welcome area）
- ③事前申請を行っていない人が当日申請を行えるLast Minuteエリア（PC設備必要）
- ④写真添付ない人や当日申請の人たちの写真を撮影する写真撮影エリア（カメラとモニター設備必要）
- ⑤選手団対応エリア（チームマネージャーによる発行ADのチェック等ができるスペース）

といった5つのエリアから構成されている。

【アクレディセンターの役割】

大会の約2ヶ月前にオープンされるUCIオンライン認定システムを通じて事前申請が行われた選手団並びに大会関係者のAD（パス）を発行。

ADを受け取りに来た人とリストを照合し、照合で来た人から発行。

写真がない人の場合は、その場で写真撮影をし、ADを発行。

また、当日申請の対応も行う（UCIの承認必要）

なお、再発行は不可。

※基本、全て事前申請



オープン時間並びにスタッフシフト

◎対応時間 ※競技スケジュールに基づく

月曜日		16:00－18:00 ※
火曜日	09:30－13:00	15:00－19:00
水曜日	11:00－13:00	17:00－20:30
木曜日	11:00－14:00	17:00－20:30
金曜日	11:00－14:00	17:00－20:30
土曜日	11:00－14:00	17:00－20:30
日曜日	11:00－16:00	

※月曜日は、事務局のみ

◎スタッフ業務時間

月曜日		14:00－18:15 ※
火曜日	09:15－13:15	15:45－19:15
水曜日	10:45－13:15	16:45－20:45
木曜日	10:45－14:15	16:45－20:45
金曜日	10:45－14:15	16:45－20:45
土曜日	10:45－14:15	16:45－20:45
日曜日	－16:15	

◎対応スタッフ割振り（事務局スタッフ 計7名）

ウェルカムエリア（Welcome area）	事務局スタッフ 3名
チームア kredィテーション（Team accreditation）	UCI＋事務局スタッフ 1名
フォトエリア（Photo area）	事務局スタッフ 2名
ラストミニッツデスク（Last minute desk）	事務局スタッフ 1名
オフィス（Office）	UCI AD担当者

◎選手権大会の関係者にAD（パス）を発行。常時、身に付けておく。

◎進入可能エリアなどについては、スタッフの作業内容によりUCIが決めたルールに従い、事務局が各スタッフに対するカテゴリーを振り分けた後、AD申請を行う。（500枚まで）

※ADの種別・エリア指定はUCIが決定。

<AD見本>



「数字」と「色」で立入制限区域を設けます



立ち入り可能区域



AD種類と識別カラー

TEAMS

BLUE / 青系3色



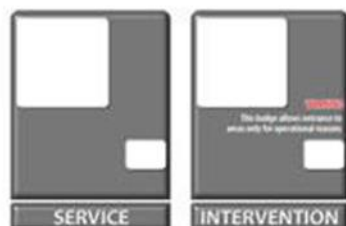
PRESS

Brown & Green / 茶 及び 緑



SERVICE

Gray / グレー



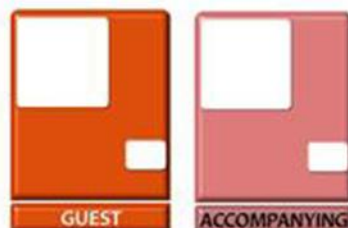
MANAGEMENT

Red & White / 赤 及び 白



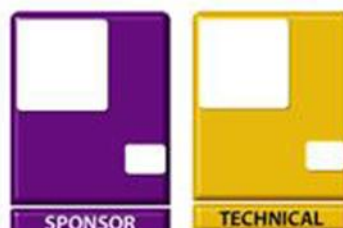
GUESTS

Orange & Pink / オレンジ 及び ピンク



OTHERS

Purple & Yellow / 紫 及び 黄



official
tribune



press
areas



infield



competition
area



vip
tribune



team
video



protocol



all
access

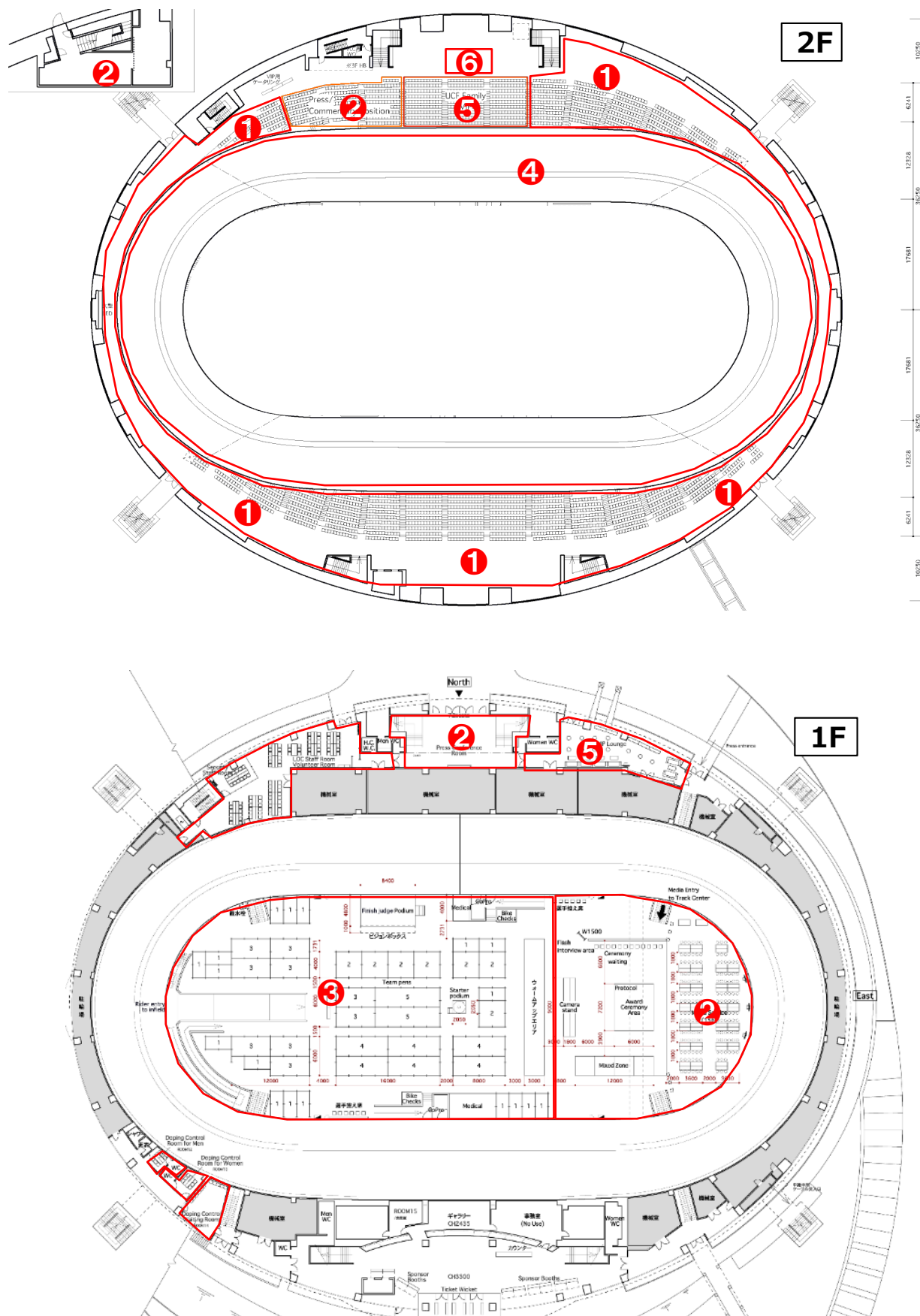
- ◎ADはLOに対して最大500枚までの発行とする。
 これ以上の枚数の発行はされないため、事務局は誰に対して発行するかということに関して、事前に
 リストアップをしておく必要がある。
 なお、紛失時の再発行は行われない。
- ◎ボランティアなど、日替わりで出勤する者に対しては、写真なしのADを発行。
 出勤時、集合場所で出欠確認を取り、ADを手渡す。（本人の受取りサイン必要）
 退勤時、集合場所で事務局のAD管理担当者に返却。（本人の返却サイン必要）
 ※可能であればADに通し番号のシールを貼り、誰が何番のADを使用しているかが把握できるようにしておく。

○月○日ボランティアAD管理表			
No.	受取サイン	返却サイン	担当者印
001			
002			
003			
⋮			

ボランティアAD管理表（例）

立入制限

◎ADで許可されたエリア以外は、立入禁止。



エリアへの立入制限

ゾーンコード

各ゾーンには、メインサイトへのアクセスを許可する番号があり、サイトのアクセスポイントに配置された1つまたは複数の標識でマークされています。

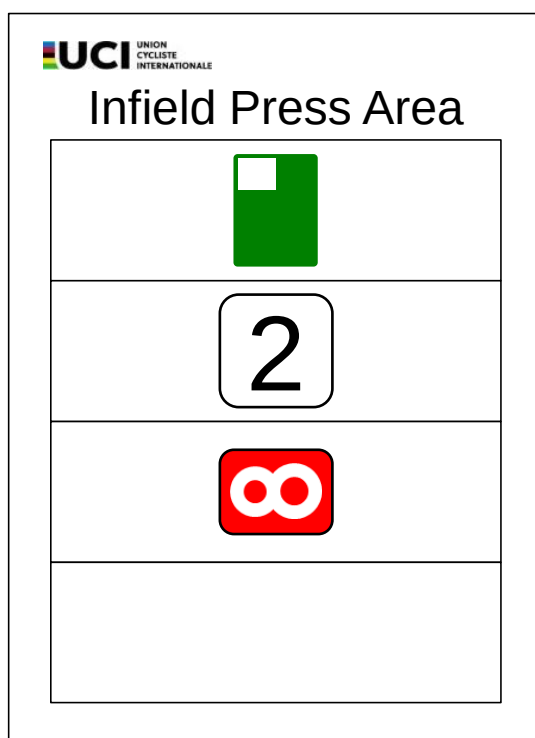
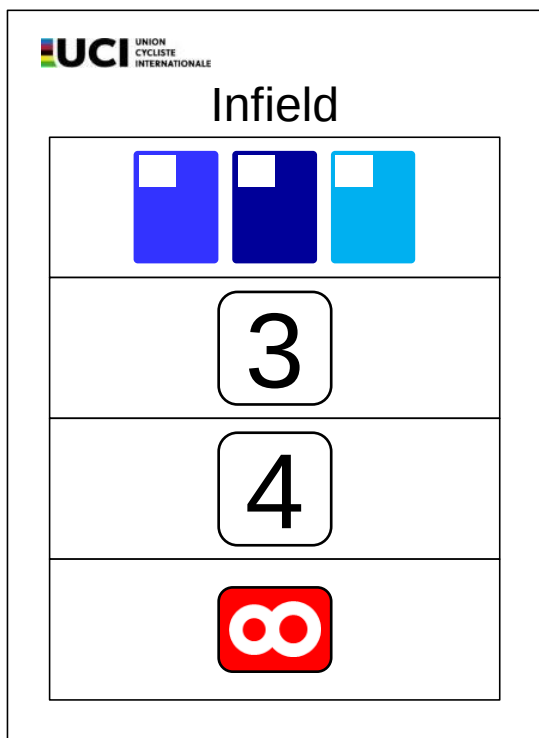
アクセス条件

ゾーン	アクセス許可	備考
ゾーン①	公式スタンド (A)	予約セクション：MC + 名誉通信 + 同伴者
	公式スタンド (B)	予約セクション：委任 + スポンサー + 付随ゲスト
	公式スタンド (C)	予約セクション：マネージャー+ 選手 + プレス
ゾーン②	プレス	プレスエリアと解説ポジション
ゾーン③	アクティビティゾーン	トラックセンター
ゾーン④	競技ゾーン	
ゾーン⑤	VIPエリア	VIPラウンジ + VIPスタンド
ゾーン⑥	チームビデオオペレーター	
ゾーン⑦	プロトコル	
ゾーン∞	全エリア	①～⑦を含む

* 会場によっては変更される場合があります。

立入制限

ADにはアクセス可能なゾーンのマークが印字される（アクセス可能ゾーンに関しては、UCIが規定）
下記はその例。



【インフィールドエリア】

ADの色が



(DELEGATION)



(SPORTING)



(SPORTING)

および、ADの数字が

3 (Infield)

4 (Competition Area)

∞ (立入制限場所なし)

の方のみ立入可能

【インフィールド プレスエリア】

ADの色が



(PRESS)

および、ADの数字が

2 (Press Area)

∞ (立入制限場所なし)

の方のみ立入可能



メディア用ビブス

- ◎メディア関係者にはADの他に、ビブスが提供される。
場内での取材中は、常にビブスを着用することが義務付けられている。

<ビブス見本>



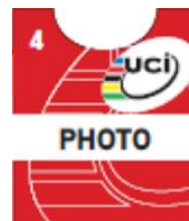
Dark Blue :
Rights Holders Stations



Grey :
HB



Light Blue :
Non Rights Holders /
Sub-licensed Stations



Red :
photographers

- ◎ビブスはUCIが申請メディアに対し貸与するため、事務局は準備不要。

【大会運営】

宿泊・輸送

伊豆ベロドロームは成田空港から約5～5.5時間、羽田空港から約2～2.5時間かかる修善寺にあるため、通常の世界選手権では、空港からの移動は選手団に任せられるところだが、修善寺での開催の場合は、空港からの距離を考えると、交通事故などに会う可能性が高いため、事務局としては、かかった経費を徴収する形をとるものの、空港からの選手団の送迎に関しては、事務局が手配するものとする。

なお、修善寺に到着後、レンタカーを借りるかどうかは各国選手団ごとに任せるものとする。

(レンタカーをする場合、運転手がジュネーブ協定を結んでいる国の国際免許または日本国内で有効な運転免許書を携帯していることが前提)

[成田空港／羽田空港 ⇔ 会場]

1) 選手団

- ・ 修善寺に向け、チャーターバスにて移動
- ・ 自転車を乗せたトラックは後発

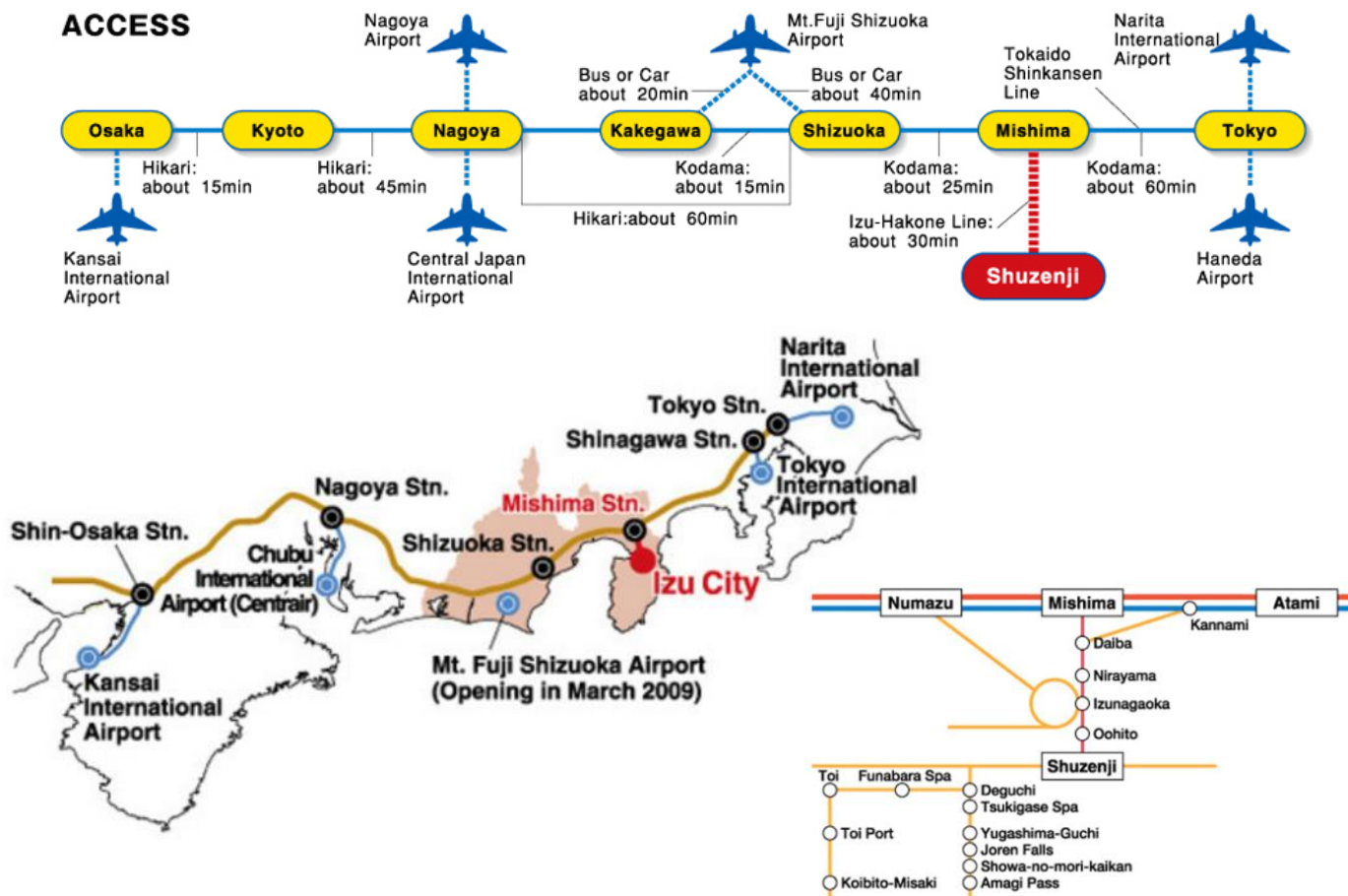
2) 自転車&備品

- ・ 選手団自身でトラックに自転車並びに備品を載せる
- ・ トラックが満載になったところで、伊豆ベロドロームに向けて出発
- ・ トラックがベロドロームに到着したら、選手団自身が自転車並びに備品をトラックから降ろし、選手ピットに入れる。

[オフィシャルホテル ⇔ 会場]

1) 30分間隔でシャトルバスを運行 (予定)

2) ガイドラインに従い、UCIのオフィシャル用に何台かのVIP車・バンを用意。



選手並びにオフィシャルホテルに関しては、UCIレギュレーション（会場より遠くても車で15分圏内）を考慮すると、下記のようなホテルが考えられる。

なお、UCIのVIPに関しては、マリオットホテルも考えられるが、その場合、配車計画をそれに合わせて行う必要がある。（なお、下記、情報は2017年度の者であり、今後の開催においては、ホテル状況が変わることは十分に考えられる）

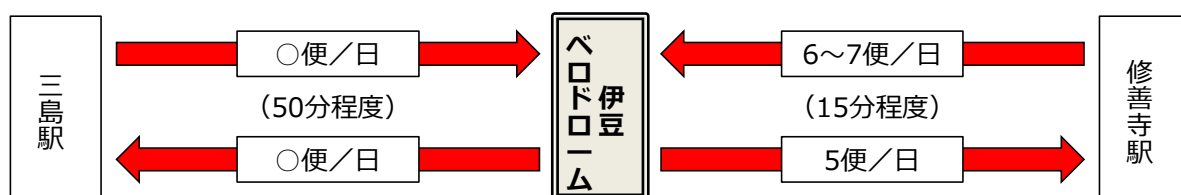
ホテル	総部屋数	部屋タイプ				総宿泊人数	室料 (1室1名あたり)	CSCからの 距離 (km)	ペロドローム までの 時間
ホテルワイナリーヒル (VIPホテル)	49	スイート×2 デラックスツイン×2	和洋室×33 (1部屋5名まで)	和室×11	その他×1	120	¥10,000 - 27,000 (スイートは別料金)	8.8	15分
ホテルオリーブの木	41	ドームハウス×40 (1ハウス4名)				164	¥7,500 - 12,000	10.7	18分
ホテルサンバレー本館	93	和洋室×36 (うち特別室×2含む) (1部屋4名まで)	和室×56 (1部屋4名まで)	洋室×1 (特別室タイプ)		372	¥15,000 - 20,000	12.4	21分
ホテルサンバレー和楽	29	和洋室×5 (1部屋4名まで)	ツイン×20	1部屋4ベッドタイプ×4		76	¥10,500 - 12,000	12.4	21分
ホテルサンバレーアネックス	48	ツイン×36 ダブル×12				76	¥5,700 - 7,600	12.4	21分
ホテルサンバレー悠々館	36	和洋室×30 (1部屋4名まで)	和室×6 (1部屋2～3名)			54	¥8,800 - 10,200	12.4	21分
ホテルサンバレー富士見	46	和洋室×4 (1部屋5名まで)	和室×36 (和洋室 4名まで/ベッドルーム 2名まで)	シングル×6		140	¥12,100 - 20,200	12.4	21分
ホテルニュー八景	68	和洋室×4	和室×35	シングル×6 ツイン×23		130	¥16,200 - 17,500	11.5	19分
大仁ホテル	112	和室×60	洋室×43	その他×9		255	¥9,200 - 12,500	9.9	19分
サンシャイン修善寺	27	和洋室×11 (1部屋5名まで)	和室×6 (1部屋6名まで)	ツイン×10		111	¥7,800 - 11,000	14.1	26分

▼ホテルサンバレー(5つ)



シャトルバスの運行

◎大会期間中、伊豆箱根鉄道 修善寺駅から伊豆ベロドローム間の有料シャトルバスを運行。



※ベロドローム～修善寺駅間の便数は、2016年7月開催の寛仁親王記念ワールドカップでの実績

※開催時間、駅への電車到着時間に合わせ、便数要調整

会場シャトルバス運行時刻表（修善寺駅～会場間）

大会初日			
修善寺駅→会場		会場→修善寺駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会2日目			
修善寺駅→会場		会場→修善寺駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会3日目			
修善寺駅→会場		会場→修善寺駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会4日目			
修善寺駅→会場		会場→修善寺駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会5日目			
修善寺駅→会場		会場→修善寺駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

会場シャトルバス運行時刻表（三島駅～会場間）

大会初日			
三島駅→会場		会場→三島駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会2日目			
三島駅→会場		会場→三島駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会3日目			
三島駅→会場		会場→三島駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会4日目			
三島駅→会場		会場→三島駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

大会5日目			
三島駅→会場		会場→三島駅	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	

修善寺駅シャトルバス乗降所

◎修善寺駅バスターミナル「6番乗り場」 ※寛仁親王記念ワールドカップ実績



◎改札口を出たところにスタッフを配置し、6番乗り場へと誘導。
また、バスの発車時刻もアナウンスする。

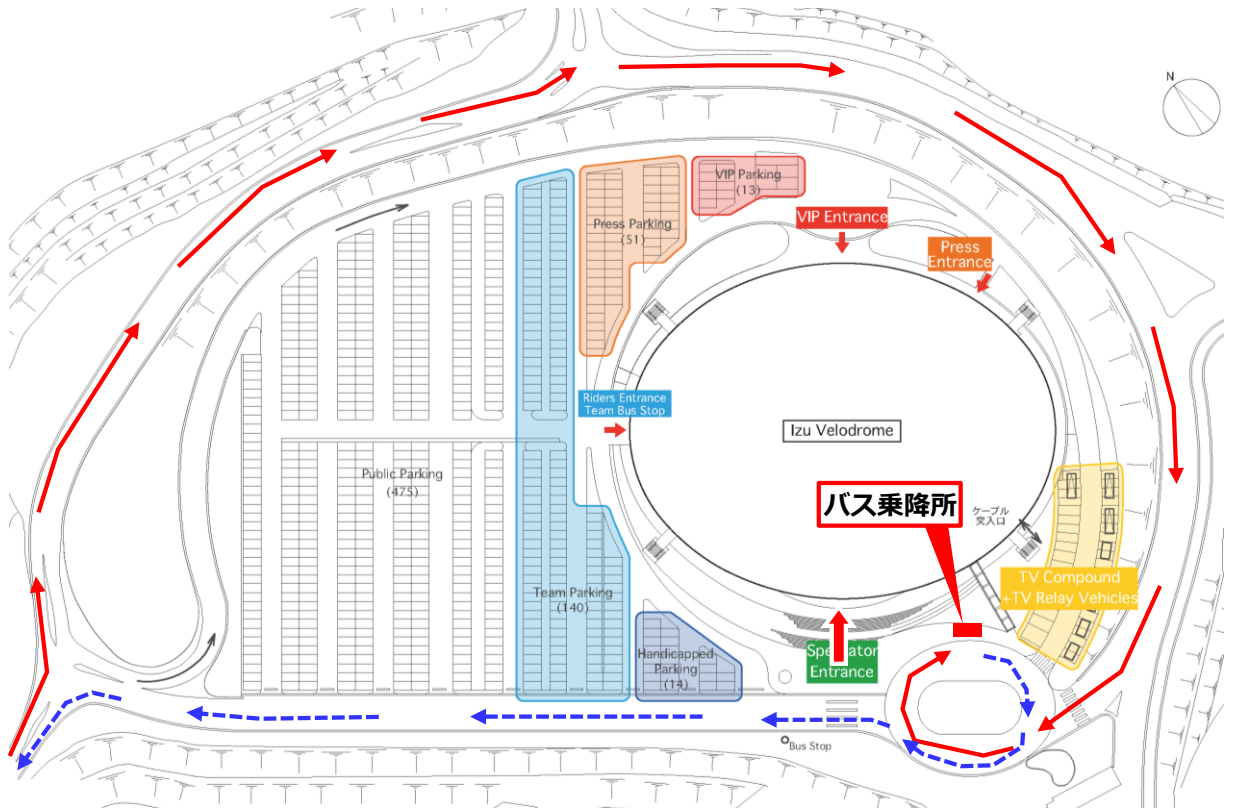
三島駅シャトルバス乗降所

◎静岡県との調整後、臨時バス停の場所（北口想定）を確定。



◎改札口を出たところにスタッフを配置し、バス乗り場へと誘導。
また、バスの発車時刻もアナウンスする。

会場シャトルバス乗降所



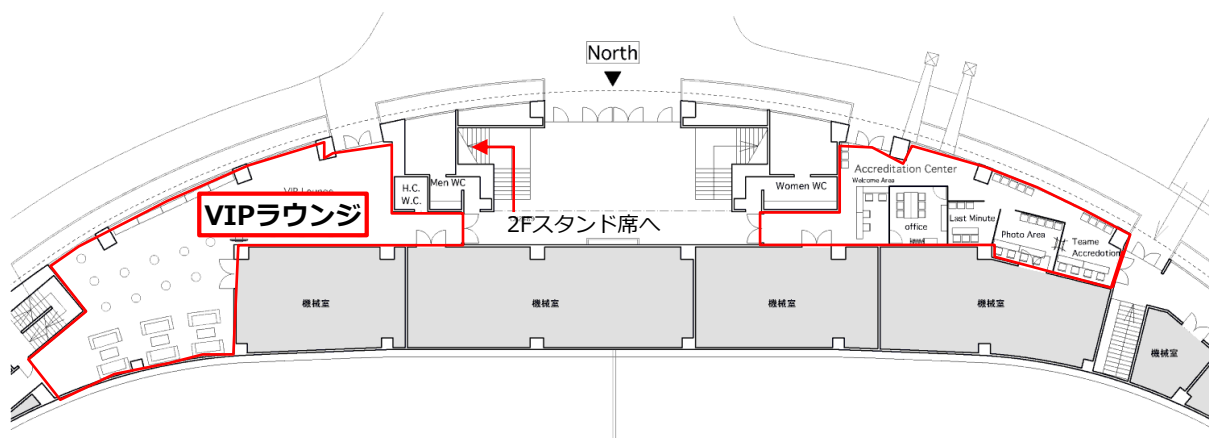
← シャトルバス進入路
← シャトルバス退出路

【大会運営】

ケータリング

VIPケータリング

- ◎VIPラウンジにビュッフェ形式で温かい食事・飲み物を用意。
- ◎2FスタンドVIP席に、VIP対応スタッフを配置し、VIPから食事・飲み物の要望があれば、VIPラウンジからデリバリーする。
- ◎1日150人分を準備。
 - ※飲み物は、ワイン・ビールは必須（原液で14%以下のアルコールのみOK）。
 - その他、ソフトドリンクを用意。
- ◎対応時間は、13:00～22:00（レース終了時間により変動）。



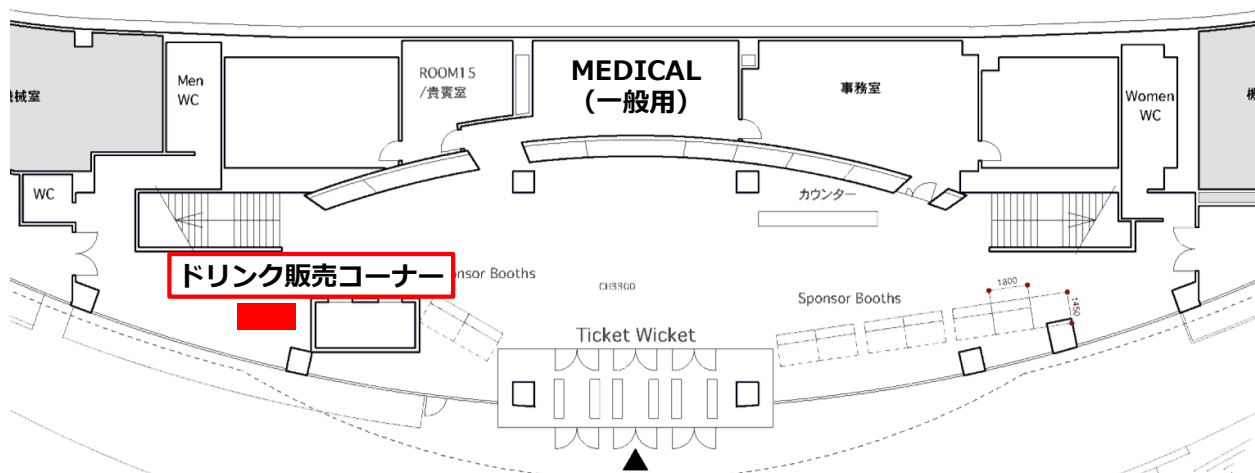
スタッフケータリング・選手ケータリング

- ◎運営スタッフは基本的に、CSC内の六角塔レストランを利用。
(チケット制・日々の枚数割り出し必要)
- ◎競技関係者の夕食のみ、コミッセルルームに弁当を手配。
- ◎選手はライダーズラウンジを利用。
- ◎選手の補給食として、バナナ・オレンジ・リンゴなどの軽食を用意。



一般来場者用ケータリング

- ◎会場外にケータリングカー・飲食ブースを出展の他、CSC内の売店を利用。
- ◎2Fスタンド席に売り子を回遊させ、軽食・ドリンクを販売。
- ◎1Fエントランスロビーにドリンク販売コーナーを設置。
- ◎ATM設置型の移動型セブンイレブンの手配。
※選手団が自国のカードで現金を引き出せるように
- ◎静岡物産展の開催？



【大会運営】

その他

スタッフユニフォーム

◎選手権大会の運営に関わる全てのスタッフにユニフォームの着用を義務化。

・スタッフユニフォーム 4種 ※香港大会実績

赤ポロシャツ：テクニカル

水色ポロシャツ：コミッセル・サポートスタッフ

（コミッセル団＝UCIロゴ入りブルーシャツ＋ネクタイ／国内コミッセル＝ブルーシャツ＋ネクタイ）

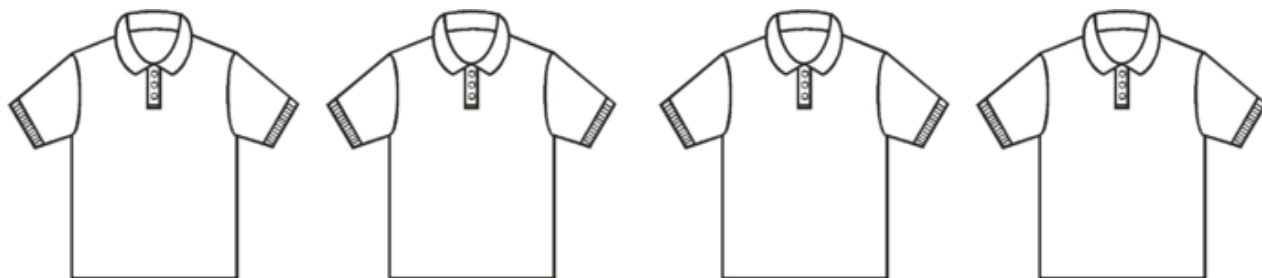
イ)

紺ポロシャツ：ディレクター

白ポロシャツ：スタッフorボランティア

蛍光制服：警備

<スタッフユニフォーム見本>



【競技運営】

インフィールド計画

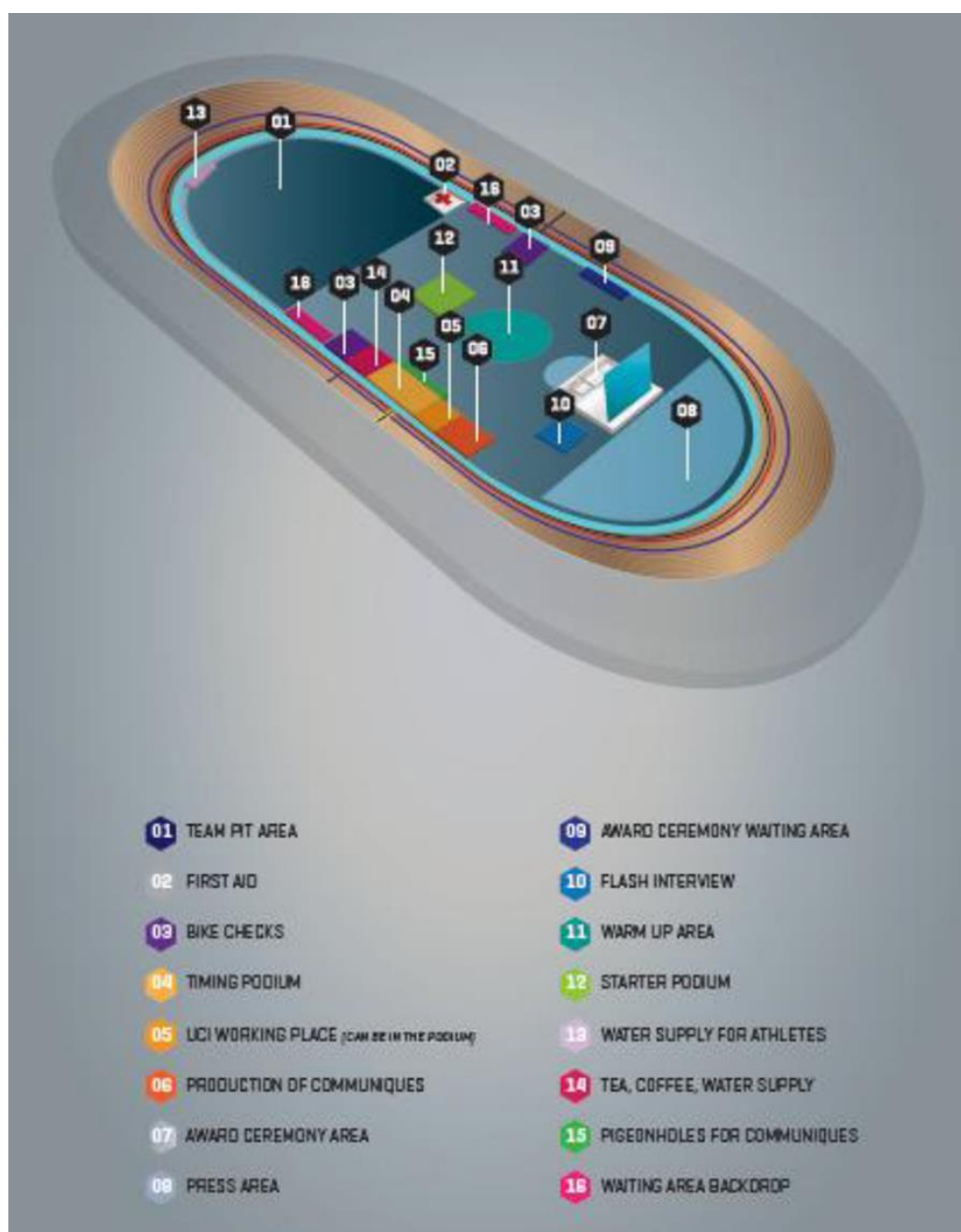
前提事項

インフィールド計画は、UCIが長年、培ってきたトラック競技世界選主幹大会におけるレイアウトをベースに組み立てられている。（下記参照）

インフィールド内に必要な競技設備・機材、備品については、次章を参照。

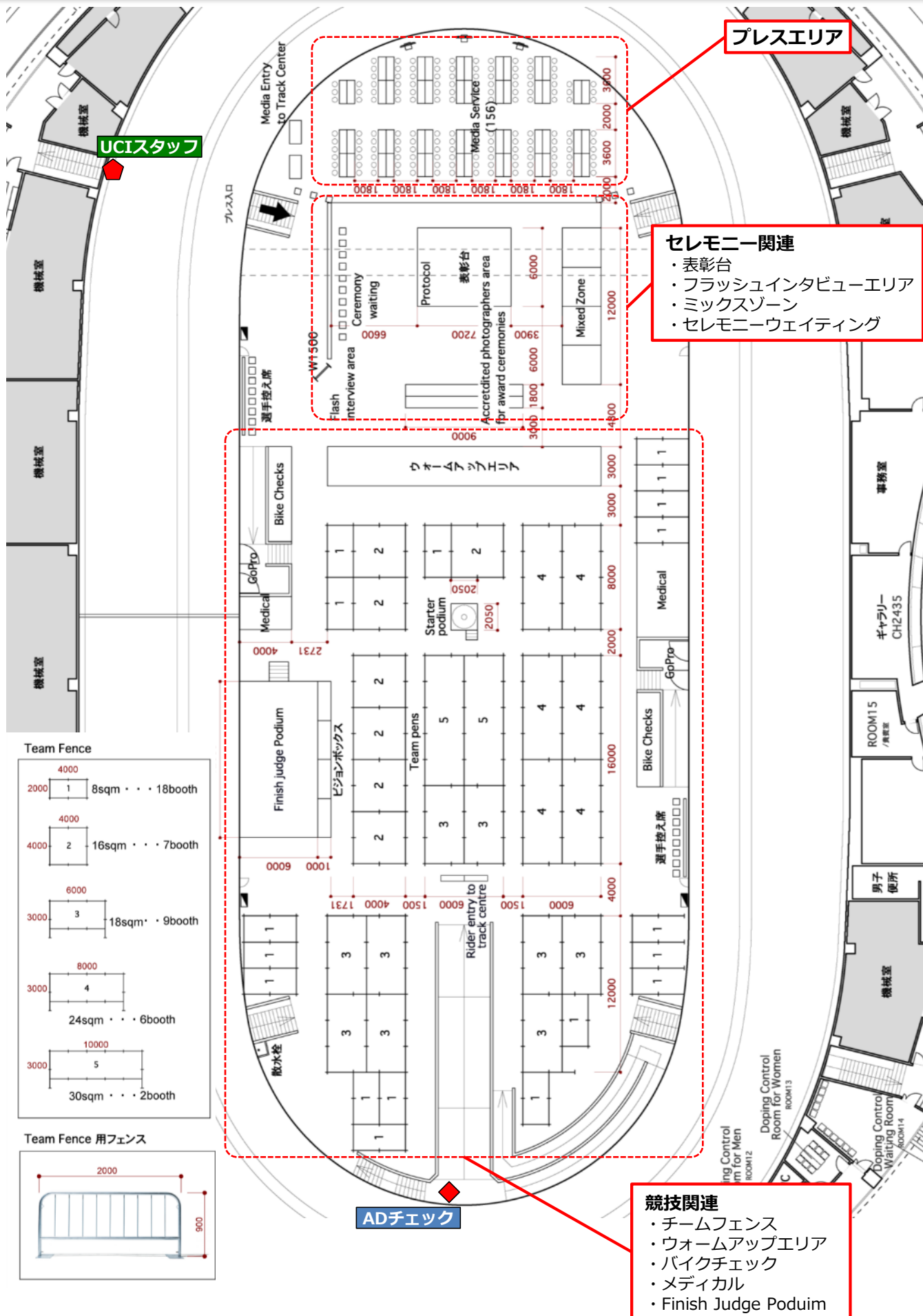
なお、本レイアウトは時代の変遷とともに変更されうる可能性を含めており、実際、2017年に香港で行われた世界選手権においては、メディアのエリアをより大きく確保するために、中央のウォーミングアップエリアが円形ではなく、インフィールドを縦断するような形で長方形に変更されている。

本マニュアルに掲載されているレイアウトは、この香港形式を踏襲しているが、実際の世界選手権開催時のレイアウトについては、開催時のUCI担当者と連携を取りながら決定していくのがベストである。



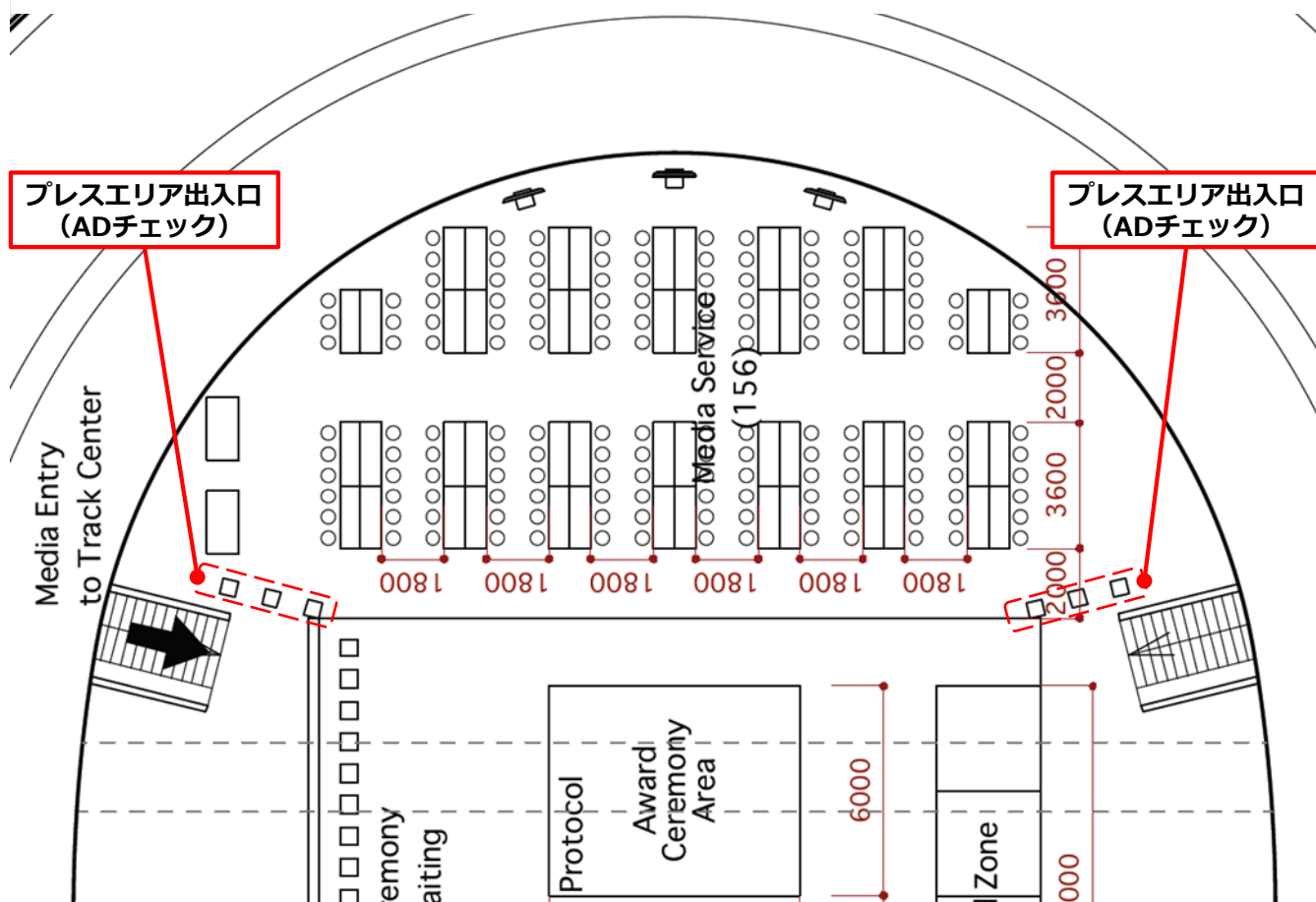
[インフィールド・レイアウト 基本構成]

インフィールド (1F)

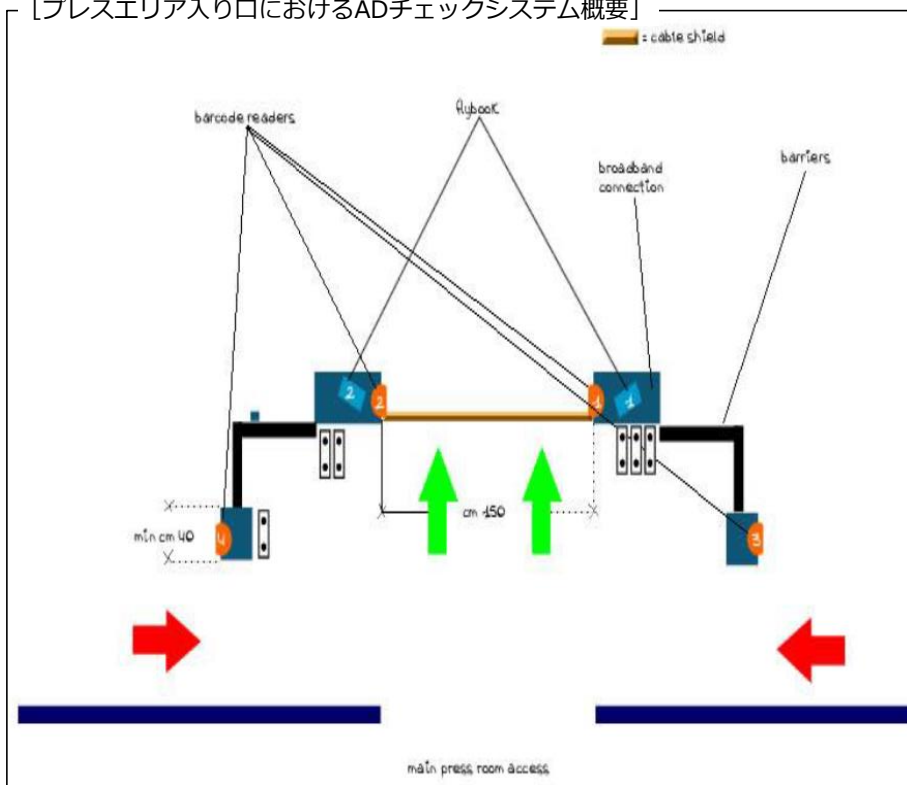


プレスエリア

プレスエリア入り口にて、UCI持ち込みのADチェックシステムにて、メディア関係者のADをチェック。赤ランプがついた場合は、プレスエリア内への入場をお断りする。



[プレスエリア入り口におけるADチェックシステム概要]



メディカルエリア

◎インフィールド内に少なくとも1か所（推奨：2か所）、選手が落車した際の救急対応として、メディカルエリア（ストレッチャーを含む救急対応キット設備）を設置。

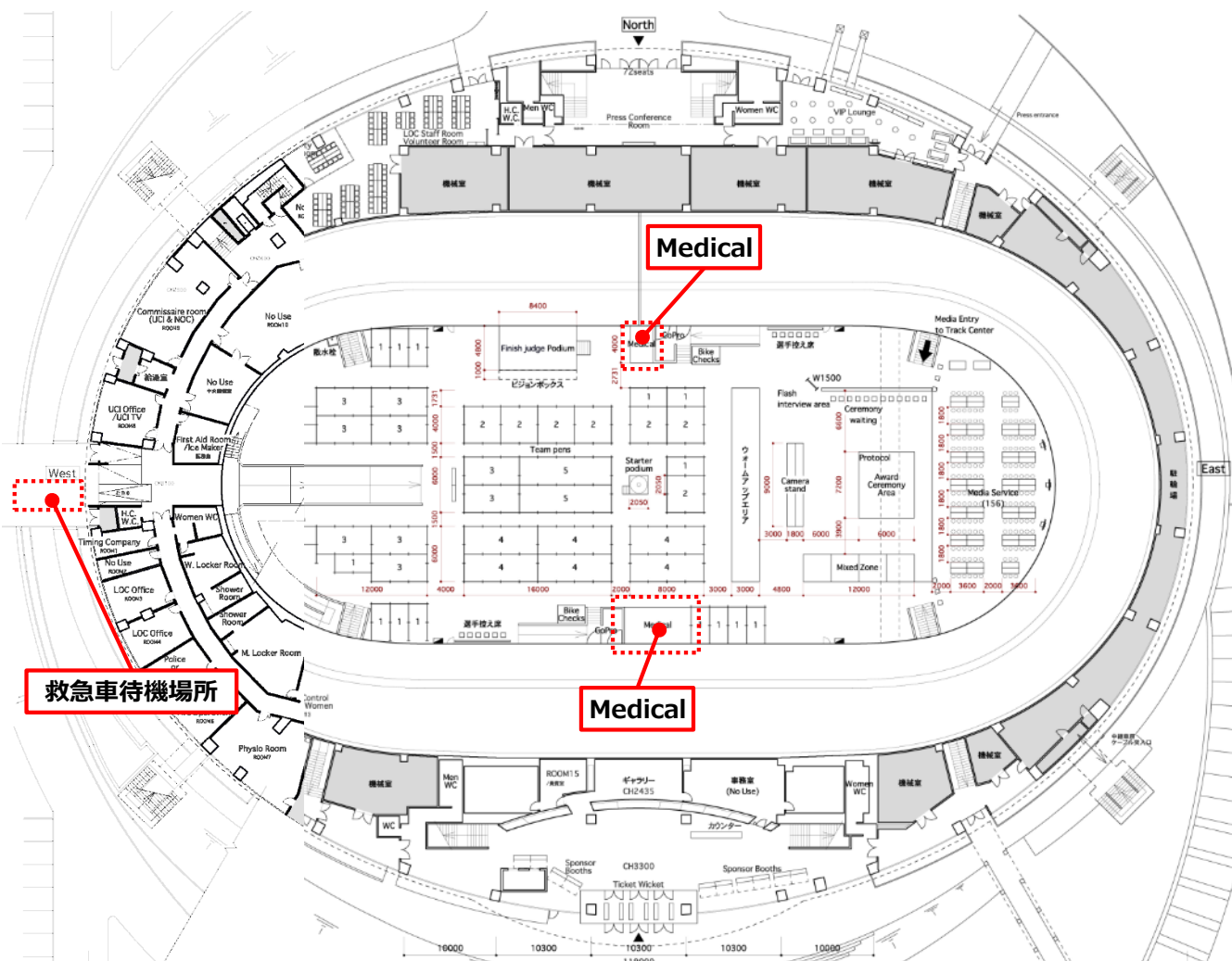
可能であれば、英語対応が可能な医師を2名、常駐させる。

※英語対応可能な医師が手配できない場合は通訳を介する。

◎軽傷の場合は、その場またはベロドローム内医務室にて医師が処置。

◎医師が病院への搬送が必要だと判断した場合は、待機中の救急車にて搬送。

◎重篤なけがの場合は、救急ヘリを要請（約15分で到着）



[2017年香港]

【競技運営】

競技設備・機材・備品

競技環境に関する大前提

- 大会期間中のベロドローム内の気温：25°
- 風がベロドローム内に入っていないこと

タイミングシステム並びにフィニッシュ・ジャッジ台

タイミングシステムはUCIより支給されるが、事務局はそれを設置するためのフィニッシュ・ジャッジ台を大会開催5日前までに準備する必要がある。

フィニッシュ・ジャッジ台について

設置場所：直接、フィニッシュラインとスコアボードが見える場所（下記図面参照）

サイズ： 最低8m×4m

高さ：トラック（バンク）の高さから50cm高。

ただし、インフィールドがバンクより低い場合は、バンクよりー50cm高で設置。

使用者：・アナウンサー（スカイボックスまたは客席内にエリアがない場合）

・コミッセル

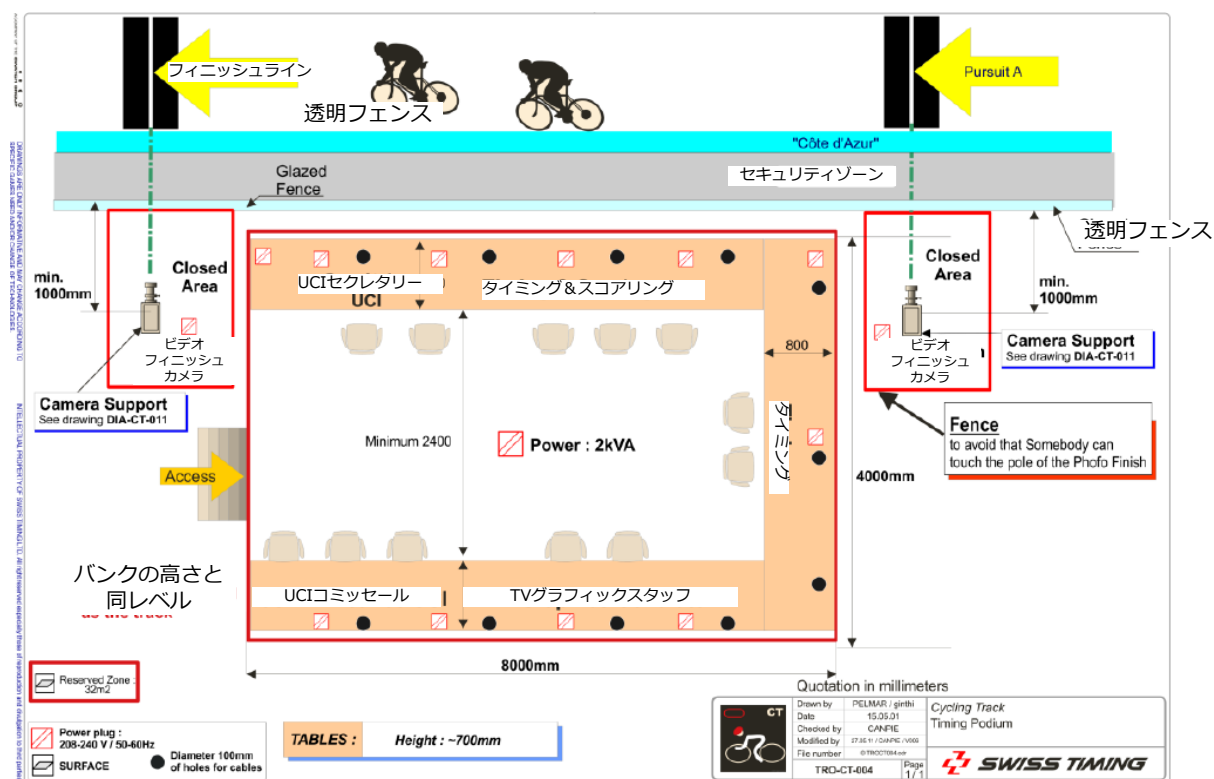
・タイミング関係スタッフ

必要備品：・レーザープリンター × 2台（タイミング&コミッセル用）

・ダウンロードで5Mbpsが保持できる有線ネットワーク（WiFiはNG）

・国際電話回線

〔設置場所、配置イメージ〕



※フィニッシュジャッジ台の床面の高さはトラックより50cm下

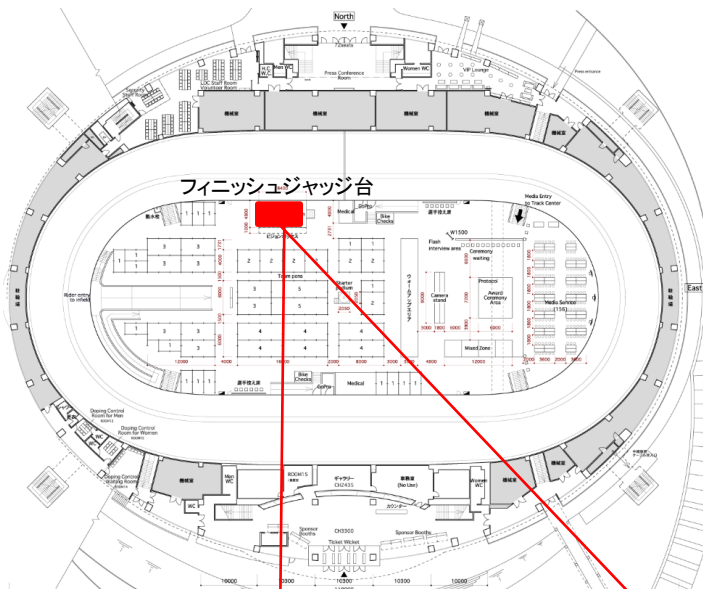
フィニッシュ・ジャッジ台

[フィニッシュジャッジ台の構造について]

フィニッシュ・ジャッジ台は国際安全基準に基づき設置されること。

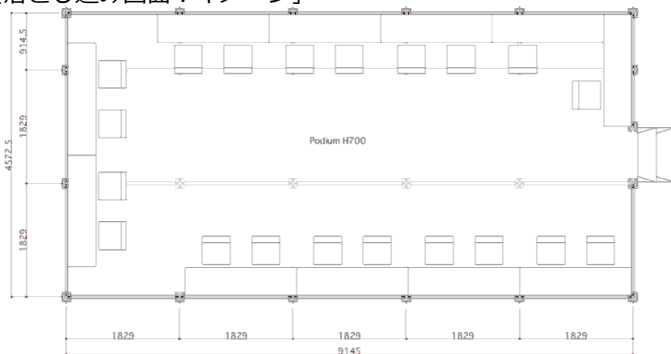
特に、耐荷重（1000N）や手すりの接合基準などは国際基準に準ずること。

また、スタッフや物の落下防止のため、インフィールドの床面から1m高までは、ジャッジ台を布で囲むこと。

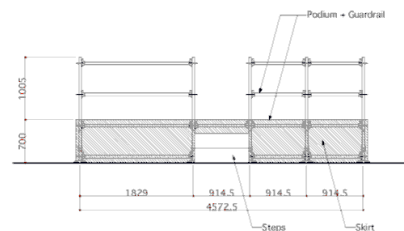
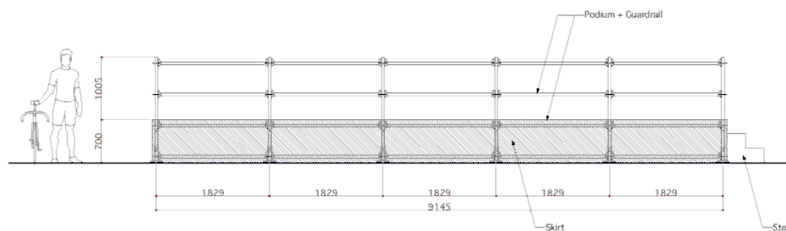
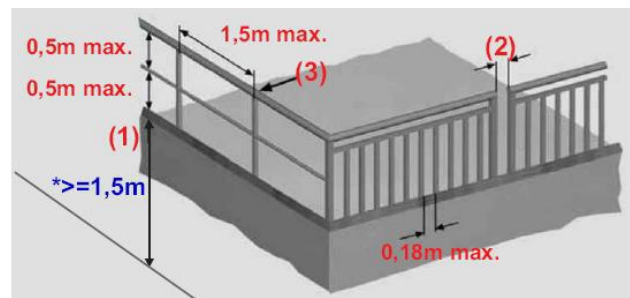


[2017年香港]

[落とし込み図面：イメージ]



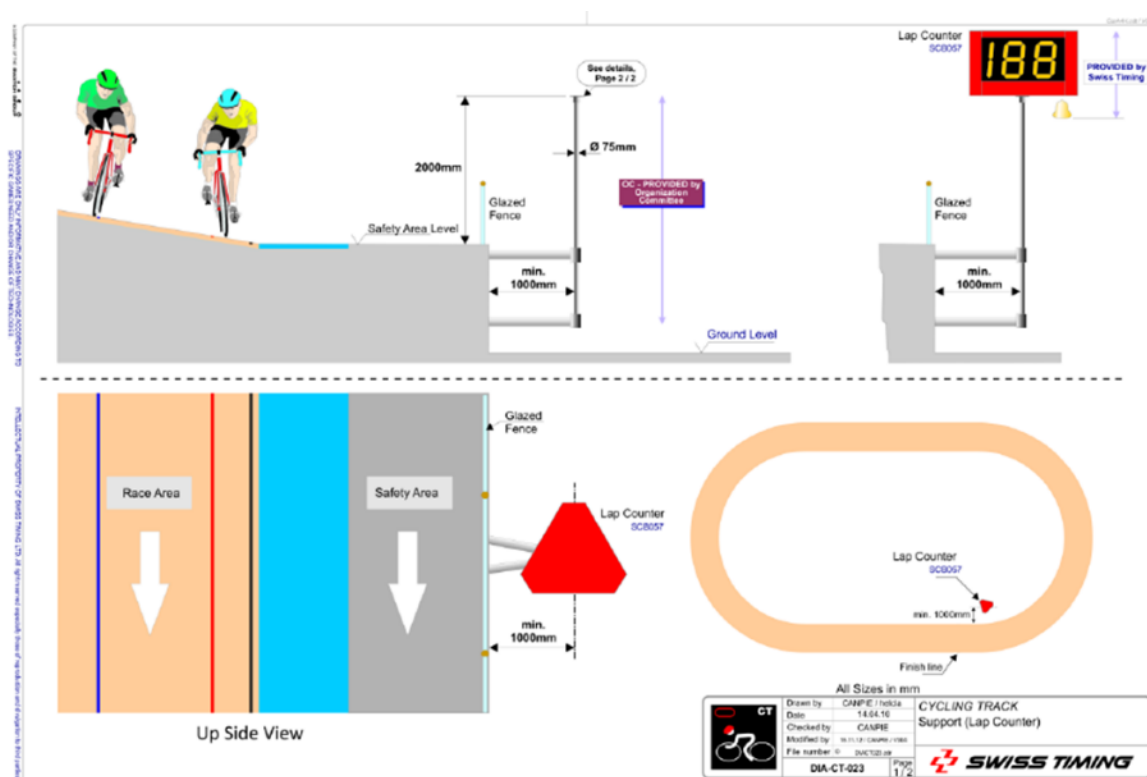
[安全基準対策（UCI提唱）：基準]



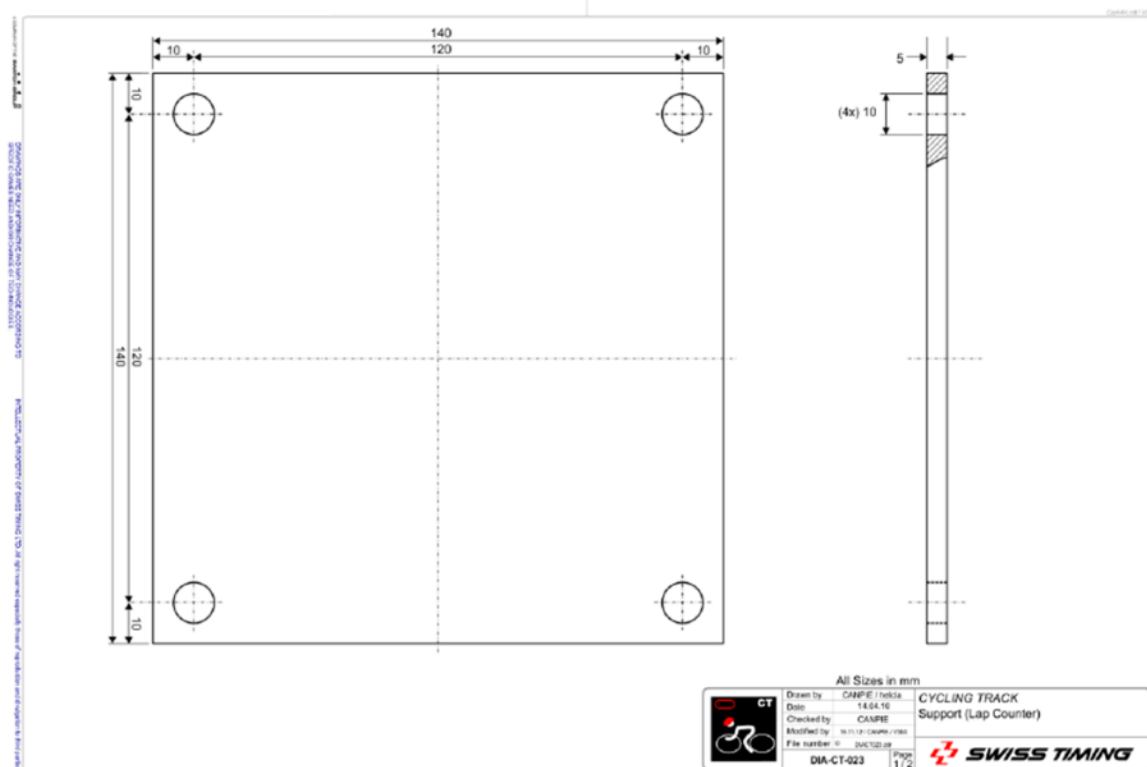
※フィニッシュジャッジ台の床面の高さはトラックより50cm下

ラップカウンター^oの設置

ラップカウンターの設置方法は以下の通り。なお、壁面に取り付ける場合は、ラップカウンターの重量を確認し、壁面構造と強度について確認の上、設置すること。



[ラップカウンターの取り付け位置]

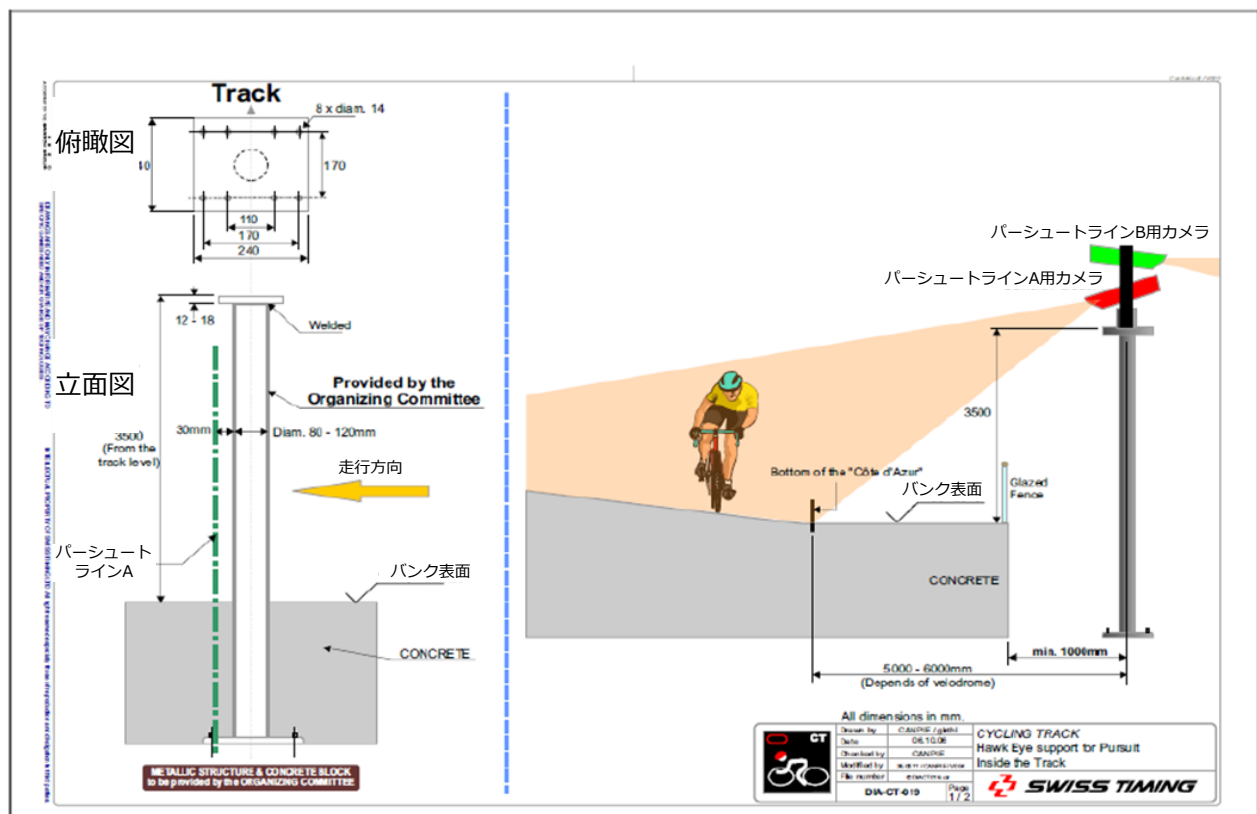
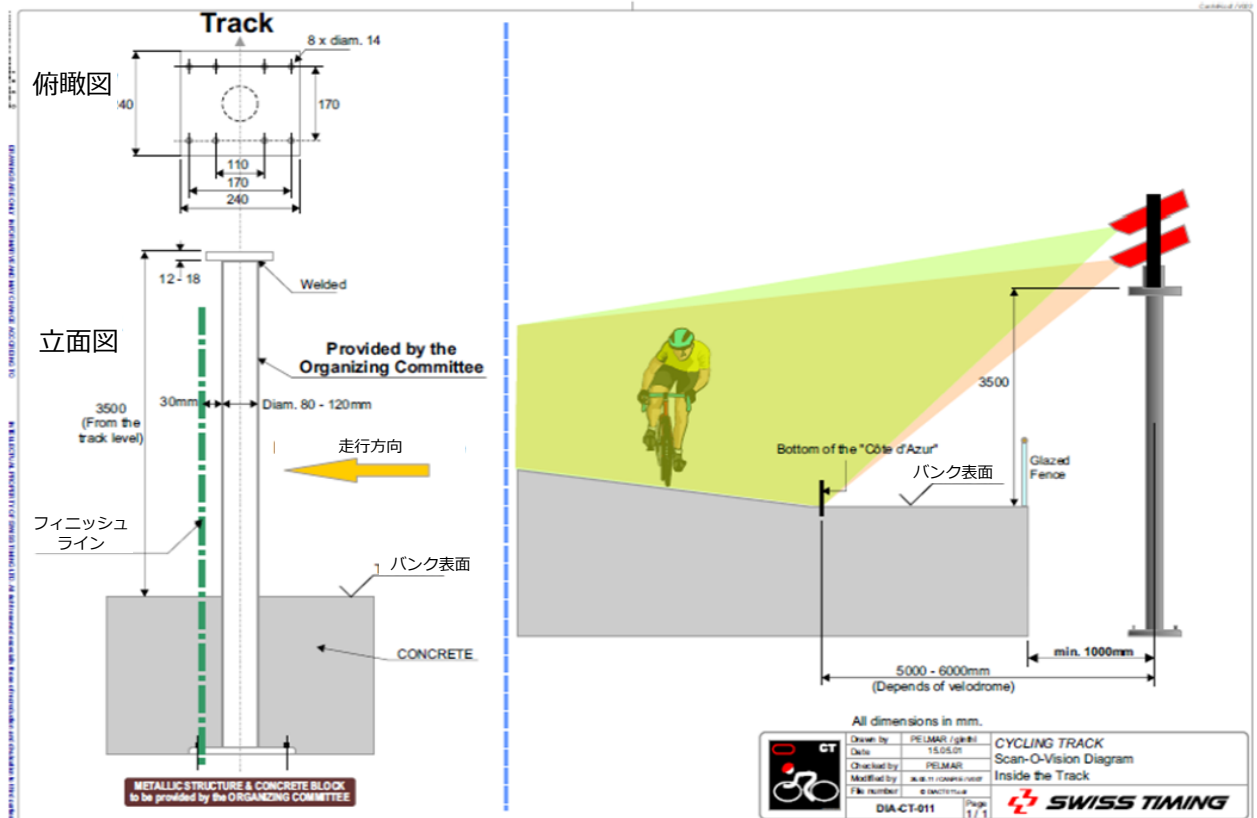


フォトフィニッシュカメラの設置について

トラックの左右両サイドのフィニッシュラインをとらえるフォトフィニッシュカメラの設置方法には、下記の2パターンがある。いずれにするかはタイミングチームとHBの話し合いの結果により決定されるが、事務局はこれらのカメラを設置するためのポールを設置する必要がある。

パターン1：フィニッシュライン用&パーシュートライン

パターン2：パーシュートライン用 1本のみ（AB兼用）、パーシュートライン用 2本（A、B別）

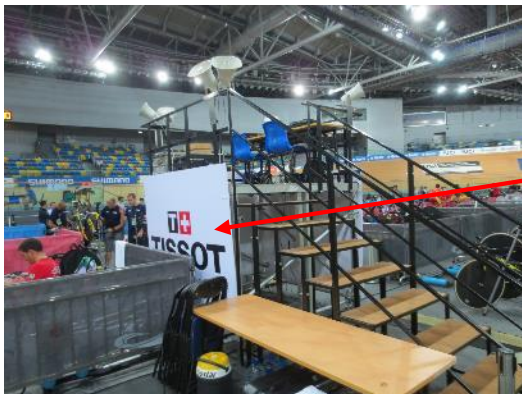
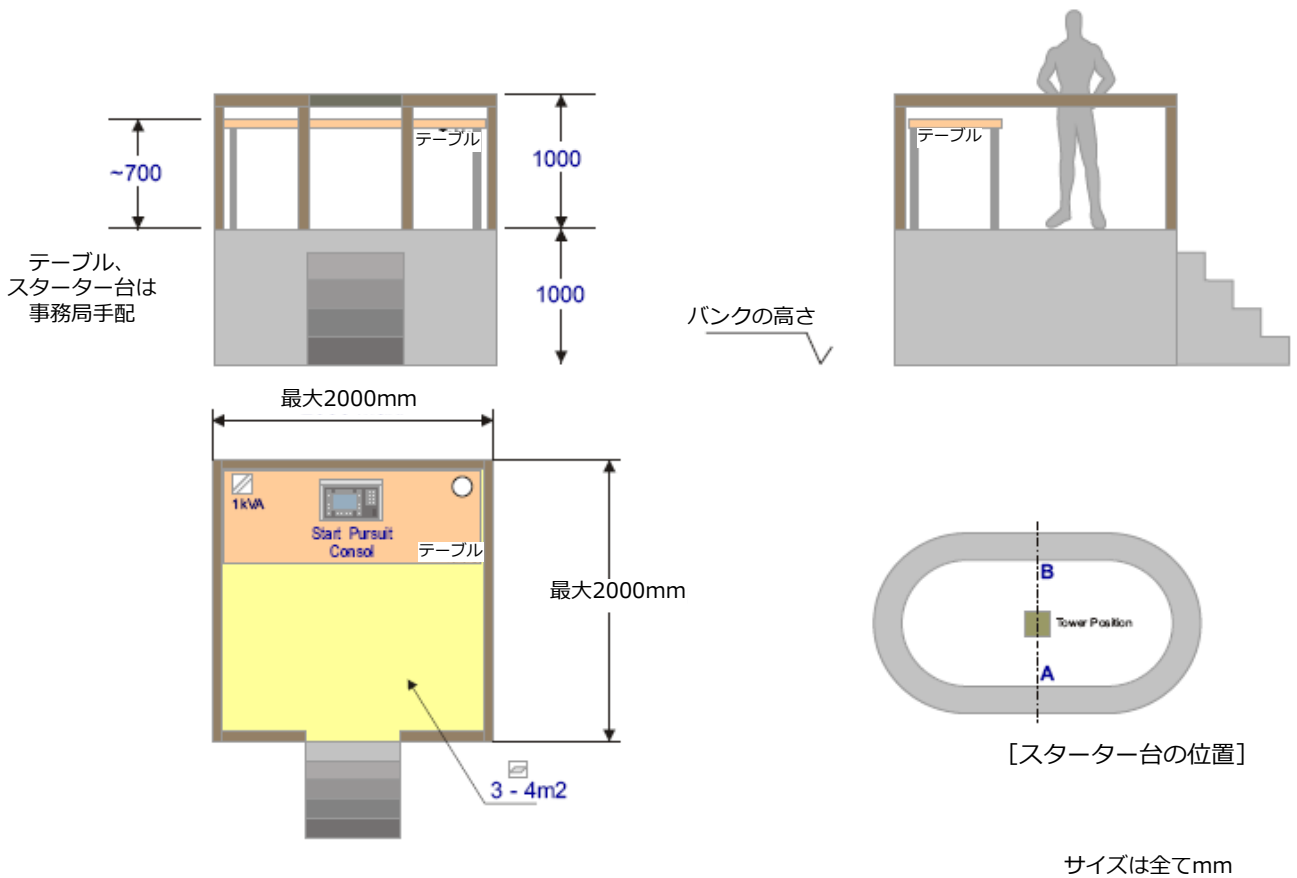


競技設備：スターター台

スターター台は、インフィールドの中央に設置されていること。（伊豆ベロドロームの場合、既存のものでOK）

高さは、トラック（バンク）全体を見回すことができる高さが必要であり（下記図面参照）、サイズはUCIスポンサーのロゴ（2m幅）が掲示ができるサイズであること。

スターター台には、スタートを計測するコントローラが置けるテーブル並びにスタート用ピストル2丁とピストル用の弾、300個を準備



メインスポンサーロゴ
（UCIより提供。終了後UCIに返却）

[2017年香港]

競技設備：スコアボード

最低1行32文字、全部で10行を表示できるスコアボードを準備。

既存のスコアボードがない場合は、レンタルする前にUCIに連絡すること。

また、デジタル・スコアボードのフォーマットについてはUCIに確認すること。

なお、スコアボードを起動させるために、フィニッシュ・ジャッジ台とSCB PCコントローラーの間にケーブルを這わせること。（スイスタイミングはPCコントローラーの隣に映像信号を出すPCを準備すること）

スコアボードのオペレーションは、英語またはフランス語が分かるスタッフで、タイミングスタッフのトレーニングを受け、大会開始1時間前には会場に来ることができる人であること。

なお、このスタッフに関しては英語またはフランス語を話し、ある程度のPCスキルが求められる。

またタイミングに必要な機材は事前に送られてくるため、それまでの間、保管庫に保管しておく必要があるが、これらの機材は大会開始5日前の朝の8：00には、タイミングシステム用の台（フィニッシュジャッジ台）に取り出しておく必要がある。

また、フィニッシュラインの下部にケーブルを通すための直径15cmのダクトが必要。

更にタイミングスタッフ用にトランシーバーを5台（うち4台はタイミング用、残りの1台はコミッセルとのコミュニケーション用）を準備しておくこと。

なお、スポーツプレゼンテーションエリアにCIS（commentator information system）がない場合は、フィニッシュ・ジャッジ台とスポーツプレゼンテーションエリアとの間にネットワークケーブルまたは光ファイバーを這わせておくこと。

また、機材設置後は、24時間警備を付けること。

タイミング・カンパニーによって提供されるもの。

- ・フォトフィニッシュ・システム
- ・1/1000秒まで計測可能な電子タイミング
- ・タイミング関連機材（スタートブロック、スタートクロック、フィニッシュ・ジャッジ台のスタートデバイス、コンタクトテープ、フォトフィニッシュ・カメラ、トランスポンダーシステム、CIS、TVグラフィックス、スコアボード用ソフトウェア）

【タイミングに関するスタッフィング】

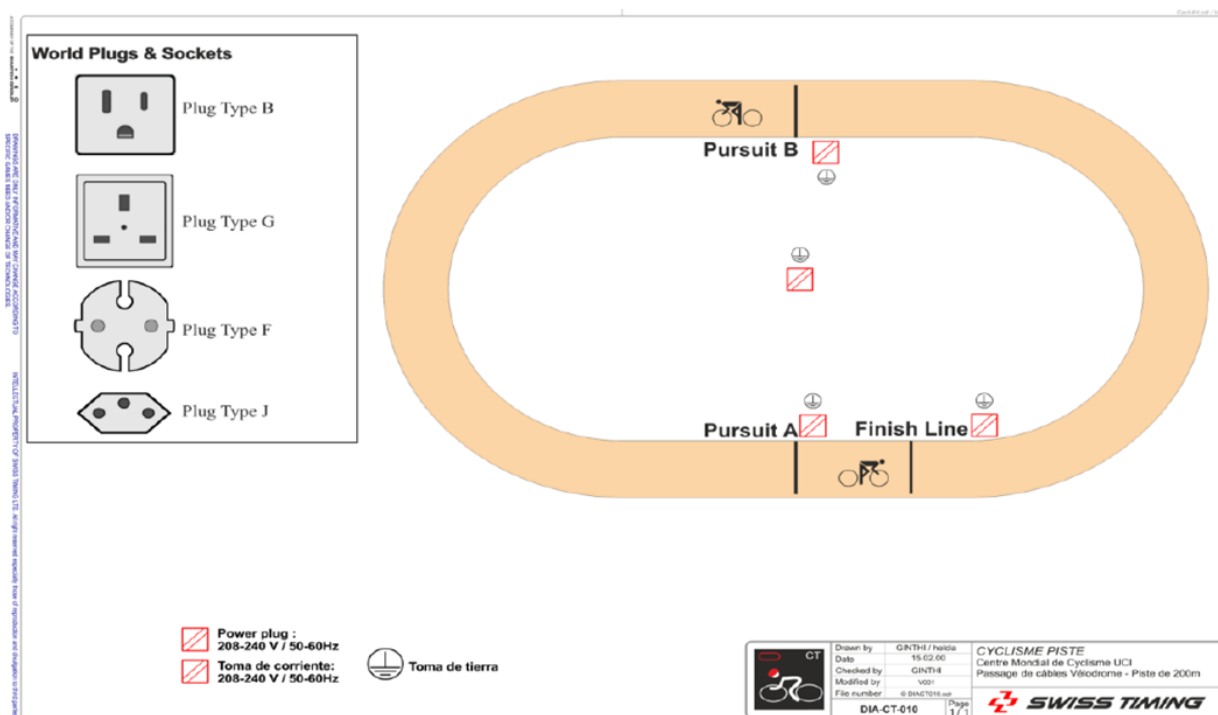
事務局が手配するスタッフ

- スタートブロックとスコアボードを設置し、操作する現地スタッフ。
- 通訳1名（必要に応じて）
- 機材の設営・撤去を行う業者。
- ベロドロームのスコアボードを操作するスタッフ。

タイミングシステムに必要な電気供給について

タイミングシステムを動作させるため、208～240V、7kVA～10kVAの電源を、バンク内の図面に記された場所に供給する必要がある。

- ・フィニッシュ・ジャッジ台： 1KW 5□
- ・パーシュートAライン： 1KW 1□
- ・パーシュートBライン： 1KW 1□
- ・スターター台： 1KW 1□

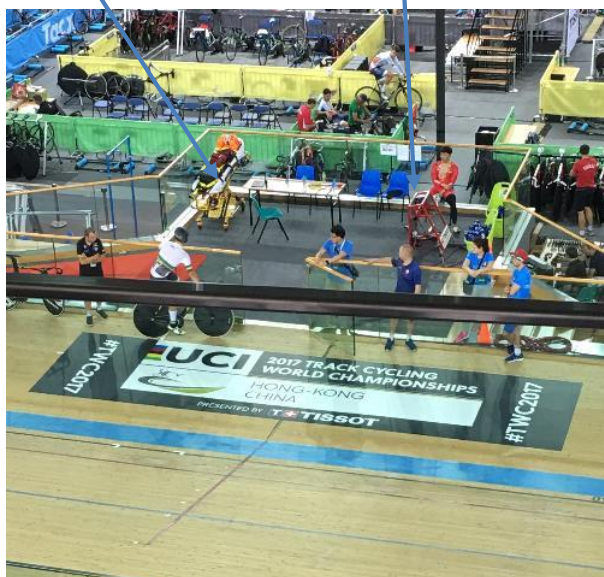


競技設備：スタートエリア&スターティングブロック

下記図のように、スタート/フィニッシュラインの少し手前に、セーフティゾーンと同じ高さのスタートエリアを左右1か所ずつに設置。（伊豆ベロドロームは既存のスタートエリアあり）

そのエリア内には、2台のスタートブロックが収納できること。（伊豆ベロドロームは規定をクリア）
スタートブロックはUCIより提供される。（2台+バックアップ1台）
操作は4名のスタッフによって行われる（全ピリオド同じスタッフで取り扱うこと）

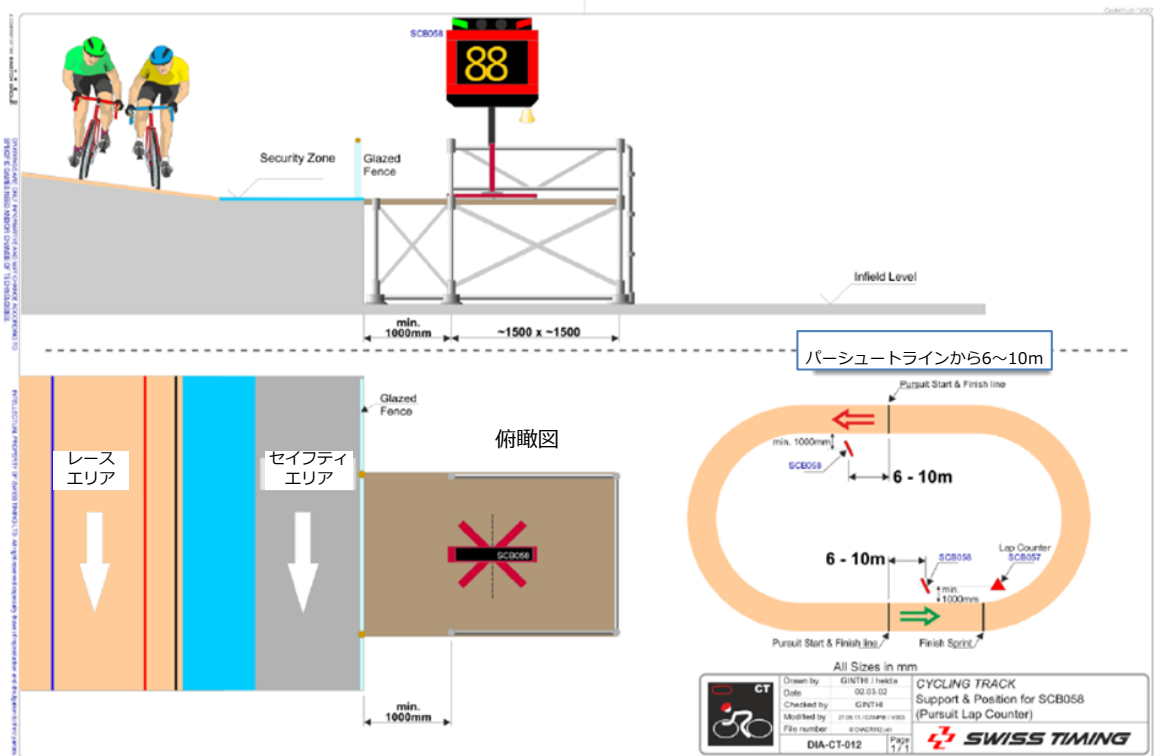
スタートエリア（左右1か所ずつ）



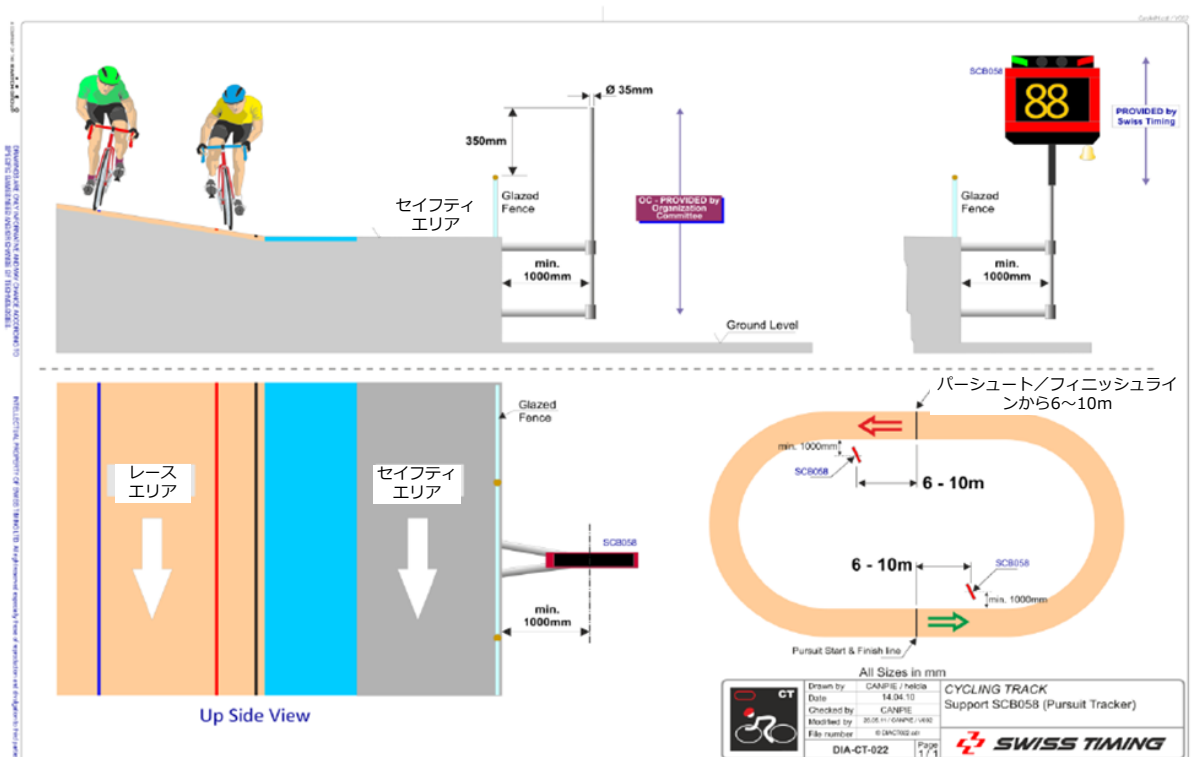
〔スタート台写真〕

競技設備：パーシュートトラッカー

パーシュートトラッカーは、ホームとバック側のセーフティガラスの内側に、パーシュートラインと同じ高さに設置されており、ピストルならびにタイミングシステムと同期しているスターティングブロックと同期していること。



またはポールに設置

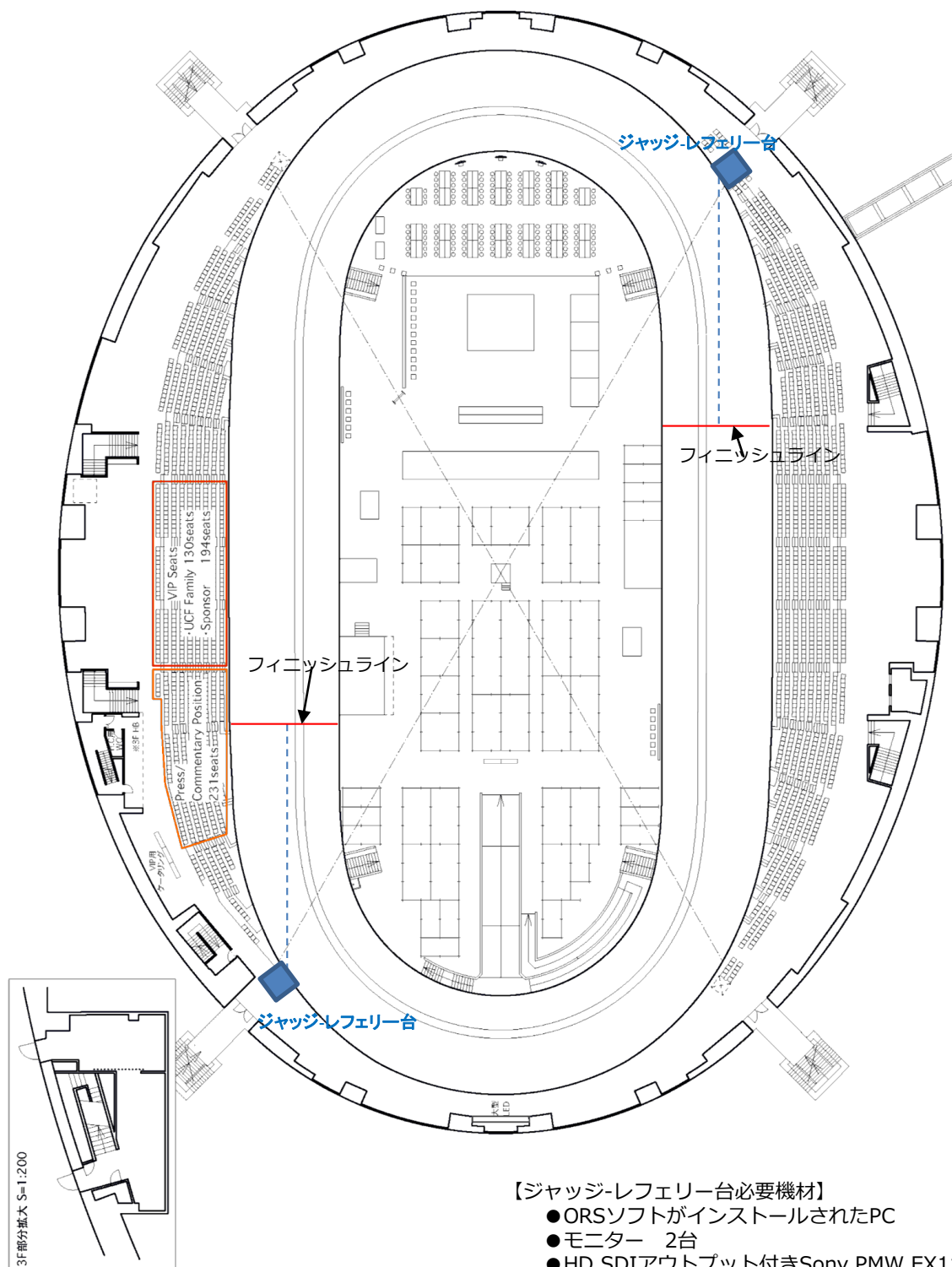


ジャッジ-レフェリー台（観客席内）

ジャッジ-レフェリー台は、少なくとも3名が座れるスペースがあり、青と赤のラインの間のフィニッシュラインの延長線上（下記図面参照）で設置する必要がある。

また、ジャッジ-レフェリー台には、スローモーション機能の付いたカメラ、再生用モニター、録画用レコーダーが設置されていること。

なお、ここで録画された映像は、フィニッシュ・ジャッジ台に設置されたモニターと接続されており、プレジデント・オブ・コミッセルのリクエストに応じて、フィニッシュ・ジャッジ台でも見られるようにしておく必要がある。



【ジャッジ-レフェリー台必要機材】

- ORSソフトがインストールされたPC
- モニター 2台
- HD SDIアウトプット付きSony PMW EX1カメラ 1台
- SDI→HDMIコンバーター
- 上記接続用ケーブル
- 2台目のスクリーンとの接続用同軸ケーブル

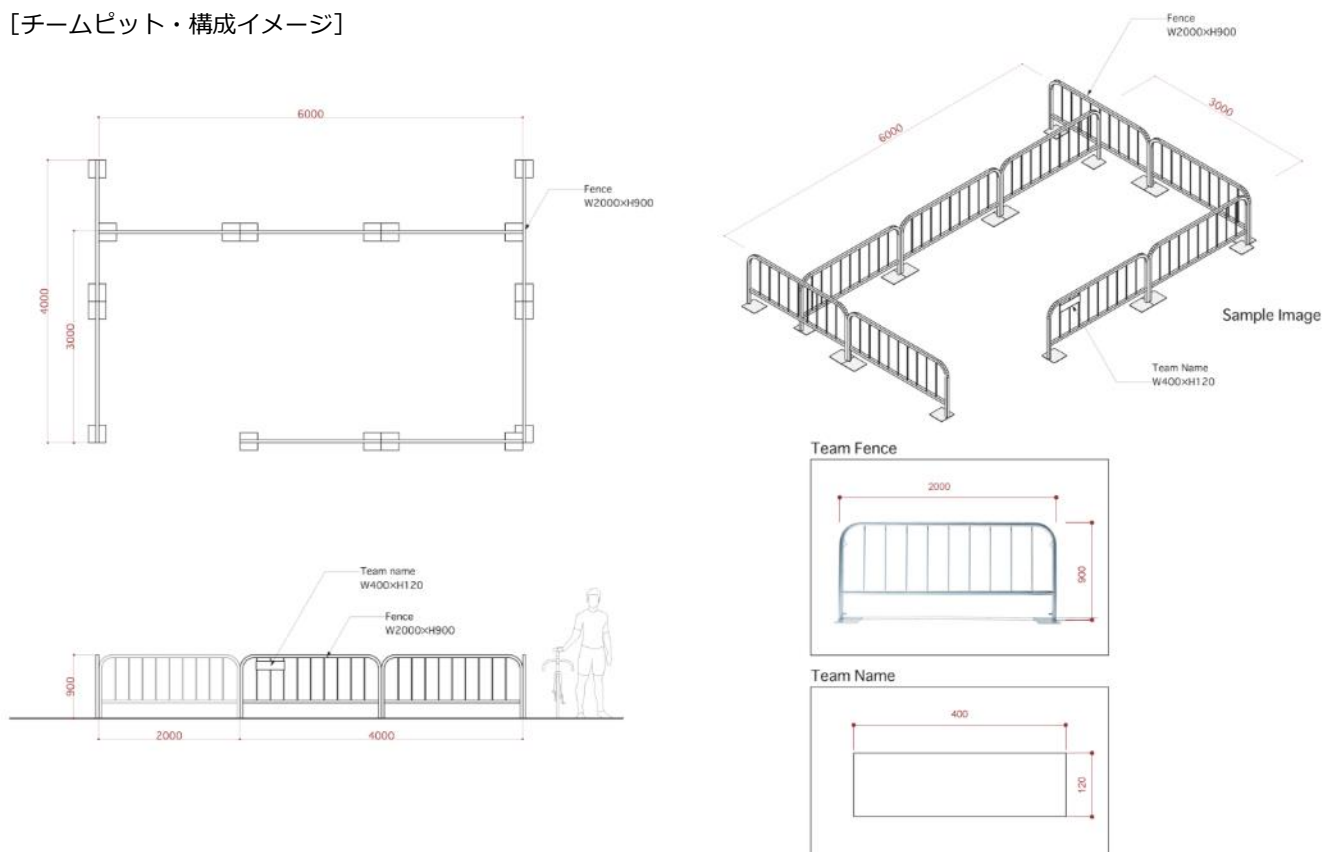
競技設備：チームピット構成

参加選手団用に40～48チームピットを作成するために、インフィールド内に約12m²～18m²のエリアが必要。この際、チームピットのフェンスの高さはコミッセルの視界を妨げない高さであること。また、チームピットには各チームが使用できるように、共用でもいいので、電源コンセントが準備されていること。

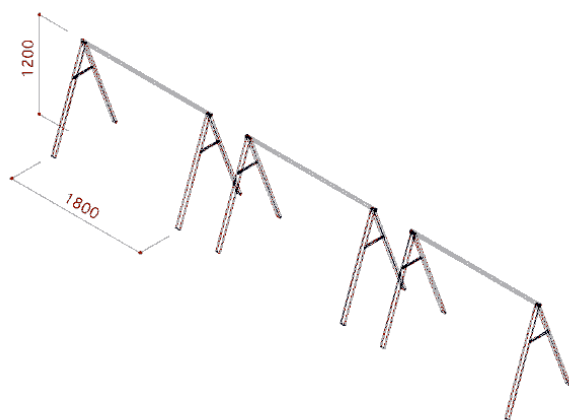
各チームピットには、出場選手数にもよるが、15脚の椅子またはその人数が座れるベンチとテーブル1台を入れておくこと。（出場選手数が少ないチームはこの数字によらない）

リクエストベースで、チームにサイクルラックを提供。
（事務局としてトータル20台程度、準備）

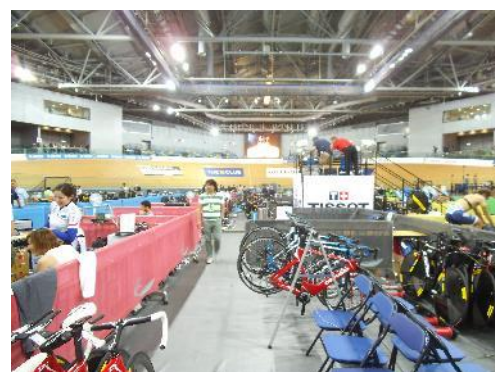
[チームピット・構成イメージ]



[サイクルラック]



イメージ図



[2017年香港]

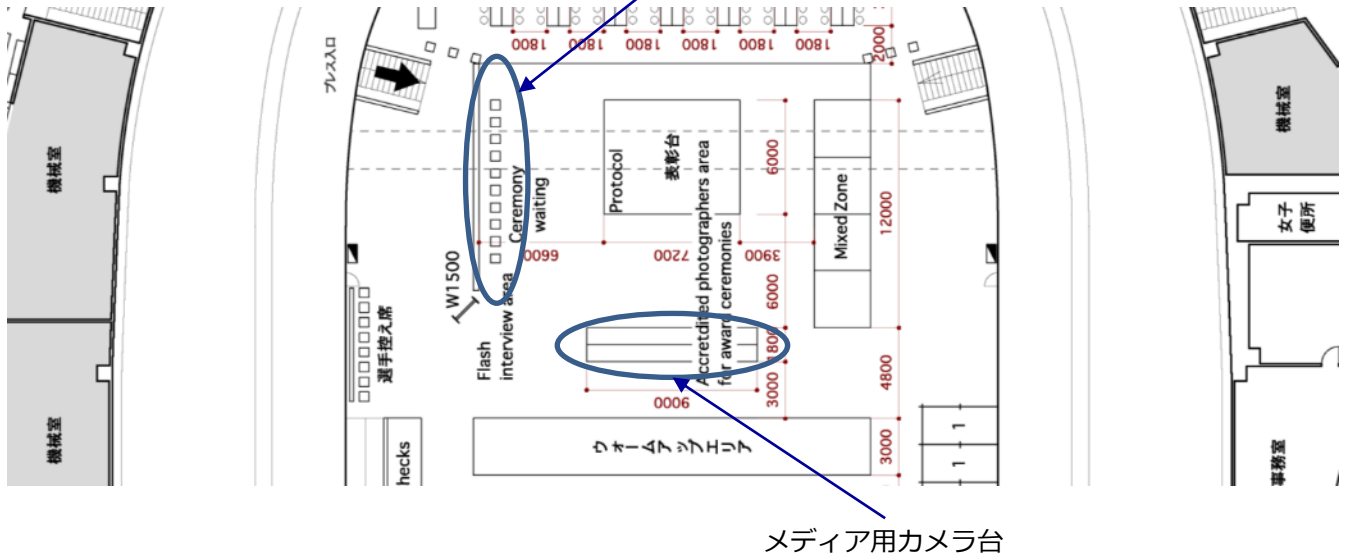
[2017年香港]

競技設備：表彰式 セレモニーウェイティングエリア

表彰式を行うにあたり、表彰ステージ（表彰台を含む）と表彰用バックドロップ、表彰式に列席する関係者と受賞者用のウェイティングエリア（いす12脚をおけるスペース）、ウェイティングエリア用バックドロップを設置。

また、その前面にはメディア用のカメラ台を設置

表彰ウェイティングエリア



〔表彰ウェイティングエリア（立面図）〕

正面イメージ



裏面イメージ



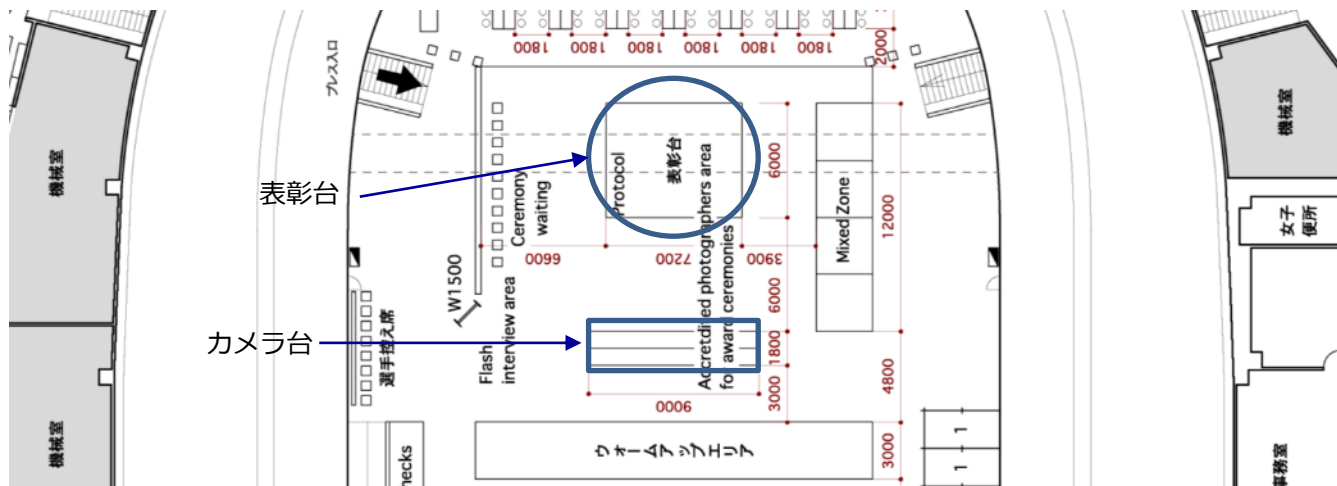
〔2017年香港〕



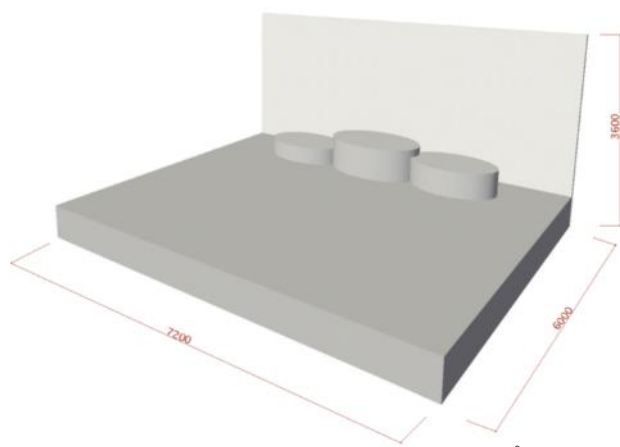
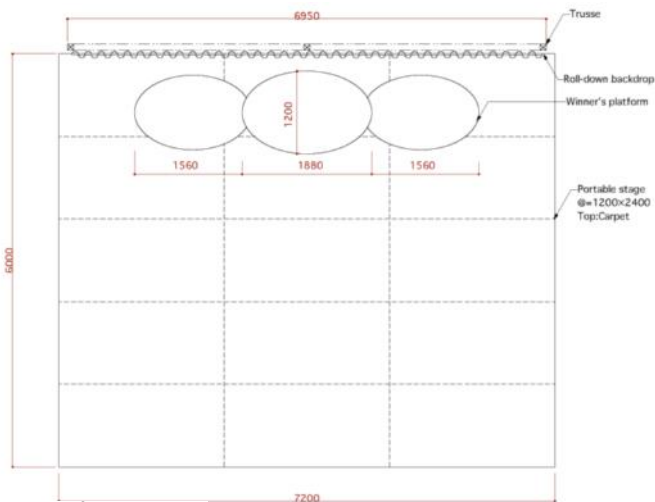
〔2017年香港〕

競技設備：表彰台

表彰台のバックドロップは、競技中、ロールダウンしておくことができる機構のバックドロップにしておく必要がある。機構の詳細についてはUCIに図面を提出し、承認後、作成。

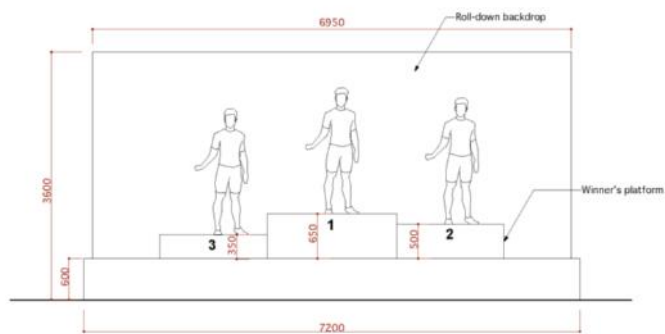


〔表彰台（平面図）〕



サンプルイメージ

〔表彰台（立面図）〕



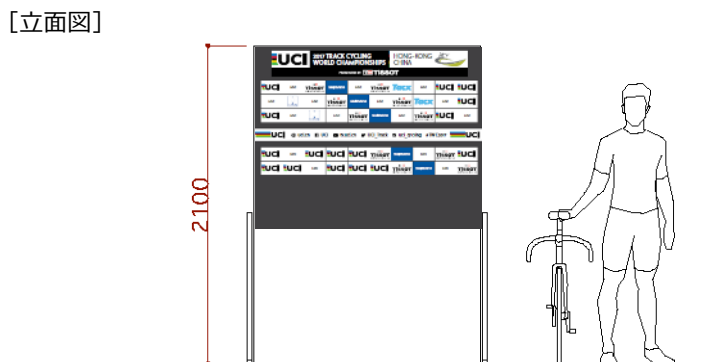
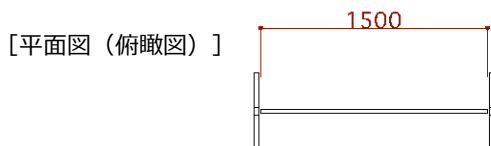
〔2017年香港 バックドロップ、式台設置中〕

競技設備：フラッシュインタビュー バックドロップ

レース直後や表彰式後に、各メディアが選手を捕まえインタビューを行うコーナー。

使用者がいなければ、誰でも自由に使用できる。

デザインはUCIより支給。



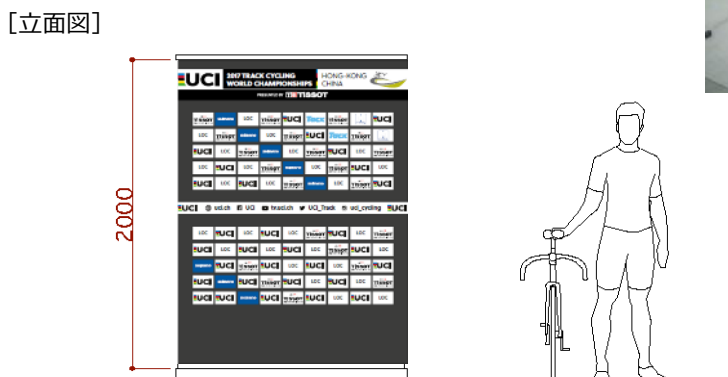
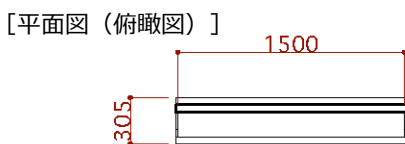
[2017年香港]

競技設備：ミックスゾーン バックドロップ

HBにより管理されており、使用する場合は、HBに予約を入れ、HBが決めた使用料を支払う。

デザインはUCIより支給。

レース中は写真のようにバックドロップは下げられている。



タイムキーパー用台

タイムキーパー用の台は、フィニッシュライン上に設置される。

台の高さはトラック（バンク）の高さから「－50cm」で、サイズは「約50x50cm」のものとする。

フォームパッド

フォームパッドは特定の競技にて使用される。

設置間隔は、250mトラックの場合、5m間隔に設置される。

1つのパッドの長さは50cmとし、四角柱の形が望ましい。

三角柱の場合、どこか1面がラバーであること。

パッドの設置／撤去は、4名のボランティアまたはナショナル・コミッセールによって行われる。

タイミング台（フィニッシュジャッジ台内）に必要なビデオシステム

ビデオの再生は、英語が話せるオペレーターが操作をし、ビデオシステム自体は、TV中継とは連動していないシステムであること。

下記は必要とされる機材。

- ORSソフトがインストールされたHP社製PC 1台（これ専用マシーン）
- モニター 2台
- HD SDIアウトプットが付いているSony PMW EX1カメラ 1台
- SDIからHDMIへのコンバーター
- PC並びにモニター接続用周辺ケーブル
- 2台目のスクリーンに接続する同軸ケーブル

ピジョンボックス

チーム、コミッセール、UCIスタッフ、テクニカル・デリゲート用にピジョンボックスを準備。

設置場所は選手団エリア側。各ボックスには、参加国名を掲示。

また、プレスエリアにも同様のピジョンボックスを準備。

ピジョンボックスに入れるコミュニケの枚数に関しては、後述の「コミュニケーション」の章を参照。



ホワイトボード

ピジョンボックスの横に全コミュニケを貼りだせる用のホワイトボード（2m×1.5m）を準備

旗

コミッセールが競技運営可能かどうかを知らせるために使用する緑、赤、黄色の旗

- スタート可／不可（緑／赤）
- ニュートラ理ゼーション（黄）
- チームバシュート交代禁止（赤）
- 警告／失格（黄／赤）

バイクストレージ

ベロドローム外に、各チームが自転車や機材を入れておくことができるストレージ（2.5m×6mまたは12mワイド）を各国ごとに準備。

また、ストレージには、メカニックが作業を行うことができる照明並びに電源を準備。

ニュートラル・テクニカル・アシスタンス

UCIの手配により、シマノにより下記のサービスが提供される。

下記に付随し、チームピットエリア内に、シマノ用のニュートラル・アシスタンスエリア（～12m）の準備が必要。

また、各チームピットの国名表示ボードには、シマノのロゴを掲示。



[シマノより提供される内容]

- ・既に市場で販売されており、容易に入手でき、互換性のある車輪や自転車など
- ・チームピットエリアに設置されたニュートラル・アシスタンスエリアにおけるメカニックの派遣。

バンク上ロゴ

UCIが決定するスポンサーカテゴリー（毎年、改編が行われるため、担当者に確認）に従い、上位スポンサーはバンク上に自社のロゴを掲示することができる。

ロゴシートはノンスリップの特殊インクを使って作成される。
サイズは7m×2.5mが理想的とされる。



[参考写真]

バンク周回フェンス上のロゴ

マーケティングレギュレーションに従い、各スポンサーはバンク周辺にロゴを掲示することができる。
（上記写真参照）

ゼッケン

ゼッケンはUCIのロゴ規定に従い作成される。
各種目ごとのゼッケン枚数は下記の通り。



サイズ：16cm×18cm

男子	枚数	ナンバー	配布方法
総数	700	1～350	1選手につき2枚
ポイントレース	50	1～25	1選手につき2枚
マディソン（黒）	40	1～20	1選手につき2枚
マディソン（赤）	40	1～20	1選手につき2枚
女子			
ポイントレース	50	1～25	1選手につき2枚
予備	20	ブランク	0～9のプリント

その他（オプション）

バックストレートエリアにおける映像撮影とシェアリングサービス

現在、バックストレートエリアにおける各チームごとの自由なビデオ撮影が行われているが、これらの映像を各チームが各自のサーバーにアップする際に、ネットに負荷がかかり、ネット全体のスピードが落ちるなどの障害が発生しているケースがある。

そのため、この場所での自由な撮影を制限をし、事務局が撮影したものを、Cat 5ケーブルを通じて、各チームがチームピットで見られるような配信システムを構築し、提供するなどをして、これらのネット障害を解消するなどの方法を考えるべきである。

ただし、上記のようなサービスを行う場合、これらのシステムを構築するための経費が掛かるため、これらの経費が回収できるという採算があった場合に行うという前提付き項目である。

なお、このサービスを課金制にし、外部からのアクセス、ダウンロードに対して一定の料金を徴収するということは可能。

【競技運営】
式典について

Media Entry to Track Center

表彰式ウェイトニングゾーン

Media Service (156)

Protocol Award Ceremony Area

Mixed Zone

カメラ台

ステージ

Flash interview area

選手控え席

ウオームアップエリア

Bike Checks

Dimensions: 1800, 3600, 2000, 6000, 12000, 3000, 1500

開会式プログラム（進行表）

- ◎大会一日目のいずれかのタイミングにて実施。
- ◎開会式の基本フォーマットは①フォーマル、②カルチャラルの2部構成とされる。
- ◎スピーチ原稿に関しては、事前にUCIに提出、内容確認を受ける。

構成	LAP	項目
フォーマル	3' 00"	スピーチ① (事務局指名スピーカー)
	3' 00"	スピーチ② (事務局指名スピーカー)
	3' 00"	UCI会長または理事メンバーによるスピーチ。 最後に大会の開会宣言
		UCI旗掲揚 (国歌が同時に演奏される)
カルチャー	最長25 ～30分 まで	開催国／開催地に基づいたアトラクション

表彰式プレゼンターリスト ※UCIにより決定される

大会1日目		
時間	表彰競技種目	プレゼンター
20:22 - 20:30	女子 スクラッチ 10km	
21:12 - 21:20	女子 チームスプリント	
21:20 - 21:30	男子 チームスプリント	

大会2日目		
時間	表彰競技種目	プレゼンター
20:49 - 20:59	男子 チームパーシュート	
20:59 - 21:07	男子 スクラッチ 15km	
21:32 - 21:40	男子 ケイリン	
21:40 - 21:50	女子 チームパーシュート	

大会3日目		
時間	表彰競技種目	プレゼンター
20:26 - 20:34	男子 ポイントレース 40km	
21:39 - 21:47	男子 個人パーシュート	
21:51 - 21:59	女子 オムニウム	
21:59 - 22:07	女子 スプリント	

大会4日目		
時間	表彰競技種目	プレゼンター
19:40 - 19:48	女子 500m タイムトライアル	
20:41 - 20:49	女子 マディソン 30km	
21:16 - 21:24	女子 個人パーシュート	
22:04 - 22:12	男子 オムニウム	
22:16 - 22:24	男子 スプリント	

大会5日目		
時間	表彰競技種目	プレゼンター
15:10 - 15:18	女子 ポイントレース 25km	
15:18 - 15:26	男子 1km タイムトライアル	
16:36 - 16:44	女子 ケイリン	
16:44 - 16:52	男子 マディソン 50km	

表彰式

表彰式の流れ

表彰式開催のアテンション音楽としてのUCI歌（最大28秒）が流れ、その後、表彰競技名が呼び上げられる。プロトコル・オフィサーが、メダリストを表彰台に誘導する（所定のルートに従う）。

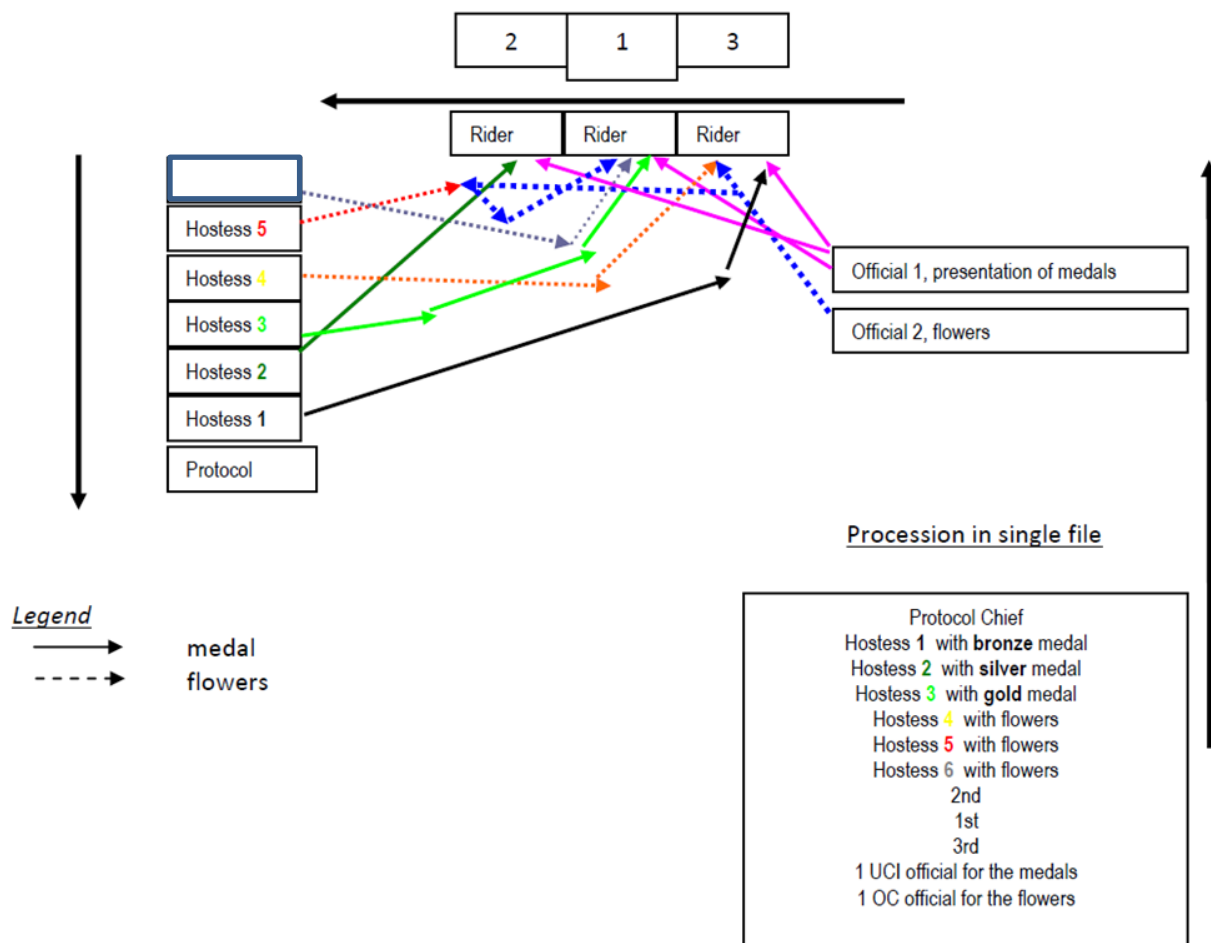
表彰の流れ（BGMを流すこと）

- プロトコルチーフ
- 6名のコンパニオン
 - ・一人目：銅メダルを黒盆に載せて移動。
 - ・二人目：銀メダルを黒盆に載せて移動。
 - ・三人目：チャンピオンのジャージーと金メダルを黒盆に載せて移動。
 - ・四人目～六人目：花束を運ぶ。
- 選手の並び順（2位、1位、3位）
- 2人の役員
 - ①UCI役員と一人目のコンパニオンが3位の選手に近づき、銅メダルを贈呈。
 - ②UCI役員と二人目のコンパニオンが2位の選手に近づき、銀メダルを贈呈。
 - ③UCI役員と三人目3コンパニオンが1位の選手に近づき、チャンピオン・ジャージーと金メダルを贈呈。
 - ④NFまたは開催地のVIPにより、上記と同じ段取りで選手に花束を贈呈。

表彰スタッフ並びに関係者の動きについて

- プロトコルチーフは表彰台の前を通り抜け、表彰ステージの下手側に立つ。コンパニオンはプロトコルチーフに付いて移動。
- 選手は、2位、1位、3位の順番でステージに上がり、各表彰台の前で止まる。
- UCI役員並びにVIPは、表彰ステージ下手側に並ぶ。

※Chinese Taipeiの選手が3位までに入賞した場合、IOC認定のスポーツ歌を流す。



正賞・副賞一覧

●男子個人スプリント／M-Sprint

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子個人スプリント／W-Sprint

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●男子1kmタイムトライアル／M-Kilometre t.t.

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子500mタイムトライアル／W-500m t.t.

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●男子個人パーシュート／M-Individual Pursuit

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子個人パーシュート／W-Individual Pursuit

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●男子チームパーシュート／M-Team Pursuit

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子チームパーシュート／W-Team Pursuit

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

正賞・副賞一覧

●男子チームスプリント／M-Team Sprint

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子チームスプリント／W-Team Sprint

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●男子ケイリン／M-Keirin

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子ケイリン／W-Team Sprint

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●男子スクラッチ 15km／M-Scratch 15km

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子スクラッチ 10km／W-Scratch 10km

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●男子ポイントレース 40km／M-Points race 40km

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子ポイントレース 25km／W-Points race 25km

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

正賞・副賞一覧

●男子マディソン 50km／M-Madison 50km

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子マディソン 30km／W-Madison 30km

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●男子オムニアム／M-Omnium

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

●女子オムニアム／W-Omnium

順位	正賞	副賞
優勝	金メダル／花束	チャンピオンジャージ
2位	銀メダル／花束	
3位	銅メダル／花束	

【競技運営】

医療救護計画

近隣病院

[搬送先／連絡先]

- 1) 順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡県伊豆の国市長岡1129
※会場から約30分
TEL. 055-948-3111
- 2) 田方保健医療対策協会・伊豆保健医療センター
静岡県伊豆の国市田京 270-1
※会場から約25分
TEL. 0558-76-0111
- 3) 大仁クリニック
静岡県伊豆の国市大仁372-1
※会場から約25分
TEL. 0558-76-2556

[消防署]

- 田方南消防署
静岡県伊豆市日向51-1
※会場から約25分
TEL. 0558-74-0119

<緊急時対応について>

- 1) 軽症の場合は、会場待機の医師または看護師が応急手当。
- 2) 本人がレース続行希望の場合は、レース後応急手当。
- 3) 重篤の場合は、医師または看護師、審判より救急車を要請。
- 4) 生命の危機に関わる場合は、救急ヘリサービスの要請も可能（到着まで約15分）

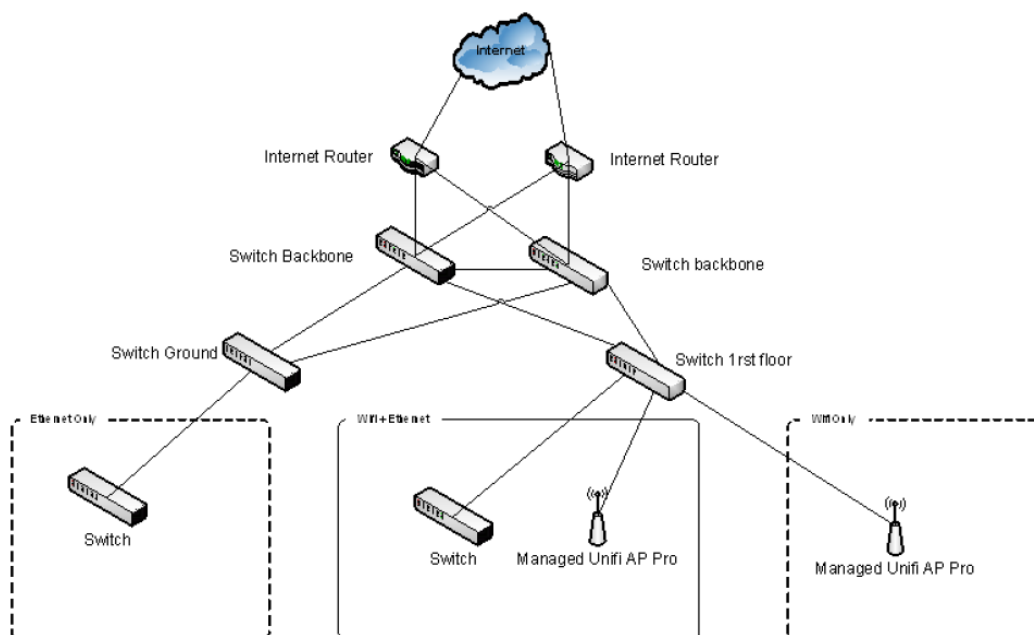


【競技運営】

コミュニケーション（通信）

タイミングシステムにおけるLAN接続以外に、レザルトの配信などに使用するタブレットや諸室における作業におけるインターネット環境の整備は必須。

下記は、推奨されるネット環境図。(2017年現在)



また、インフィールド内で必要とされるWiFiは下記の通り。
(各カテゴリーに対し、専有WiFiであること)

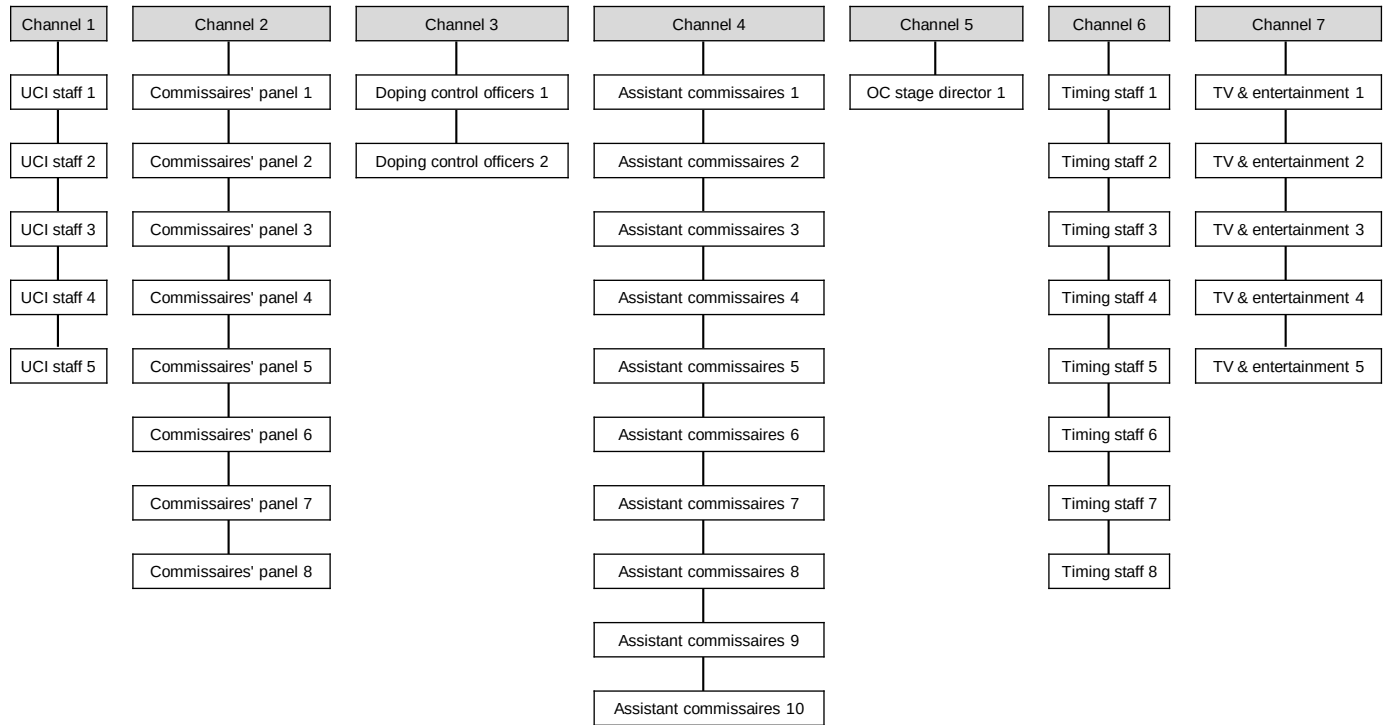
- プレスエリア :
- フィニッシュ・ジャッジ台のタイミングスタッフエリア :
- フィニッシュ・ジャッジ台のUCIスタッフエリア :
- チームエリア :
- ビデオオペレーターからフィールド内 :

WiFi並びにLANケーブル
LANケーブル
WiFi並びにLANケーブル
WiFi (※注)
LAN

※注 : タブレット接続のため、IEEE 802.3 a/b/g/nで、最低帯域が54Mbpsが保証されていること。
ルーターはCISCO製が望ましい。

通信系統は1つのサンプルであるが、競技運営に際して、UCIが考える最低数とChannel 数である。（2017年度版）

なお、タイミングスタッフのトランシーバーは、必要に応じて、交信の取りたいチームとのチャンネルに変更が可能なトランシーバーであること。



コミュニケの発行にあたり、下記の備品が必要。

- 高速コピー機 2台
- A4コピー用紙 2000枚

【各コミュニケの配布先と枚数】

●プレスエリア	150部
●コメンタリーポジション	15部
●NFピジョンボックス	45部（各スロットに1部ずつ挿入）
●コミッセル	10部
●ドーピングコントロールオフィサー	2部
●テクニカルデリゲート	1部
●コミュニケ収集担当	1部

【事務局の役割】

- 開催国の言葉、英語、フランス語でのコミュニケのドラフト作成
- コミュニケの作成と配布の管理者の提供
- コミュニケ配布ボランティアの手配
 - ・TVスタンド担当 1名
 - ・プレスエリア担当 1名
 - ・VIPエリア担当 1名
 - ・オフィシャルスタンドへのスタートリストの配布担当 1名
- コミッセルパネルのセクレタリーからコミュニケの受け取り担当（コピー機まで配達）
- コピーを取り、ソートするボランティア3名
- コピーの保守点検スタッフ

【その他】

備品リスト

[illegible]

品名	仕様	数量	手配先			備考
			UCI	LOC	Other	
【制作物関係】						
表彰台バック	ファブリックW.7000*H.3600	1 式		●		
表彰ステージ		1 式			会場既存	
スターター台		1 式			会場既存	
スタートプラットフォーム	W.2050*H.980	4 面		●		
表彰式ウェイトニングエリアバックボード	W.5400*H.1500*D.450	1 式		●		
フラッシュインタビューバックボード	W.1500*H.2000	1 式		●		
フィニッシュジャッジ台	腰巻W.11000+W.12000*1.2	1 式		●		
チームネームプレート	W.400*H.120 DM+出カラミ	41 枚		●		
ミックスゾーンロールアップ	W.1500*H.2000	1 枚		●		
スタートウェイトニングエリアバックボード	W.4000*H.1460*D.600	1 式		●		
プレスカンファレンスバックボード	W.3600*H.1460*D.450	1 式		●		
ウェルカムボードバックドロップ	W.900*H.1590*D.450	1 式		●		
フェンスバナー	W.5000*H.650	60 社		●		
ロゴサイン	W.7000*H.2500	10 枚		●		
【運営関係】						
AD		500 枚	●			
AD管理表				●		
アクセスパネルシート				●		ADチェック
A型誘導看板				●		
立札誘導看板				●		
諸室サイン				●		
VIP用パーテーション				●		
車両証				●		
移動用車両		3 台		●		
ゴミ箱・ゴミ袋				●		
トラメガ				●		
レインコート				●		
カサ袋				●		
使い捨てカイロ				●		
防寒ジャンパー				●		
灯油ストーブ				●		
灯光器	発電機付き			●		
ノボリ		50 枚		●		
ノボリ棒・ウェイト		50 式		●		
バナー	W.3000*H.900	30 枚		●		
ルミエアー	燃料含む	15 台		●		
テント	2K*3K/蛍光灯*2/ジェネ*1	10 張		●		備品(机4・イス8)含む
プラ柵		200 枚		●		
インシュロック				●		
トランシーバー				●		

品名	仕様	数量	手配先			備考
			UCI	LOC	Other	
【諸室備品関係】						
＜タイミングカンパニー＞ ROOM1						
テーブル	1800*450	2 台		●		
イス		6 脚		●		
スチールラック	300*900	1 台		●		
ハンガーラック		1 台		●		
ハンガー		10 本		●		
＜大会本部＞ ROOM3						
テーブル	1800*450	6 台		●		
イス		18 脚		●		
スチールラック	300*900	2 台		●		
ハンガーラック		1 台		●		
ハンガー		20 本		●		
ホワイトボード	W.1200*H.900	1 枚		●		
コピー機		1 台		●		
モニター	32インチ・スタンド含む	1 台		●		
モニター用配線	同軸ケーブル	1 式		●		
電源工事		1 式		●		
＜運営本部＞ ROOM4						
テーブル	1800*450	6 台		●		
イス		18 脚		●		
スチールラック	300*900	2 台		●		
ハンガーラック		1 台		●		
ハンガー		20 本		●		
ホワイトボード	W.1200*H.900	1 枚		●		
コピー機		1 台		●		
モニター	32インチ・スタンド含む	1 台		●		
モニター用配線	同軸ケーブル	1 式		●		
電源工事		1 式		●		
＜警察／消防＞ ROOM5						
テーブル	1800*450	4 台		●		
イス		12 脚		●		
スチールラック	300*900	1 台		●		
ハンガーラック		1 台		●		
ハンガー		10 本		●		
＜警察／消防＞ ROOM6						
テーブル	1800*450	4 台		●		
イス		12 脚		●		
スチールラック	300*900	1 台		●		
ハンガーラック		1 台		●		
ハンガー		10 本		●		

品名	仕様	数量	手配先			備考
			UCI	LOC	Other	
<フィジオルーム> ROOM7						
テーブル	1800*450	4 台		●		
イス		12 脚		●		
スチールラック	300*900	2 台		●		
ハンガーラック		1 台		●		
ハンガー		10 本		●		
カーテーション	W.1800*H.1515	3 台		●		
ベッド(ソファベッド)	W.1965*D.920*H.900	2 台		●		
<UCIオフィス／UCIテレビ> ROOM8						
テーブル	1800*450	8 台		●		
イス		24 脚		●		
スチールラック	300*900	2 台		●		
ハンガーラック		1 台		●		
ハンガー		20 本		●		
ホワイトボード	W.1200*H.900	1 枚		●		
モニター	32インチ・スタンド含む	1 台		●		
モニター用配線	同軸ケーブル	1 式		●		
電源工事		1 式		●		
<コミッセールルーム / ライセンスコントロール> ROOM9						
テーブル	1800*450	8 台		●		
イス		24 脚		●		
モニター	32インチ・スタンド含む	1 台		●		
モニター用配線	同軸ケーブル	1 式		●		
電源工事		1 式		●		
<ドーピングコントロールルーム男性> ROOM12						
テーブル	1800*450	2 台		●		
イス		6 脚		●		
<ドーピングコントロールルーム女性> ROOM13						
テーブル	1800*450	2 台		●		
イス		6 脚		●		
<ドーピングコントロールルーム待合> ROOM14						
イス		11 脚		●		
<アクレディテーションセンター>						
テーブル	1800*450	11 台		●		
イス		35 脚		●		
スチールラック	300*900	1 台		●		
ハンガーラック		3 台		●		
ハンガー		60 本		●		
ブルーバックサイン		2 枚		●		
オクタノルムシステムパネル		27 枚		●		
オクタノルムシステム・ドア		2 式		●		

[illegible]

[illegible]



競輪の補助事業

このUCI Track Cycling World Championships
開催ガイドラインの作成は、競輪の補助により作成しました。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>